

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	社会福祉課
	中区分	地域福祉・社会保障	作成者	和田 光浩
	小区分	地域福祉活動、ボランティア組織の育成・充実		
施策の内容	①地域福祉に関する意識の向上を図るため、福祉情報の発信に努めます。 ②世代間交流の促進や地域での子育て支援の充実など、支え合いの心を育てる活動を推進します。 ③ボランティアグループや市民活動団体の活動の促進を図るため、各団体の連携や支援体制の強化を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	福祉ボランティアグループの数				令和5年度目標値		23
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	20	21	22	23	23	23	23
実績値	18	18	18	18	18	18	19
指標説明	社会福祉協議会ボランティア連絡協議会加盟団体数						
指標と目的の関連性	ボランティア団体を増加させることにより、地域福祉の増進を図る。						
成果指標名	地域の支えや社会保障が充実していることにより、安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合				令和5年度目標値		72.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	68.8	69.2	69.6	70.0	70.4	70.8	71.2
実績値	70.4	68.3	70.3	70.4	69.5	69.6	65.4
指標説明	「瑞浪市は、地域の支え合いや社会保障が充実しており、安心して暮らせるまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①社会福祉協議会と連携し、社協だよりなどで福祉に関する情報発信を行いました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、福祉まつりについては規模を縮小しての開催となりました。 ②新型コロナウイルス感染防止の影響により、地区の高齢者と子どものふれあい事業実施は1地区での開催にとどまるなど、交流機会イベント等の開催が減少しました。 ③社会福祉協議会により、ボランティア連絡協議会の活動を支援しています。また、市民福祉センターや市役所内にボランティア活動のPRチラシを設置するなどの周知を図っています。
評価・課題	①コロナ禍の影響により、イベント、講演会が開催できない状況が続いていましたが、今後は開催にあたり集客方法について検討が必要になる可能性があります。 ②地域においても様々な行事が中止となるような状況でした。新型コロナウイルスが5類となったことから、今後は交流の機会が継続、拡大できるよう支援していく必要があります。 ③各ボランティア団体において高齢化などにより担い手の確保が課題となっています。
今後の取り組み方針	①引き続き広報、ホームページ等での情報発信を行うとともに、福祉まつり、社会福祉大会等でPRに努めます。 ②社会福祉協議会とも連携し世代間交流行事などの開催を支援します。 ③社会福祉協議会との連携により、ボランティア組織の担い手確保、育成、充実支援の強化を図っていきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	保険年金課
	中区分	地域福祉・社会保障	作成者	鈴木 友恵
	小区分	社会保障制度の適切な運用		
施策の内容	①国民健康保険の財政運営の責任主体となる県と連携して、国民健康保険の健全な運営及び制度の円滑な推進に努めます。 ②後期高齢者医療制度では、岐阜県後期高齢者医療広域連合とともに、現行制度の円滑かつ安定的な運営に努めます。 ③関係機関と協力し、無年金者を生まない社会の構築を目指します。 ④生活保護制度を適正に実施します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	国民健康保険収納率（現年度）				令和5年度目標値		97.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	95.53	95.54	95.55	95.56	95.57	95.58	95.59
実績値	96.36	96.36	96.31	96.83	97.17	97.24	97.38
指標説明	国民健康保険現年保険料の収納率						
指標と目的の関連性							
成果指標名	地域の支えや社会保障が充実していることにより、安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合				令和5年度目標値		72.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	68.8	69.2	69.6	70.0	70.4	70.8	71.2
実績値	70.4	68.3	70.3	70.4	69.5	69.6	65.4
指標説明	「瑞浪市は、地域の支え合いや社会保障が充実しており、安心して暮らせるまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①早期の納付催告や滞納処分に取り組んだ結果、国民健康保険料現年度分収納率は、前年度より0.14ポイント増の97.38%となりました。安定した社会保障の提供のため、積極的な取り組みを継続します。 ②後期高齢者医療保険制度では、保険料・医療費（自己負担額）の軽減に必要な申請等を随時勧奨し、適正にサービスが利用できるよう努めました。また、生活習慣病等の早期発見・改善を目的とした「ぎふ・すこやか健診」及び、口腔機能低下や肺炎等の疾病を予防し健康増進を目的とした「ぎふ・さわやか口腔健診」について広報等を通じて周知を行い、重症化による医療費増を抑制するよう努めました。 ③広報・パンフレット等による国民年金制度の周知活動に努めました。窓口相談による年金未加入者の加入促進と年金保険料の未納防止に努めました。 ④被保護者の生活向上、自立支援に努めました。
評価・課題	①県下において上位の収納率となっています（R3年度全市町村中14位、全市中6位）。 ②後期高齢者医療保険の被保険者数は年々増加傾向にあり、それに伴って未納件数も増加するおそれがあります。 ③年金制度に対する理解をより深めることが重要です。 ④生活保護制度に対する理解を深めることが重要です。
今後の取り組み方針	①納付期限後の早期催告を実施し、また個々の状況による非自発的離職減額措置や短期被保険者証発行等の適切な措置を取ると同時に、悪質な滞納者に対する財産調査・差押等、滞納処分を実施し、国民健康保険の健全な運営に努め、安定した社会保障を提供します。 ②後期高齢者医療では、定期的な納付勧奨により自主納付を促す一方、悪質な案件については、財産調査及び滞納処分を実施し、制度の健全な運営に努め、安定した社会保障を提供します。 ③国民年金制度の周知活動及び年金未加入者の加入促進と年金保険料の未納防止に努めます。 ④生活保護制度の適正な運用に努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	社会福祉課
	中区分	地域福祉・社会保障	作成者	和田 光浩
	小区分	新しい地域包括支援体制の確立		
施策の内容	①生活困窮者の自立支援制度を適正に実施します。 ②子育て世代包括支援センターを含めた包括的な相談支援体制の整備を行います。 ③高齢者の地域ケア体制を障がい者、児童等への支援や、複合課題にも広げた包括的支援体制として深化・推進していくことを目指します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	地域の支えや社会保障が充実していることにより、安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合				令和5年度目標値		72.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	68.8	69.2	69.6	70.0	70.4	70.8	71.2
実績値	70.4	68.3	70.3	70.4	69.5	69.6	65.4
指標説明	地域の支えや社会保障が充実していることにより、安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①社会福祉協議会へ自立支援機関として業務を委託する中で、連携することにより適正に実施しました。 ②令和2年4月に保健センター内に「瑞浪市子育て世代包括センター」を開設し、妊娠・出産・育児・子育てに関する相談にワンストップで対応する体制が整いました。 ③高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターのPRを積極的に行い、潜在化している支援が必要な高齢者等の把握に努めました。
評価・課題	①コロナ禍の中、生活困窮者への支援として住居確保給付金事業の支給要件緩和など図られました。今後も必要な方が必要な支援を受けられるよう、制度の周知を図っていく必要があります。 ②妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実施するため、関係機関との連携強化と包括的な支援の検討が必要です。 ③8050問題等潜在化している支援が必要な高齢者とその家族に必要なサービスにつなぐことが必要です。
今後の取り組み方針	①社会福祉協議会との連携により、引き続き困窮者に対する必要な支援を実施します。 ②月1回の関係機関との連携会議により、情報共有と今後の対応など協議し切れ目のない支援に繋がります。 ③地域包括支援センターと連携し、支援が必要な高齢者の把握を行い適切な支援サービス等に繋がります。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	健康づくり課
	中区分	健康・医療	作成者	和田 美鈴
	小区分	健康づくりの促進		
施策の内容	<p>①全ての子どもが健やかに成長（子どもの健全育成）するために、必要な栄養や身体活動を確保し、生活リズムを整え、適した時期に自立・成長が促せるような支援をします。</p> <p>②バランスの良い食生活、適度な運動、歯と口腔の健康などの正しい知識の普及を図り、保健センターを拠点に健康づくり活動を推進します。</p> <p>③受動喫煙防止対策をさらに推進し、子どもや非喫煙者を受動喫煙の害から防ぐとともに、喫煙者を禁煙に導きます。</p> <p>④こころの変化に早めに気づき、適切な専門相談・受診につながるよう、うつ病の正しい理解の啓発、ゲートキーパー養成を推進します。</p> <p>⑤健康づくりの情報提供や運動の動機づけのための事業を実施し、市民の健康意識の向上に努めます。</p>			

## 2. 成果指標

成果指標名	規則正しい生活を送る幼児の割合（3歳児健診時点）				令和5年度目標値		30.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
実績値	17.1	14.2	14.3	15.6	14.3	15.0	11.2
指標説明	3歳児健診受診者のうち、朝7時までには起床し、夜9時までには就寝している児の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	公共的施設の施設内禁煙率（地区集会所含む）				令和5年度目標値		100%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	80.0	80.0	80.0	100	100	100	100
実績値	78.2	—	—	—	100	100	100
指標説明	施設内・敷地内禁煙をしている公民館数を足した数を、市内121公民館で除した値						
指標と目的の関連性	（注）平成26年度・27年度及び平成29年度の実績値は、アンケートを実施していないため、なし。						
成果指標名	日頃から健康づくりを実践している市民の割合				令和5年度目標値		70.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	59.1	59.1	59.1	60.2	60.2	60.2	60.2
実績値	61.8	65.4	60.2	55.7	55.9	53.7	61.5
指標説明	「あなたは、日頃から健康づくりを実践していますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①児の成長発達を促すため、乳幼児健診等で規則正しい生活と脳の発達のメカニズムを成長の段階に併せた保健指導を実施しました。</p> <p>②健康づくり計画に基づき、特に健診結果をもとに生活習慣の改善も含めた健診事後指導を行いました。結果説明会による面談では改善意欲が高い対象者が来所される事もあり、事業実施効果を感じました。</p> <p>③母子健康手帳交付時や両親学級、乳児訪問、乳幼児の健診・教室などで受動喫煙防止教育を行っています。妊娠をきっかけに禁煙した妊婦に対しては、再喫煙しないように継続した支援を行っています。禁煙ポスターを作成し、市内医療機関、公民館に掲示しました。</p> <p>④簡単に自分や家族の心の変化に気が付くことができる「こころの体温計」をホームページに掲載し、年間4,341人の利用がありました。また、自殺の危険を示すサインに気が付き適切に対応ができる「ゲートキーパー」養成講座を中学生対象に行いました。</p> <p>⑤保健センター新聞を年3回発行しています。新聞の発行を心待ちにしてくれている市民がいます。保健センター新聞を使用し、出前講座を行っています。</p>
評価・課題	<p>①前年度よりも、早寝早起きの習慣のある3歳児が減少しています。全国的に夜型の生活リズムの子どもが増加傾向にあります。</p> <p>②結果説明会に来所されない方へのアプローチが足りないと感じています。生活習慣の改善が難しいからこそ、健診結果について継続して説明し、望ましい生活習慣の大切さを伝えていく必要があると考えます。</p> <p>③妊婦・乳幼児を持つ母親の喫煙状況は経年的にも増加しており、また子どもの年齢が上がることに増えています。特に、喫煙場所について、母親は室内で喫煙する割合が6割と高くなっていることも問題です。</p> <p>④一人でも多く「ゲートキーパー」を養成できるように取り組むことが必要です。</p> <p>⑤保健センター新聞を周知し、健康づくりに関心のある市民を増やしていくことが求められています。</p>
今後の取り組み方針	<p>①保護者が子どもの成長発達にとって早寝早起きが重要な要素であることを、理解し、行動変容につながるような指導に努めます。</p> <p>②健診の継続受診勧奨を行い、可能な限り多くの方と面談する機会をつくります。若い世代からの生活習慣病予防（将来の生活習慣病発症予防）に取り組みます。</p> <p>③妊婦や子どもをたばこの害から守れるように、受動喫煙防止に関する教育を繰り返し行います。また、妊娠をきっかけに禁煙した妊婦に対しては、再喫煙防止のため継続的に支援します。</p> <p>④令和6年度全ての中学校でゲートキーパー養成講座を行います。また、その他効果的にゲートキーパーを養成するため、対象者の検討を行います。</p> <p>⑤保健センター新聞を活用し、健康づくりの取り組みを推進していきます。</p>

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	健康づくり課
	中区分	健康・医療	作成者	和田 美鈴
	小区分	疾病予防対策		
施策の内容	①特定健康診査の結果から、指導等が必要な方に対して、身体が理解できるような情報の提供を行い、生活習慣病の発症予防及び重症化予防に努めます。 ②糖尿病や腎臓病など人工透析になるハイリスク者に対して、透析導入の予防・延長が図れるよう身体の状態・病態生理など正しい情報を提供します。 ③疾病の早期発見に向け検診受診率の向上を図ります。また、胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・歯周病などの発症予防に取り組みます。 ④感染症予防の重要性を啓発し、乳幼児期の予防接種などの接種率の向上を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	特定健診受診率				令和5年度目標値		60%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	55	60	60	60	60	60	60
実績値	33.4	33.0	33.6	35.3	33.6	37.0	37.5
指標説明	40歳～74歳の国保加入者中、特定健康診査を受診した方の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	日頃から健康づくりを実践している市民の割合				令和5年度目標値		70.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	59.1	59.1	59.1	60.2	60.2	60.2	60.2
実績値	61.8	65.4	60.2	55.7	55.9	53.7	61.5
指標説明	「あなたは、日頃から健康づくりを実践していますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①特定健診の結果から保健指導が必要な方に対して面談を実施しました。 ②心疾患、腎臓病、糖尿病など重症化する恐れのある生活習慣病重症化予防対象者に対し、結果説明会を実施しました。医療機関受診が必要な方に対しては、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく連絡票や、市独自の要受診連絡票を活用し、受診勧奨と医療機関と連携した保健指導を実施しました。 ③疾病の早期発見の為、20歳代30歳代健診、がん検診、歯周疾患検診等を実施しました。がん検診の未受診者対策にも力を入れ、再勧奨葉書を送付しました。特に子宮がん検診は20歳代30歳代健診時や乳幼児健診時等、面接の機会をとらえて受診を勧めており、受診率が上がってきています。 ④定期予防接種接種率100%を目指し、個人通知や教室・健診など色々な機会を捉えて接種勧奨を行っています。また、接種していない方には再勧奨を行っています。
評価・課題	①②特定健診の受診率が令和3年度よりも約0.5ポイント上昇していますが、県内でも受診率はかなり低い状況です。健診を受けられた方に対する結果説明会を実施していますが、来所されない方もありますので、訪問を含め、面談を積極的に行う必要があります。 ③新型コロナウイルス感染症の影響もあり、感染対策を講じて検診を実施していますが、受診率が低下しました。未受診者対策をしていますが、がん検診受診率が思ったように増加しませんでした。また、電話での予約に限定しており、平日の昼間に電話できない方もあることから、予約しやすい体制をつくっていく必要があります。 ④接種率は回復してきましたが、接種率100%には至りません。適切な時期に接種できるように、個々にあわせた勧奨が必要です。
今後の取り組み方針	①②健診受診者を増やすと共に、継続的な健診受診を勧めます。また、必要者に対し、継続的に保健指導を実施します。訪問を取り入れ、保健指導の充実をはかります。 ③健診（検診）の重要性（ナッジ理論）を伝えながら、効果のある受診勧奨に努めます。また、WEB予約を導入する等、予約しやすい体制を構築し受診率増加に繋がります。 ④接種率向上のために、面接機会を捉えた接種勧奨を行います。また、未接種者の再勧奨について案内（内容・方法）を工夫していきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	健康づくり課
	中区分	健康・医療	作成者	和田 美鈴
	小区分	地域医療体制の確保		
施策の内容	①奨学金制度を積極的に活用し、公的病院の医師確保に努めます。 ②公的病院の救急医療体制を維持し、市民が安心して救急医療が受けられるように努めます。 ③医師会及び歯科医師会と連携し、休日・夜間及び災害時の医療体制の充実に努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	日頃から健康づくりを実践している市民の割合				令和5年度目標値		70.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	59.1	59.1	59.1	60.2	60.2	60.2	60.2
実績値	61.8	65.4	60.2	55.7	55.9	53.7	61.5
指標説明	「あなたは、日頃から健康づくりを実践していますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①公的病院の医師確保のため、奨学生に対し、奨学金を負担しました。令和5年度の新規募集をしましたが、新病院を希望する奨学生がなく、二次募集を実施することを決定しました。 ②東濃厚生病院に対し、救急医療体制を堅持することを目的に、特別交付税措置の基準額を限度として補助金を出しました。令和4年度は、年間263日を当番病院として救急医療を提供し、4,666名の救急患者を受け入れました。 ③医師会、歯科医師会と連携し、休日・夜間の医療体制を確保しました。
評価・課題	①引き続き、公的病院の医師確保に向けた取り組みが必要です。 ②救急医療体制の維持・存続に向け、病院統合に向けた救急医療体制のあり方の協議が必要です。 ③医師会、歯科医師会との連携により休日、夜間の医療体制は維持できていますが、災害時の医療体制に向け、具体的な協議が必要です。
今後の取り組み方針	①②③引き続き、地域医療体制の確保に向けた取り組みを進めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	民生部
	中区分	子育て支援	作成者	藤本 敏子
	小区分	子ども子育て支援の充実		
施策の内容	①子育て支援センターで子育てに関する相談、助言、情報提供を行うことで、子育て支援機能の充実を図ります。 ②放課後児童クラブなど、民間事業者と連携し、子育て支援事業を推進します。 ③児童館で遊びを通じて子どもたちの自立教育と体力増進を図ります。 ④幼児園については、幼保一体化による合同活動を継続し、保育サービスの充実を図っていきます。また、新たな小規模保育事業所の参入を促していきます。 ⑤ファミリー・サポート・センター事業等を充実し、地域社会における助け合いや一時預かり等による子育て支援を推進します。 ⑥病気の回復期で、まだ集団保育が困難である子どもを病院併設の保育所で預かり、仕事等で休むことができない保護者を支援します。 ⑦児童手当の支給、子育て世代への医療費助成を実施し、家庭等における生活の安定や、次世代を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値
年度		
目標値		
実績値		
指標説明		
指標と目的の関連性		
成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値
年度		
目標値		
実績値		
指標説明		
指標と目的の関連性		
成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値
年度		
目標値		
実績値		
指標説明		
指標と目的の関連性		

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①育児相談・育児サロン・親子教室などを実施し、育児についての相談、子育てに対する情報提供を行いました。どよう広場など親子で参加できる事業を開催しました。 ②放課後児童クラブを運営する団体を補助し、地域における子どもの居場所づくりを促進しました。 ③子供たちの自立教育と体力増進を図るため、各児童館において制作遊びや集団遊び、運動遊びを実施しました。 ④平成26年度（2014年度）から全ての公立幼児園において3歳児以上の幼保一体化による合同活動を実施しました。 ⑤地域で子育てを支え合うネットワークを構築するため、ファミリー・サポート・センター事業を実施しました。 ⑥令和2年度より、病児・病後児保育事業として、病児の受け入れを開始しました。 ⑦子育て家庭における生活の安定や児童の健全な成長を促すため、児童手当の支給と医療費の助成を行いました。
評価・課題	①子育てに対する悩みや不安を軽減し、安心して子育てができるように育児相談・親子教室等の充実を図る必要があります。 ②資格を持つ支援員が不足し、事業の実施に支障をきたす恐れがあります。 ③地域の実状に合わせた事業展開を図っていくために、利用者の方のニーズを把握しながら行事内容等について検討していく必要があります。 ④認定こども園への移行について、私立保育園と検討していく必要があります。 ⑤⑥核家族化の進行や地域における関係性が希薄化することにより、子育て家庭の孤立と子育てに対する負担感が増す親が増えることが予想されるため、よりきめ細やかな子育て支援策が必要となります。 ⑦公平性の観点から、申告漏れがないよう周知していくことや、所得等の支給要件があるため、認定事務を慎重に行う必要があります。
今後の取り組み方針	①育児相談・育児サロン・親子教室等を行い、地域の子育て支援センターとしての機能を充実させるとともに、子育て支援事業の推進を図ります。 ②支援員の増加につながる取り組みについて検討を行います。 ③利用者アンケートの結果などから児童館の運営体制について見直しを行うとともに、多様化するニーズに対することで利用者の増加を図っていきます。 ④公立幼児園については、幼保一体化による合同活動を継続していくとともに、私立保育園については、認定こども園への移行について協議を進めます。 ⑤⑥「瑞浪市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て家庭の孤立感の解消と子育てに対する負担感の軽減を重点課題として事業を実施していきます。各子育て支援施策を有効に活用していただくために、広く市民の方にPRしていきます。未実施の保育サービスについても検討していきます。 ⑦引き続き児童手当の支給等を実施し、子育て家庭の生活の安定と児童の健全な育成及び資質の向上を図っていきます。公平性の観点から、申告漏れがないように市の広報紙や市ホームページ等で制度について周知を図るとともに、手当等支給時期に所得を確認することをマニュアル化します。

2. 成果指標

1	成果指標名	合計特殊出生率				計画期間目標値			1.54人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	1.43	1.44	1.45	1.46	1.47	1.48	1.49	
	実績値	1.51	1.25	1.45	1.19	1.37	1.26	未確定	
	指標説明	統計データ（実績算出には1年以上かかる）							
	指標と目的の関連性								
2	成果指標名	地域子育て支援センター利用者数（年間延人数）				計画期間目標値			26,000人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	20,300	20,400	20,500	20,600	20,700	20,800	20,900	
	実績値	21,936	25,182	22,496	19,231	11,649	11,987	16,243	
	指標説明								
	指標と目的の関連性								
3	成果指標名	子どもを産み育てやすいと思う市民の割合				計画期間目標値			70.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	64.9	65.3	65.7	66.1	66.5	66.9	67.3	
	実績値	64.4	68.0	66.7	69.2	64.7	63.2	56.8	
	指標説明	「瑞浪市は、子どもを産み育てやすいまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合							
	指標と目的の関連性								
4	成果指標名	ファミリー・サポート・センターサポート会員数				計画期間目標値			54人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	57	58	38	42	46	50	54	
	実績値	34	37	36	19	12	11	13	
	指標説明	ファミリー・サポート・センターサポート会員数							
	指標と目的の関連性								



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	民生部
	中区分	子育て支援	作成者	藤本 敏子
	小区分	障がい児への支援		
施策の内容	①高齢者、障がい者、児童などの分野を問わない包括的な相談支援による相談支援体制の強化、関係機関が集まる療育関係者会議により、早期発見・早期療育を図るとともに、切れ目のない一貫した支援を提供します。 ②瑞浪市子ども発達支援センターにおいて、療育支援及び放課後等デイサービスなどを行い、発達支援の充実を図ります。 ③臨床心理士による園・小学校・中学校への巡回相談を行い、職員や保護者からの相談に応じ、支援の充実を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	子どもを産み育てやすいと思う市民の割合				令和5年度目標値		70.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	64.9	65.3	65.7	66.1	66.5	66.9	67.3
実績値	64.4	68.0	66.7	69.2	64.7	63.2	56.8
指標説明	「瑞浪市は、子どもを産み育てやすいまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①発達支援相談窓口では、電話・来所相談や、各保育園・幼稚園・小中学校への訪問相談等を行い、療育機関につなげました。また、早期発見・早期療育につながるよう保健・福祉・教育等の各関係機関、各療育機関との連携を図りました。 ②瑞浪市子ども発達支援センターにおいて、療育支援及び放課後デイサービス、保育園・幼稚園等訪問支援等の発達支援を行いました。 ③臨床心理士による各保育園・幼稚園・小中学校への巡回訪問相談を行い、発達検査等で個々の発達段階を分析し、発達支援を行いました。公立幼稚園では、個別の支援計画を作成し、療育機関等と連携して障がい児保育を実施しました。加配保育士を配置し、研修等に参加できる場を設けてスキルアップを図りました。
評価・課題	①②③国の基本指針において、障がい児のライフステージに沿って地域の保健・医療・福祉・保育・教育・就労支援等の関係機関が連携を図り、切れ目のない一貫した支援を提供する体制を整備することが求められています。 ③発達検査の検査結果が支援委員会において、次年度の進学先・進級先の検討資料として有効活用できています。巡回訪問相談及び発達検査等の希望者数が年々増加する傾向となり、翌年度にしか対応できないケースがあることが課題です。
今後の取り組み方針	①②③令和2年4月に「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠から出産、子育て期にわたるまでの子どもの心身の不調や病気、障がいなど様々なニーズに対し総合的な相談支援を行います。また、関係機関が集まる療育関係者会議を継続実施して連携を強化するとともに、相談支援体制の在り方について協議します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	民生部
	中区分	子育て支援	作成者	藤本 敏子
	小区分	ひとり親家庭等の支援		
施策の内容	①児童扶養手当の支給や子育て世代への医療費助成、生活資金の貸付等により、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ります。 ②家庭児童相談員による児童を取り巻く家庭及び養育指導・助言を行い、児童の健全育成を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①ひとり親家庭の生活の安定、児童福祉の増進のため児童扶養手当を支給し、医療費の助成を行いました。また、各種助成制度の周知や貸付金等の相談を実施しました。 ②家庭児童相談員を3名配置し、相談体制を整えるとともに、ハートピアや児童館等においても相談日を設け、ひとり親家庭等の自立支援を図りました。
評価・課題	①各種助成制度や貸付金等については、利用者が少ないため、制度の内容と周知の方法を見直す必要があります。 ②各関係機関と連携をとり、相談内容によっては、早く繋げることができる体制づくりが必要になります。
今後の取り組み方針	①広報紙や市ホームページ等で各種助成制度や貸付金等について周知するとともに、関係機関と連携して効果的な周知方法を検討していきます。また、医療費の助成については引き続き実施していきます。 ②各関係機関との連携を強化し、相談体制のネットワークづくりを整えていきます。

## 2. 成果指標

1	成果指標名	合計特殊出生率				計画期間目標値			1.54人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	1.43	1.44	1.45	1.46	1.47	1.48	1.49	
	実績値	1.51	1.25	1.45	1.19	1.37	1.26	未確定	
	指標説明	統計データ（実績算出には1年以上かかる）							
	指標と目的の関連性								
2	成果指標名	ファミリー・サポート・センターサポート会員数				計画期間目標値			54人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	57	58	38	42	46	50	54	
	実績値	34	37	36	19	12	11	13	
	指標説明								
	指標と目的の関連性								
3	成果指標名	子どもを産み育てやすいと思う市民の割合				計画期間目標値			70.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	64.9	65.3	65.7	66.1	66.5	66.9	67.3	
	実績値	64.4	68.0	66.7	69.2	64.7	63.2	56.8	
	指標説明	「瑞浪市は、子どもを産み育てやすいまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合							
	指標と目的の関連性								
4	成果指標名	地域子育て支援センター利用者数（年間延人数）				計画期間目標値			26,000人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	20,300	20,400	20,500	20,600	20,700	20,800	20,900	
	実績値	21,936	25,182	22,496	19,231	11,649	11,987	16,243	
	指標説明								
	指標と目的の関連性								

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	社会福祉課
	中区分	障がい者福祉	作成者	和田 光浩
	小区分	障がい者の自立と社会参加の促進		
施策の内容	<p>①働く意欲のある障がい者が身近な地域で就労できるよう、関係機関等との連携を一層強化し、障がい者雇用の促進を図ります。</p> <p>②サービス利用者を取り巻く環境や、障がいの特性に配慮した適切な支援がなされるよう、サービス提供事業所等と協議しながらサービス利用体制を整えます。</p> <p>③余暇活動の選択肢が増えるよう、障がいの有無にかかわらず誰もが気軽に参加できる文化・芸術・スポーツ・レクリエーション活動を推進し、障がい者が参加しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>④障がい者に対する理解を深めるため、広報啓発活動・福祉教育の推進を図ります。</p>			

## 2. 成果指標

成果指標名	就労支援事業の通所定員				令和5年度目標値		95人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	65	70	80	80	80	90	90
実績値	60	60	90	87	87	110	117
指標説明	市内で事業を行う就労系障害福祉サービスの通所定員						
指標と目的の関連性							
成果指標名	障がい者の就労系サービス利用者数（月平均）				令和5年度目標値		106人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	60	60	60	62	64	66	68
実績値	86	86	90	98	104	111	116
指標説明	就労移行支援、就労継続支援A型・B型利用者数（1か月当たり）						
指標と目的の関連性							
成果指標名	障がい者やその家族が安心して暮らせるまちだと思ふ市民の割合				令和5年度目標値		70.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	59.8	60.4	61.0	61.6	62.2	62.8	63.4
実績値	56.0	68.0	56.9	55.7	55.4	57.3	52.3
指標説明	「瑞浪市は、障がい者やその家族が安心して暮らせるまちだと思いますか」の設問に対し「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①瑞浪市地域総合支援協議会の就労部会で障がい者の就労事業所を理解していただくために市内5事業所のパンフレットを作成し、12月には市内の企業のご協力により店舗での展示販売会を初めて開催しました。市役所ロビーでは障害者習慣に合わせて展示も開催しました。</p> <p>②安定したサービス提供体制の確保と利用者の生活リズムの維持等に努めました。</p> <p>③誰もがががにできる生涯学習講座、関係団体主催のレクリエーションが開催されました。</p> <p>④広報みずなみに障がいへの理解を深めていただくための内容を掲載し周知をしました。毎年、分野ごとで内容を変えて掲載しています。</p>
評価・課題	<p>①事業所が課題と感じていること、必要なことを直接確認し、研修や情報発信の強化が必要です。</p> <p>②障がいの特性や心身状態、環境を勘案し適切なサービスにつなげるように努める必要があります。</p> <p>③配慮の必要な方が参加することを想定した企画になるよう担当課と連携することと配慮が申し出しやすい環境であることが必要です。</p> <p>④就労系の障害福祉事業所の内容を含め、定期的、継続的に啓発をすることで、障がいに対する理解が深まるように計画的に取り組む必要があります。</p>
今後の取り組み方針	<p>①事業所同士や関係機関等と連携し課題の解消に向けて会議等を開催します。</p> <p>②利用者の意思を尊重し、障がいの特性や本人の環境を勘案し、適切なサービスにつなげるように支援します。</p> <p>③関係機関と連携し、継続して活動ができるよう、文化芸術・スポーツ・レクリエーション活動の参加しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>④定期的・継続的な啓発を行い、効果的な取り組みを行います。</p>

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	社会福祉課
	中区分	障がい者福祉	作成者	和田 光浩
	小区分	障がい者福祉サービスの充実		
施策の内容	①相談支援事業所やサービス提供事業者との連携を密にし、必要なサービス提供体制とサービス量の確保に努めます。 ②短期入所・日中一時支援事業など、介護者の負担軽減のためのレスパイトケアの場の確保に努めるとともに、重症心身障がい児（者）や医療的ケア児（者）に対する支援体制について協議を進めます。 ③重度心身障がい者の医療費を助成するなど、安定した日常生活を送れるための各種支援を充実させます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	短期入所利用者数（月平均）				令和5年度目標値		20人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	19	20	20	20	20	21	21
実績値	11	12	16	19	11	10	9
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	障がい者やその家族が安心して暮らせるまちだと思ふ市民の割合				令和5年度目標値		70.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	59.8	60.4	61.0	61.6	62.2	62.8	63.4
実績値	56.0	68.0	56.9	55.7	55.4	57.3	52.3
指標説明	「瑞浪市は、障がい者やその家族が安心して暮らせるまちだと思いますか」の設問に対し「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①本人の心身状態、家族状況等により適切な支給設定とモニタリング期間の設定をするように行っています。 ②更新手続き時に希望、利用状況を確認し必要量を決定を行っています。 ③重度心身障害者に対する医療費の助成を行っています。
評価・課題	①介護保険との併給事例や相談も増えてきました。制度の適用に留意しながら適正に支給決定をすることが必要です。 ②医療的ケア児の幼稚園、学校の受け入れ等、状況の合わせた支援体制を充実する必要があります。 ③課をまたぐ業務のため不備がないように情報を共有し適切な支援ができるようにつなぎが必要です。
今後の取り組み方針	①相談支援事業所・サービス提供事業者等関係部署が連携を密にし、安定したサービスが提供できるように体制を維持し、他制度とも留意しながら適正な支給決定を行います。 ②介護者の負担の軽減につながるサービス利用を促進し、重症心身障がい児者・医療的ケア児者の支援体制の強化を図ります。 ③担当課間で適切に連携し、医療費助成により重度心身障がい者の経済的安定を図ります。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	社会福祉課
	中区分	障がい者福祉	作成者	和田 光浩
	小区分	障がい者の地域生活支援体制の充実		
施策の内容	<p>①相談支援の中核的役割を担う基幹相談支援センターを東濃5市で共同設置し、相談支援体制を強化するとともに、地域生活支援拠点を整備し、支援体制の充実に努めます。</p> <p>②成年後見制度・日常生活自立支援事業を周知し、利用促進を図ります。</p> <p>③施設整備やバリアフリー情報の提供等により、障がい者が外出しやすい環境を整備します。また、住宅改善助成制度を活用した居住環境の整備を推進します。</p>			

## 2. 成果指標

成果指標名	障がい者の就労系サービス利用者数（月平均）				令和5年度目標値		106人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	60	60	60	62	64	66	68
実績値	86	86	90	98	104	111	116
指標説明	就労移行支援、就労継続支援A型・B型利用者数（1か月当たり）						
指標と目的の関連性							
成果指標名	障がい者やその家族が安心して暮らせるまちだと思ふ市民の割合				令和5年度目標値		70.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	59.8	60.4	61.0	61.6	62.2	62.8	63.4
実績値	56.0	68.0	56.9	55.7	55.4	57.3	52.3
指標説明	「瑞浪市は、障がい者やその家族が安心して暮らせるまちだと思いますか」の設問に対し「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①東濃圏域における地域生活支援拠点の充実に向け緊急対応のための説明会を開催しました。</p> <p>②中核機関担当者会議を定期的開催され、成年後見制度の課題について協議をしました。</p> <p>③誰もが安心して利用できる環境となるように情報提供をしています。居住環境についても相談を受け、状況に応じた適切な支援をしています。</p>
評価・課題	<p>①基幹相談支援センターを中心に実施体制の整備を進めることが必要です。</p> <p>②稼働状況、実績を確認しながら利用できるよう支援を検証することが必要です。</p> <p>③障がい者が外出しやすくなるように情報発信を継続的にしていく必要があります。</p>
今後の取り組み方針	<p>①基幹相談支援センターを中心に地域ネットワークの強化と協働意識の定着を目指します。</p> <p>②支援を必要とする人へ適切な支援につながるよう制度の利用促進を図ります。</p> <p>③障がい者の日常生活の利便性を向上し、安心して外出できる環境となるよう関係部署と連携し整備促進を図ります。</p>

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	高齢福祉課
	中区分	高齢者福祉・介護	作成者	梅村 やよい
	小区分	地域包括ケアシステムの深化・推進		
施策の内容	<p>①高齢者やその家族からの様々な相談を受け、その生活課題を把握し、保健・医療・福祉の必要なサービスが適切に受けられるよう支援します。</p> <p>②地域ケア会議を開催しながら、多職種の連携体制を構築していきます。</p> <p>③高齢者の権利を擁護するため、相談、成年後見制度適用の支援、虐待の早期発見、把握に努め、関係機関と連携して支援します。</p> <p>④関係機関・団体と連携し、介護予防事業を推進します。</p> <p>⑤認知症に関する啓発、予防教室事業を開催し、認知症予防の推進を図ります。また、認知症初期集中支援チーム等により、認知症の容態に応じた適切な支援を行います。</p>			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値	
年度			
目標値			
実績値			
指標説明			
指標と目的の関連性			
成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値	
年度			
目標値			
実績値			
指標説明			
指標と目的の関連性			
成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値	
年度			
目標値			
実績値			
指標説明			
指標と目的の関連性			

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①地域包括支援センターの定例会を開催し、センター運営の状況把握を行うとともに、相談しやすい関係性を構築するため民生委員等各種関係団体の会議へ参加し顔なじみの関係づくりに努めました。</p> <p>②介護予防支援会議を定期的に開催し、多職種による連携体制の構築に努めました。</p> <p>③高齢者虐待、成年後見制度適用に対し、迅速に対応するとともに、地域包括支援センターとの連携強化に努めました。また、高齢者の権利擁護支援を担う中核機関の運営支援を行いました。</p> <p>④感染症拡大防止の観点から参加者の健康状態に配慮するとともに、換気、消毒等を徹底し教室を開催しました。地域包括支援センターと連携し、地域の公民館で教室を開催するなど、移動手段のない高齢者も参加しやすい環境作りに努めました。</p> <p>⑤認知症の普及啓発や介護予防教室を実施するとともに、相談支援を強化し、認知症の重度化防止に努めました。</p>
評価・課題	<p>①②③④⑤団塊の世代が75歳を迎える2025年以降、後期高齢者の増加に伴い支援が必要な高齢者も増加することが見込まれます。また、単身高齢者、老々介護、8050問題など今後も困難事例が増加することが想定されるため、地域包括支援センターの機能を強化し、市との連携を図ることが必要です。また、認知症高齢者等に対し、「共生」と「予防」に重点を置いた支援の充実が必要です。コロナ禍をきっかけとして外出を控えるようになった高齢者のフレイルの進行、認知症高齢者の増加が懸念されます。</p>
今後の取り組み方針	<p>①高齢者の相談窓口である地域包括支援センターの機能強化を目指します。</p> <p>②高齢者の重度化防止のため、介護予防支援に重点を置いたケース会議を継続し、ケアマネジャーの資質向上と多職種との連携を強化します。</p> <p>③高齢者虐待等を早期に発見するため、地域の高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの機能強化を図り、関係者とのネットワーク構築を目指します。また、中核機関の運営を支援し、権利擁護の充実を図ります。</p> <p>④今後の高齢化の進行に向け、高齢者の健康意識を高め健康寿命の延伸を図る取り組みを行います。</p> <p>⑤認知症の重度化防止を目指し、相談窓口の周知や相談体制を強化し、「共生」と「予防」を柱とした認知症施策を推進します。</p>

## 2. 成果指標

1	成果指標名	認知症サポーター養成講座受講者数（延人数）				計画期間目標値			4500人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	2690	2800	2900	4200	4300	4400	4500	
	実績値	3,287	3,754	4025	4385	4450	4633	4806	
	指標説明	認知症サポーターの養成講座受講者数（延人数）							
	指標と目的の関連性								
2	成果指標名	高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと感じる市民の割合				計画期間目標値			70.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	67.2	67.6	68.0	68.4	68.8	69.2	69.6	
	実績値	63.7	61.3	63.3	64.3	66.2	64.8	57.9	
	指標説明	「瑞浪市は、高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合							
	指標と目的の関連性								
3	成果指標名	介護予防教室の開催件数				計画期間目標値			350回
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	108	109	110	112	150	200	300	
	実績値	321	322	312	137	112	128	158	
	指標説明	市及び地域包括支援センターが開催する介護予防教室の回数							
	指標と目的の関連性								
4	成果指標名	65歳～74歳の介護認定率				計画期間目標値			2.3%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	2.59	2.58	2.57	2.56	2.3	2.3	2.3	
	実績値	2.2	2.5	2.6	2.8	2.8	2.8	2.9	
	指標説明	65歳～74歳の認定者数/65歳～74歳人口							
	指標と目的の関連性								



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	高齢福祉課
	中区分	高齢者福祉・介護	作成者	梅村 やよい
	小区分	高齢者福祉サービスの提供		
施策の内容	<p>①配食サービス等の高齢者福祉サービスを提供することで、可能な限り在宅で生活できるよう支援していきます。また、移動手段の確保に努めます。</p> <p>②民生委員・児童委員等による定期的な見守りや、事業者との「瑞浪市高齢者等見守り活動に関する協定」に基づき、さりげない見守り活動を行います。</p> <p>③在宅で生活する高齢者に対し、適切な生活支援が提供できるよう、担い手講座等を行いながら、人材育成を図ります。</p>			

## 2. 成果指標

成果指標名	高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと感じる市民の割合				令和5年度目標値		70.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	67.2	67.6	68.0	68.4	68.8	69.2	69.6
実績値	63.7	61.3	63.3	64.3	66.2	64.8	57.9
指標説明	「瑞浪市は、高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①配食サービス等の高齢者福祉サービスを継続して実施し、可能な限り在宅での生活が続けられるよう支援を行いました。令和4年度から配食サービスの利用回数を週1回から週2回までに増加し、見守り体制の強化を図りました。</p> <p>②民生児童委員による定期的な見守り等に対し、相談支援を行いました。また、高齢者等見守り活動に関する協定を締結している事業者と連携し、見守りの強化に努めました。1事業者と新規協定を締結しました。</p> <p>③在宅で生活する高齢者に対し軽度な生活援助を提供するため、援助の担い手となる人材の養成を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の支援活動の場が制限されていることを鑑み、令和3年度以降に付与されたさきエールポイントのうち各年度末時点で交換ポイントに満たないポイントを翌年度に繰り越すことができるよう改正を行いました。</p>
評価・課題	<p>①②③高齢化率の上昇、ひとり暮らし又は高齢者のみの世帯の増加により、在宅生活を維持していくための介護保険外サービスの充実が必要です。また、買い物や通院等への外出支援といったニーズへの対応が課題となっています。</p>
今後の取り組み方針	<p>①配食サービス等支援を必要とする高齢者を適切なサービスにつなげます。また、外出支援について他自治体の調査等により検討を行います。</p> <p>②民生児童委員、地域包括支援センター、見守り協定締結事業者等との連携を密にし、見守りの強化に努めます。</p> <p>③軽度な生活援助が提供できる人材の育成に努め、地域の互助力の向上を図ります。</p>

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	高齢福祉課
	中区分	高齢者福祉・介護	作成者	梅村 やよい
	小区分	高齢者の社会参加の支援		
施策の内容	①長寿クラブの身近な地域での社会奉仕活動や生きがいのための活動、健康づくりのための活動、また、友愛活動などの活動に対し指導及び支援を行い、クラブ活動の活性化を図ります。 ②寿大学に対し、魅力ある学習機会を提供し、学習・講座内容の充実を図ります。また、参加促進のための周知啓発を積極的に実施するとともに、自主的な活動への支援を行います。 ③高齢者が生きがいをもって暮らせるように、豊かな知識や経験を活かすことができる就労機会の確保に努めます。 ④公共施設等へのユニバーサルデザインの導入を推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	65歳～74歳の介護認定率				令和5年度目標値		2.3%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	2.59	2.58	2.57	2.56	2.55	2.54	2.53
実績値	2.2	2.5	2.6	2.8	2.8	2.8	2.9
指標説明	65歳～74歳の認定者数/65歳～74歳人口						
指標と目的の関連性							
成果指標名	高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと感じる市民の割合				令和5年度目標値		70.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	67.2	67.6	68.0	68.4	68.8	69.2	69.6
実績値	63.7	61.3	63.3	64.3	66.2	64.8	57.9
指標説明	「瑞浪市は、高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	シルバー人材センター就業者数（延人数）				令和5年度目標値		27,000人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	27650	28300	28950	28993	29036	26000	26500
実績値	24904	25633	25802	24360	19901	18402	17029
指標説明	シルバー人材センター事業報告書						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①瑞浪市長寿クラブ連合会及び24の単位クラブに対して運営補助金を交付し、活動を支援しました。 ②各公民館において学習会やクラブ活動が円滑に実施されるよう支援しました。中部寿大学では2つの新規クラブを立ち上げ、日吉寿大学は「日吉アカデミー」に呼称を変更して参加しやすいきっかけづくりに取り組みました。 ③瑞浪市シルバー人材センターに補助金を交付し、活動を支援しました。 ④該当する事案はありませんでした。
評価・課題	①役員の高齢化や交代役員の引き受け手がないことが廃止の要因となっています。また、会員の高齢化による退会者が増加する一方、高齢者の趣味の多様化、意識の変化等から新規会員の確保が困難となっており、長寿クラブの加盟団体数、会員数共に減少しています。 ②学生数の減少、役員の担い手不足、移動手段の確保、参加者間の年齢差、定年延長の影響等が全公民館共通の課題です。 ③定年延長等により、高齢者の就労機会が多様化しており、シルバー会員の確保が困難となっています。高齢化の進行に向けて、地域包括ケアシステムを深化・推進するため、介護分野等の人材不足解消のためにも元気な高齢者が担い手となり、支援が必要な高齢者の支え手となる仕組みづくりを進める必要があります。
今後の取り組み方針	①広報への掲載やチラシを作成するなど、長寿クラブ会員増強のための支援を継続します。また、高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、今後も長寿クラブの活動に対し支援を行います。 ②即効性のある打開策は見いだせないものの、各公民館間で工夫等を共有しながら現状を維持できるよう支援しつつ、シニア世代が参加しやすい内容や環境づくりについて検討します。 ③高齢者の知識・経験や技能を生かすため、高齢者の就労機会を提供し社会参加が促進されるよう今後もシルバー人材センターの運営に対し支援を行います。 ④施設の建築、改修時にユニバーサルデザインを検討するのはもちろん、通路に障害物を置かない、分かりやすい案内看板を設置する等常に多様な利用者の目線に立った施設整備を意識します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	健康福祉	担当部局	高齢福祉課
	中区分	高齢者福祉・介護	作成者	梅村 やよい
	小区分	介護サービスの充実		
施策の内容		<p>①介護保険事業の適正な運用と持続的な運営のために、ケアプランや住宅改修等の点検、医療情報との突合及び縦覧点検などを行い、介護給付費等の適正化を推進します。</p> <p>②介護保険事業等を円滑に実施するための「瑞浪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、市民ニーズに即した居宅介護サービス及び地域密着型サービスを推進し、サービスの提供と保険料のバランスがとれた制度の運用を図ります。</p> <p>③要介護認定者の増加に伴い、利用状況やニーズを見極めながら介護保険事業計画へ反映させます。</p>		

## 2. 成果指標

成果指標名	高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと感じる市民の割合				令和5年度目標値		70.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	67.2	67.6	68.0	68.4	68.8	69.2	69.6
実績値	63.7	61.3	63.3	64.3	66.2	64.8	57.9
指標説明	「瑞浪市は、高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①介護給付適正化総合支援システムを活用し、認定状況と給付実績を突合し、不適切な給付の有無についてチェックを行いました。</p> <p>②第8期介護保険事業計画に基づき、適切な介護保険事業の運営に努めました。</p> <p>③過去の介護（介護予防）サービスの利用状況や市民ニーズを踏まえ、第8期計画期のサービス提供量を見込みました。</p>
評価・課題	<p>①②③団塊の世代が後期高齢者（75歳）となる令和7年度や、今後の高齢者人口、介護（介護予防）サービス利用見込量、介護認定率等の動向を見据えた介護（介護予防）サービスを検討・提供していく必要があります。</p>
今後の取り組み方針	<p>①引き続き、介護給付適正化総合支援システムを活用し、不適切な給付についてチェックを行います。</p> <p>②③第8期介護保険事業計画に基づき、適切な介護保険事業の運営に努めるとともに、今後の高齢者人口や市民ニーズ等を的確に把握し、各種介護（介護予防）サービスの取り組みを実施していきます。</p>

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	クリーンセンター
	中区分	循環型社会	作成者	三浦 正二郎
	小区分	ごみ処理施設の適切な運営		
施策の内容	①可燃物焼却施設及び不燃物最終処分場を適切に管理・運営し、ごみを安定的かつ安全に処分します。 ②施設の長寿命化を図るため計画的な施設整備を行い、経済的かつ効率的なごみ行政を推進します。 ③不燃物最終処分場では手選別による分別などを行い、処分量の削減を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	可燃ごみの年間処理量				令和5年度目標値		10,000 t
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	10,500	10,500	10,500	10,000	10,000	10,000	10,000
実績値	10,499	10,350	10,446	10,460	10,271	10,115	9,898
指標説明	事業系含む						
指標と目的の関連性							
成果指標名	不燃ごみ年間処理量				令和5年度目標値		2,000 t
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	2,200	2,200	2,200	2,000	2,000	2,000	2,000
実績値	2,185	2,486	2,296	2,506	2,918	1,953	2,181
指標説明	事業系含む						
指標と目的の関連性							
成果指標名	リサイクル率				令和5年度目標値		26.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	25.0	25.0	25.0	26.0	26.0	26.0	26.0
実績値	21.2	20.8	20.5	19.6	19.9	20.2	19.7
指標説明	家庭から排出されるごみ全体量に対する資源ごみの割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①可燃物焼却施設及び不燃物最終処分場を適切に運営して、ごみを安定的かつ安全に処理しました。 ②可燃物焼却施設の定期改修を実施しました。 ③廃棄物処理手数料の改定と産業廃棄物の総量規制を実施して、ごみの減量化に努めました。
評価・課題	①可燃物焼却施設について、運転開始より21年が経過により設備の故障が発生しているためごみ処理に細心の注意が必要です。 ②施設整備計画に基づいて整備を行っています。 ③一般廃棄物処理手数料の改定に伴い、家庭用ごみ袋の変更を行いました。一時的に交換用の不燃ごみ袋の不足する事体が発生しましたが、追加発注により適切に対応しました。産業廃棄物の総量規制については、事業者の協力により当初の想定を上回る減量化ができました。
今後の取り組み方針	①安定的かつ安全なごみ処理のため、現状把握に努めて施設の適切な運営管理を行います。 ②可燃物焼却施設は、令和14年度までの運用を予定しており、施設整備計画の見直しによる適切な維持管理を実施します。不燃物最終処分場についても、埋立状況と残余年数を考慮して整備を実施します。 ③廃棄物処理手数料の改定については、今後の状況などを鑑みて改定時期を検討します。総量規制についても、陶磁器リサイクルの補助金の創設により産業廃棄物の減量化を図ります。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	クリーンセンター
	中区分	循環型社会	作成者	三浦 正二郎
	小区分	ごみ処理施設の整備		
施策の内容	①可燃物焼却施設の更新について検討します。 ②不燃物最終処分場の長寿命化を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	可燃ごみの年間処理量				令和5年度目標値		10,000t
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	10,500	10,500	10,500	10,000	10,000	10,000	10,000
実績値	10,499	10,350	10,446	10,460	10,271	10,115	9,898
指標説明	事業系含む						
指標と目的の関連性							
成果指標名	不燃ごみの年間処理量				令和5年度目標値		2,000t
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
実績値	2,185	2,486	2,296	2,506	2,918	1,953	2,181
指標説明	事業						
指標と目的の関連性							
成果指標名	リサイクル率				令和5年度目標値		26.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	25.0	25.0	25.0	26.0	26.0	26.0	26.0
実績値	21.2	20.8	20.5	19.6	19.9	20.2	19.7
指標説明	家庭から排出されるごみ全体量に対する資源ごみの割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①可燃ごみ焼却施設の広域化について、広域事務組合の取扱事務とし協議を進めています。 ②産業廃棄物の総量規制により埋立処理量が大幅に減少したため、不燃物最終処分場の第5期盛土設置工事は延期しました。
評価・課題	①協議を進め、令和5年度より広域化基本構想及び焼却施設設置個所の可能性調査業務委託を実施することとなりました。 ②廃棄物処理手数料の改定及び産業廃棄物の総量規制の結果を踏まえて、第5期盛土堰堤工事を令和6年度に施工します。以降の堰堤工事についても実施時期を検討します。
今後の取り組み方針	①可能性調査業務委託の受注者が令和5年6月に決まり、受注者の提案に基づき焼却施設の広域化を進めます。 ②総量規制等の減量化への効果を見定めて、不燃物最終処分場の盛土堰堤工事等の整備時期を検討します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	経済部
	中区分	循環型社会	作成者	渡辺 芳夫
	小区分	4 Rの推進		
施策の内容	①ごみを分別するだけでなく、資源となるものの行き先をしっかりと理解した上で、ごみの分別ルールの徹底を図ります。 ②市民一人ひとりの自主的かつ積極的な取組のため、子どもから大人までごみを減量する意識をもつよう啓発活動を推進します。 ③リサイクル製品の購入、マイバックの利用をはじめ、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの4 R活動に対する啓発を推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照					令和5年度目標値	
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照					令和5年度目標値	
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照					令和5年度目標値	
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①事業系ごみについては令和3年10月より、家庭系ごみについては令和4年4月より処理手数料を改定しました。また、廃棄物の減量化を図るため、令和4年度より事業者が排出する不燃の産業廃棄物について、搬入量の一部を制限する総量規制を実施しました。 ②「資源・ごみ分別アプリ（さんあ〜る）」を令和2年7月に日本語版の配信を開始し、同年11月には英語、ベトナム語、ポルトガル語、中国語（簡体）の4言語での配信も始めました。R5.7.11時点で、全言語含めて2,507人が利用しています。また、「家庭ごみの分け方・出し方便利帳」を毎年発行し、各世帯に配布してごみの分別ルールを周知しています。 ③「家庭ごみの分け方・出し方便利帳」の内容について見直しを行い、より分かりやすく見やすい冊子になるよう対応しました。
評価・課題	①「資源・ごみ分別アプリ（さんあ〜る）」は、市内でより多くの方に利用して頂けるように、周知を図りました。 ②令和4年度は5回実施しましたが、市民に対し、出前講座や環境フェアなどを通じてごみの分け方・出し方を広くPRし、ごみの減量やリサイクルについてさらに理解を深めていただく必要があります。 ③定期的に広報へごみの減量に関する記事を掲載するほかに、4 R活動に関する啓発活動について考えていく必要があります。
今後の取り組み方針	①「資源・ごみ分別アプリ（さんあ〜る）」の利用者拡充のため、クリーンセンターにごみを持込した方への利用を促すほか、市内事業者に働く外国人従業員に多言語チラシ配布等による周知を図ります。 ②より多くの市民に対してごみの減量やリサイクルを推進するため、出前講座を開催できるよう自治会やボランティア団体などに働きかけるとともに、継続して市の広報やホームページなどを通じてPRします。 ③定期的に広報へごみの減量に関する記事を掲載して4 R活動に関する啓発を行うとともに、広報以外での啓発活動についても取り組んでいきます。

## 2. 成果指標

1	成果指標名	可燃ごみの年間処理量				計画期間目標値		10,000 t
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500
	実績値	10,499	10,350	10,446	10,460	10,271	10,115	9,898
	指標説明	事業系含む						
	指標と目的の関連性							
2	成果指標名	不燃ごみの年間処理量				計画期間目標値		2,000 t
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
	実績値	2,185	2,486	2,296	2,506	2,918	1,953	2181
	指標説明	事業系含む						
	指標と目的の関連性							
3	成果指標名	リサイクル率				計画期間目標値		26.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	実績値	21.2	20.8	20.5	19.6	19.9	20.2	19.6
	指標説明	家庭から排出されるごみ全体量に対する資源ごみの割合						
	指標と目的の関連性							
4	成果指標名	ごみの4R活動に取り組んでいる市民の割合				計画期間目標値		81.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	78.2	78.6	79.0	79.4	79.8	80.2	80.6
	実績値	76.4	77.6	68.6	72.5	79.9	78.2	79.9
	指標説明	「あなたは、ごみの4R活動に取り組んでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
	指標と目的の関連性							

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	経済部
	中区分	環境保全・エネルギー	作成者	渡辺 芳夫
	小区分	環境学習の機会と情報の提供		
施策の内容	①環境フェアみずなみの開催など、地域住民の環境に対する意識の向上を図ります。 ②小中学校等における環境学習を実施し、環境意識の向上を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	環境学習実施回数				令和5年度目標値			14回
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
目標値	11	12	12	12	13	13	14	
実績値	10	9	11	10	0	1	5	
指標説明	市内小学校等における環境学習の実施回数							
指標と目的の関連性								
成果指標名	省エネルギー・新エネルギーへの取り組みをしている市民の割合				令和5年度目標値			60.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
目標値	54.9	55.5	56.1	56.7	57.3	57.9	58.5	
実績値	50.0	51.2	49.0	47.8	49.7	47.0	50.6	
指標説明	「あなたは、省エネルギー・新エネルギーへの取り組みをしていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合							
指標と目的の関連性								
成果指標名					令和5年度目標値			
年度								
目標値								
実績値								
指標説明								
指標と目的の関連性								

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①環境フェアでは、例年会場としていた総合文化センターが改修中のこともあり、西分庁舎にてテーマを陶磁器リサイクルに絞って開催した。不要な食器を粉碎し、陶土と混ぜて作陶したりリサイクル食器（Re-食器）を流通・販売も含め携わっているグリーンライフ21プロジェクトを取り上げ、市民等に経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通じた持続可能な地域づくりへの取り組みを紹介しました。 ②瑞浪小学校、釜戸小学校においてカワゲラウォッチングを実施しました。また、市内各地区でごみの出前講座を実施しました。
評価・課題	①環境フェアでは、来場者数向上のため、健康まつりと同時開催し、各種団体・企業の環境への取り組みを展示を通じて学ぶ事ができます。 ②実施する小学校が少なくなっていますが、カワゲラウォッチングを実施し、参加した児童が、河川に棲む水生生物を調査することにより、河川の水質状況の確認や、調査の体験を通じて水質保全及び浄化の重要性を認識する良い機会となっています。
今後の取り組み方針	①環境フェアでは環境に関するSDGsについて学べる機会としていきます。今後も環境フェアの開催時期を健康まつりとの合同開催とします。新たに市民にRe-食器について知っていただくための展示を予定しています。 ②引き続き環境学習の一環としてカワゲラウォッチングの実施について啓発を行っていきます。



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	経済部
	中区分	環境保全・エネルギー	作成者	渡辺 芳夫
	小区分	省エネルギー・新エネルギーの推進		
施策の内容	①瑞浪市地球温暖化対策実行計画に基づき、節電、クールビズなどを実施し、二酸化炭素の排出量削減に努めます。 ②再生可能エネルギーの利用を積極的に支援するとともに、普及啓発に努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	公共施設におけるCO2削減率				令和5年度目標値		6.3%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	2.8	3.3	3.8	4.3	4.8	5.3	5.8
実績値	3.9	-2.2	2	17.1	23.6	23.1	22.1
指標説明	平成25年度を基準にした市役所で排出される二酸化炭素削減割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	省エネルギー・新エネルギーへの取り組みをしている市民の割合				令和5年度目標値		60.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	54.9	55.5	56.1	56.7	57.3	57.9	58.5
実績値	50.0	51.2	49.0	47.8	49.7	47.0	50.6
指標説明	「あなたは、省エネルギー・新エネルギーへの取り組みをしていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①第3次瑞浪市地球温暖化対策実行計画により、本庁舎等の公共施設の節電や省エネに取り組んでいます。また、広報により温室効果ガス削減及び電力の安定供給のために、夏季と冬季に省エネルギーの取り組みを呼びかけました。 ②瑞浪市エネルギー利用最適化事業補助金により再生可能エネルギーの利用の促進を行いました。併せて、温室効果ガス削減に寄与しました。
評価・課題	①年々CO2の削減率が向上している。クリーンセンターにおけるCO2排出量が、公共施設における排出量に対して大きな割合を占めているため、クリーンセンターからのCO2排出量削減に努める必要がある。 ②環境省が公表する自治体排出カルテでは、令和2年度における本市の世帯数に対するFIT太陽光導入比は8.7%と、再生可能エネルギーの導入余地が多く残されていますが、太陽光発電システム補助件数は802件（H21～H30）、エネルギー利用最適化事業補助件数は143件（R1～R4）で合計945件となっています。新エネルギーの利用は、CO2の排出量削減に有効なので、未設置の建物所有者に対して、その有効性について周知していく必要があります。 エネルギー利用最適化事業の補助金は5年目を迎えるので、見直しの時期にあります。
今後の取り組み方針	①クリーンセンターの効率的な運用を行いつつ、今後も本庁舎等の公共施設の節電や省エネに取り組んでいきます。 ②広報での補助金PRや環境フェアでの蓄電システムの展示等を行い、今後の設備普及啓発に努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	経済部
	中区分	環境保全・エネルギー	作成者	渡辺 芳夫
	小区分	生活環境の保全		
施策の内容	①水質・騒音などの環境調査・監視を行い、暮らしやすい環境を目指します。 ②不法投棄防止のため、自治会等と連携し、地域の目を活かした監視体制の強化を図ります。 ③環境対策指導員によるパトロールを日々行うことで、不法投棄の防止を図ります。 ④地域の生態系を保全する取組みを推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	環境学習実施回数				令和5年度目標値		14回
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	11	12	12	12	13	13	14
実績値	10	9	11	10	0	1	5
指標説明	市内小学校等における環境学習の実施回数						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①土岐川水系の河川22箇所において年2回の水質調査を行いました。また、地区要望による国道や中央自動車道沿線の騒音測定や聴き取り調査を行いました。 ②③不法投棄防止看板を配布し、設置を促すことで、不法投棄の防止を推進しました。また、不法投棄が多発する地域について、環境対策指導員が重点的にパトロールを行いました。 ④特定外来生物であるアライグマ・オオキンケイギクの駆除を行いました。アライグマでは特定外来生物防除従事者証を発行し、15頭を捕獲しました。また、オオキンケイギクは、市内の民間事業者による社会貢献活動も含め、330kgを抜根駆除しました。
評価・課題	①水質検査では、特別な異常は認められませんでした。騒音は感覚公害ともいわれ、環境基準以下であっても日常生活に関係の深い問題であるため、対策の難しさがあります。 ②③不法投棄については、投棄者特定にも限界があるため、捨てさせない環境づくりが重要となってきます。 ④例年ある程度の駆除を行っていますが、生態系のための定期的な駆除が必要です。
今後の取り組み方針	①引き続き水質調査や、地区要望による国道や中央自動車道の騒音に対して測定を実施します。 ②③環境対策指導員や環境美化監視員等によるパトロール、不法投棄禁止看板の設置などにより、不法投棄防止を図ります。 ④特定外来生物であるアライグマ・オオキンケイギクの駆除を重点的に行います。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	商工課
	中区分	公共交通	作成者	豊崎 忍
	小区分	利便性の高いコミュニティバスの運行		
施策の内容	①利用者負担やニーズを踏まえた持続可能で利用しやすいコミュニティバスの運行を維持します。 ②わかりやすい時刻表や路線図の表示に努め、親しまれるコミュニティバスを目指します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	コミュニティバス年間利用者数				令和5年度目標値		80,000人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	100,000	100,000	100,000	80,000	80,000	80,000	80,000
実績値	84,416	75,740	77,399	77,825	62,717	60,780	63,381
指標説明	瑞浪市コミュニティバス年間利用者数（年）						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①利用者アンケートの実施や地区要望を通じて意見を集約し、利用者ニーズやバス停ごとの乗降者数の分析を行い、利用実態に合わせて運行内容の見直しを行いました。また、利用者数が減少している陶線について、運行経費の削減及び新たな交通インフラを構築するにあたり、ダイヤの減便及び一部停留所の廃止を行いました。 ②全線を掲載した時刻表を作成し、全戸配布しました。また、経路検索サービス「ナビタイム」にコミュニティバスの運行ダイヤ情報を提供し、スマートフォン等で各バス停の時刻表等の検索を可能にし、利便性の向上に努めました。そのほか、GTFSデータ整備を行い、GoogleMapへコミュニティバスの情報を公開したことで、他の公共交通機関と組み合わせた経路検索が可能となり、更なる利便性の向上につなげました。
評価・課題	①一部の郊外路線については、人口減少による利用者の低迷が続いており、特に陶地区については年間利用者数が1,000人を割り込んでいるため、デマンド交通の導入と合わせて一体的に検討していきます。 ②公共交通機関相互がその機能を最大限に発揮する運行ダイヤを検討し、連携強化に努めます。
今後の取り組み方針	①令和5年度に地域公共交通計画の策定を行うため、地元の意見を聞き取り、計画に反映させコミュニティバスの運行を維持していきます。また、同計画内において、市内公共交通の抜本的な見直しを行います。 ②各公共交通機関を有機的に連携させ、公共交通網として利用者が使いやすい運行ダイヤの作成に努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	商工課
	中区分	公共交通	作成者	豊崎 忍
	小区分	総合的な公共交通体系の構築		
施策の内容	①総合的な公共交通体系に基づく計画により、利用者のニーズに応じた効果的な事業を実施します。 ②公共交通機関の利用を促進するなど、自家用車がなくても気軽に移動できるまちづくりを地域とともに推進します。 ③鉄道交通について、事業者と協働し地域に密着した交通施策を実施します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	利用しやすい公共交通が整っていると感じる市民の割合				令和5年度目標値		47.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	43.0	43.1	44.1	44.7	45.3	45.9	46.5
実績値	36.3	38.4	33.3	27.5	30.5	31.3	28.4
指標説明	「瑞浪市は、利用しやすい公共交通が整っているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	デマンド型交通年間利用者数				令和5年度目標値		4,500人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	3,000	6,000	6,000	4,500	4,500	4,500	4,500
実績値	647	1,944	3,072	2,535	1,957	2,009	1933
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①毎年利用者アンケートと地区単位で要望のとりまとめを実施し、利用者のニーズ調査を行っています。集約した意見を基に、公共交通の関係者で構成する地域公共交通会議で協議し、運行内容の改善を行っています。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により、デマンド交通の稼働率の低下が著しい大湫・日吉東部ルートについて、区長会にてデマンド交通の利用実績、制度説明等を実施し、利用促進に努めました。また、運転免許証を自主返納した65歳以上の市民に対し、5,000円分の公共交通券を配布し、公共交通機関への利用促進に努めました。 ③JR釜戸駅の乗車券販売業務について、釜戸町まちづくり推進協議会に委託することで、地域及び利用者の利便性の維持をしています。
評価・課題	①利用者のニーズに応じた効率的なバスの運行が必要になります。 ②コミュニティバスやデマンド交通を含む公共交通機関の利用の減少が続いており、利用実態を踏まえた効率的・効果的な運行ルートやダイヤの見直し等が必要です。 ③JR釜戸駅の利用者数の減少が続いており、委託費に係る経費が増加しています。
今後の取り組み方針	①令和5年度に地域公共交通計画を策定するため、利用者アンケートやヒアリングを行い、地区ごとのニーズを調査し、利用者の要望や利用実績に即した運行内容としていきます。 ②デマンド交通について、登録はしてあるが利用はしたことがないとの声が多数あったので、利用するきっかけづくりのため、令和5年度では無料券を配布し、利用促進に努めます。また、運転免許証自主返納支援制度については、生活安全課と連携し市役所での運転免許証自主返納出張窓口の機会を有効に活用し、制度のPRを行います。 ③JR釜戸駅の乗車券販売業務に係る委託料や委託内容の見直しを行い、乗車券販売業務の廃止も視野に入れて関係者と協議していく必要があります。また、市民より鉄道に関する要望等を受付けた際には、引き続き県を通してJRに要望書を提出していきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	生活安全課
	中区分	消防・防災	作成者	工藤 雄一
	小区分	危機管理体制の強化		
施策の内容	①情報発信・情報伝達手段を強化し、迅速に正確な情報を市民に提供できる体制を構築します。また、自主防災組織等と連携して、育成した人材の活動体制を整備します。 ②防災倉庫を整備・管理するとともに、災害等における課題を踏まえ防災備蓄品を充実させることで、防災拠点施設や避難所の機能向上を図ります。 ③地方公共団体や民間事業者、関係機関との間で災害時応援協定を締結し、災害発生時における人的・物的支援などの体制の強化を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	絆メール登録者数				令和5年度目標値		8300人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	7000	7000	7000	7000	7000	7000	8300
実績値	6,031	6,724	7,598	7118	8428	8261	8573
指標説明	絆メール登録者数（市公式LINE登録者数を含む）						
指標と目的の関連性							
成果指標名	災害・火災・急病などに対する備えをしている市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	41.0	42.0	42.7	43.7	44.7	45.7	46.7
実績値	45.4	46.8	44.0	45.7	47.4	45.8	48.5
指標説明	「あなたは、災害・火災・急病などに対する備えをしていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①広報誌やHP、防災訓練、成人式等で「絆」メール及び市公式LINEの登録を積極的に推進するとともに、防災ラジオの適正配置の周知に努めました。また、災害時には情報を各媒体を通して迅速に発信することができました。 市で育成した防災士、防災リーダーで構成される、みずなみ防災会の活動を支援しました。 ②市内29箇所の防災倉庫をすべて点検し、物品の配置を統一するなど、管理に努めました。 ③R4より、既存の協定締結団体と相互の担当者・緊急連絡先の確認を毎年行うこととし、協力体制の維持、強化に努めました。
評価・課題	①「絆」メール全体の登録者数は増加していますが、内訳はLINE登録者が増加、メール登録者が減少しています。 ②一部倉庫における保管場所の確保が難しくなっており、今後備蓄品目を増やす場合には、倉庫の備蓄数を検討する必要があります。また、女性等の視点を踏まえた避難所運営について、その対応が求められています。 ③協定締結団体内の異動により担当者が変更されることもあるので、連絡先の確認を継続していく必要があります。
今後の取り組み方針	①「絆」メール全体の登録者数を増やすため、今後も若者世代を中心として啓発を実施し、LINE登録者数の増加に努めます。また、引き続きみずなみ防災会の活動を支援します。 ②引き続き防災倉庫を点検し、整備・管理を継続します。時勢に応じて備蓄品の見直しを行い、有用な備蓄品については自助（個人での備蓄）の必要性について啓発に努めます。また、女性等の視点を踏まえた避難所に必要な備蓄品を整備します。 ③協定締結団体と協定内容の確認及び情報交換を行い、災害時に迅速な連携がとれる体制の維持に努めます。また、必要に応じて新たな協定先の検討を行います。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	生活安全課
	中区分	消防・防災	作成者	工藤 雄一
	小区分	地域の防災力の向上		
施策の内容	①防災リーダー・防災士などの人材育成を進めます。また、自主防災組織等と連携して育成した人材の活動体制を整備します。 ②自治会やまちづくり推進組織、防災機関との連携を強化し、自主防災組織の育成や要配慮者の支援体制の整備を進めます。 ③自治会、自主防災組織等を対象とした小規模単位の防災訓練や避難計画づくりなどを実施し、災害に対する正しい知識の普及、防災・減災意識の向上を図ります。 ④ブロック塀等の倒壊による被害が発生しないよう、危険なブロック塀等の撤去を促進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値
年度		
目標値		
実績値		
指標説明		
指標と目的の関連性		
成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値
年度		
目標値		
実績値		
指標説明		
指標と目的の関連性		
成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値
年度		
目標値		
実績値		
指標説明		
指標と目的の関連性		

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①防災リーダー養成講座を開講し、17名の防災リーダーを養成しました。女性消防団や教育機関への受講を啓発し、女性や学生の受講者を確保することができました。 ②各地区の区長会で、自主防災組織の活動内容を説明し、自主防災組織の編成を依頼しました。また、国土交通省中部地方整備局小里川ダム管理事務所と連携した図上訓練を、小里川流域にある自治体を対象に継続して行いました。 ③みずなみ防災会、消防本部と連携し、区や各種団体、学校を対象とした防災訓練を30回実施しました。 ④住宅用火災警報器設置及び維持管理の啓発については、市内ショッピングセンターでの消防フェアの開催、消防訓練時のアンケート調査、市ホームページ及び広報誌掲載により実施しました。また、住宅用火災警報器の設置状況調査を電話で行い、未設置の世帯には設置の啓発、設置済みの世帯には維持管理の啓発を実施しました。 ※住宅用火災警報器の設置率（令和4年（2022年）6月1日現在 全国84.0% 岐阜県80.4% 瑞浪市83.7%） ④危険ブロック塀の撤去補助は、令和3年度をもって役割を完了したと判断し、事業を完了としました。
評価・課題	①女性や若者の防災リーダーの割合はまだ少ないため、さらに増やしていく必要があります。 ②激甚化する災害に対応するため、自主防災組織の役割の再確認及び機能強化並びに要配慮者への支援体制の整備が必要です。 ③自治会や各種団体に対してだけでなく、小中学校に対しても防災講話を行い、災害に対する知識の普及に努めました。 ④住宅用火災警報器の設置率は、各種啓発活動により目標値に近寄ってきている。現在の啓発活動を維持し、新たな啓発活動を考案する必要があります。
今後の取り組み方針	①これまで通り、教育機関への防災リーダー養成講座の受講啓発に加え、広報の方法について検討します。また、女性防災リーダーの養成に努めます。講座を修了した方のさらなるステップアップの場として、みずなみ防災会の活動を支援します。 ②国土交通省中部地方整備局小里川ダム管理支所と連携した訓練を継続します。これまでに構築してきた、みずなみ防災会との連携、支援を継続します。また、女性の参加も促します。 ③住宅用火災警報器の設置、維持管理については、現在実施している啓発活動を継続して行い、更なる設置率向上に向け、SNS等新たな啓発活動を考察していきます。 ④防災訓練について、積極的に実施していただけるよう引き続き自治会等に呼びかけます。また、みずなみ防災会の活動への支援に努めます。

2. 成果指標

1	成果指標名	防災リーダー・防災士数				計画期間目標値			300人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	160	180	200	220	240	260	280	
	実績値	156	184	199	228	253	271	291	
	指標説明	防災士の資格取得者または防災リーダーを300人養成する（50世帯に1人、各区組に2人以上）							
	指標と目的の関連性								
2	成果指標名	防災訓練実施回数				計画期間目標値			50回
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	50	50	50	50	50	50	50	
	実績値	47	49	37	36	17	28	30	
	指標説明	自治会、自主防災組織、学校等を含む防災訓練の実施回数							
	指標と目的の関連性								
3	成果指標名	住宅用火災警報器設置率				計画期間目標値			85.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	83.0	84.0	
	実績値	79.3	79.4	80.0	80.0	80.0	81.4	83.7	
	指標説明	「あなたは、住宅用火災警報器を設置していますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合							
	指標と目的の関連性								
4	成果指標名	危険ブロック塀等の撤去件数				計画期間目標値			20件
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値			20	20	20	20	—	
	実績値			11	13	18	7	—	
	指標説明								
	指標と目的の関連性								

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	警防課
	中区分	消防・防災	作成者	小栗 晴紀
	小区分	消防体制の充実		
施策の内容	<p>①消防団員確保のため、市民等の理解・協力を得て入団促進と処遇改善に努めます。また、女性・学生の入団促進、災害支援団員制度の充実など、新たな消防団体制を構築します。</p> <p>②地域防災の要である消防団の組織力向上のため、消防団拠点施設をはじめ消防車両・小型動力ポンプ等各種資機材の計画的な更新と装備の強化を図ります。</p> <p>③多様化する災害等の対応に備え、消防・救急車等の車両及び各種資機材の装備の充実に努めます。また、非常時における水利を確保するため、消火栓・防火水槽の計画的整備を進めます。</p> <p>④大規模化、複雑多様化する災害における初動体制の強化と現場活動要員の増強、高度化及び専門化する各種業務に適切に対応するため、消防の広域連携・協力の強化を推進します。</p>			

## 2. 成果指標

成果指標名	消防団員数(充足率)				令和5年度目標値		100%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	96.0	97.0	97.9	98.3	98.7	99.1	99.5
実績値	89.9	88.7	86.6	86.6	81.0	80.6	77.9
指標説明	実員/定員						
指標と目的の関連性							
成果指標名	災害・火災・急病などに対する備えをしている市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	41.0	42.0	42.7	43.7	44.7	45.7	46.7
実績値	45.4	46.8	44.0	45.7	47.4	45.8	48.5
指標説明	「あなたは、災害・火災・急病などに対する備えをしていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①近年、災害の多発化・激甚化と消防団員数の減少により、消防団員一人ひとりの役割が大きくなっている中、団員は各種訓練や研修を通じ、地域防災力の向上に努めています。昨年度は、コロナ禍の中、少しずつ消防団行事を復活させ、従来に近い規模の行事もありました。今後も行事の再開を通じて、消防団員の資質向上を目指します。消防団員の報酬等を見直し、個人に直接支給することとしました。消防団員の定員を改正します。(令和5年度より施行)</p> <p>②小型動力ポンプ積載車1台(本郷)及び小型動力ポンプ1台(木暮)を更新しました。</p> <p>③4基の消火栓を撤去新設しました。</p> <p>④緊急消防援助隊訓練(静岡県)に参加しました。東濃地区消防本部救助技術交換会を当市で開催しました。多治見市消防本部と応援協定に基づくはしご車合同訓練を行いました。</p>
評価・課題	<p>①②少子高齢化及び被雇用者の増加が年々進む中、今後消防団員の確保は更に厳しい状況になることが予想されますが、入団促進と処遇改善、装備の充実・強化に努めます。行事や各種訓練は、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、実施を検討していく必要があります。</p> <p>③消防水利については、防火水槽が設置から50年以上経過し、老朽化した防火水槽の除却に取り組みます。</p> <p>④東濃5市消防指令センターの運用開始に向け、今後も連携強化は必要と考えます。</p>
今後の取り組み方針	<p>①消防団の充足率を向上するため、入団促進と処遇改善、装備の充実・強化に向け積極的に進めます。</p> <p>②③④消防車両・救急車両、各種資機材及び消防水利については、維持管理を徹底し、各種災害活動等に対応できるように計画的に整備を行います。</p>



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	警防課
	中区分	消防・防災	作成者	小栗 晴紀
	小区分	救命率の向上		
施策の内容	①その場に居合わせた人（バイスタンダー）による応急手当が救命率に大きく寄与することから、各種救命講習会を開催し、応急手当の普及啓発を推進します。 ②救急救命士を含む救急隊員に対し、恒常的な教育訓練により応急処置等の質を向上させ、救急救命士の処置範囲の拡大等救急業務の高度化に対応します。 ③ドクターヘリコプター等との連携により、医師による迅速な救命処置が受けられるなど、傷病者の状態に即した救急活動を継続実施するとともに、救急車の適正利用を啓発します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	救命講習受講者数				令和5年度目標値	2,500人	
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	2,300	2,300	2,300	2,300	2,400	2,400	2,500
実績値	1,924	2,288	2,156	2,096	278	664	1152
指標説明	救命講習受講者数 人/年						
指標と目的の関連性							
成果指標名	災害・火災・急病などに対する備えをしている市民の割合				令和5年度目標値	50.0%	
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	41.0	42.0	42.7	43.7	44.7	45.7	46.7
実績値	45.4	46.8	44	45.7	47.4	45.8	48.5
指標説明	「あなたは、災害・火災・急病などに対する備えをしていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①令和4年度（2022年度）は、コロナ禍で市民を対象に応急手当講習会を開催し、1,152人の方に受講していただきました。※救急隊が搬送した心肺停止傷病者のうち、バイスタンダーCPRが行われていた割合（令和3年（2021年）値）全国 50.6%（129,144人中 65,284人にCPR実施）瑞浪市 56.8%（51人中29人にCPR実施） ②救急救命士は、医師指導の下で病院実習を受けるとともに、開催された教育コースに受講、指導することで救急の知識・技術の向上に努めました。 ③症例検討会等でドクターヘリコプターとの連携を図り、重症患者の対応にあたりました。今後、通信指令員は口頭指導の技術を向上させ、通報の段階で重症度及び心肺停止状態を判断し、ドクターヘリの早期要請やCPRの口頭指導を実施できるように訓練を重ねます。
評価・課題	①②③令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行い開催を実施しました。また、感染対策をPRすることで昨年度より講習回数と受講者数を増加させることができました。コロナ禍でもより多くの方に受講していただけるよう講習内容の見直し、感染対策を徹底して計画的に講習会が開催できるよう体制を構築していきます。
今後の取り組み方針	①応急手当講習の受講者数の増加を図るため、訓練計画を立案します。コロナ禍でもより多くの方に受講していただけるようeラーニング等を活用した講習内容の見直し、感染対策を徹底して開催できる体制を構築します。 ②救命率の向上のため、救急救命士を含む救急隊員の資質の向上を図り、全救急事案に救急救命士が少なくとも一人は乗車できるような体制を構築します。 ③市民の安全・安心のために医療機関やドクターヘリコプターとの連携強化に取り組みます。通信指令員の口頭指導の技術向上のためにも、教育訓練のため消防学校へ派遣し研修を受けるとともに、心肺停止状態が疑われる通報に対し、適切な指導ができるよう訓練を実施します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	生活安全課
	中区分	防犯・交通安全	作成者	工藤 雄一
	小区分	地域ぐるみの防犯活動の推進		
施策の内容	①防犯意識の普及・啓発活動を行い、市民の意識向上を図ります。また、市内の防犯活動がスムーズに行われるよう、瑞浪市防犯推進の会が実施する青色防犯パトロール講習会の開催等を支援します。 ②青色防犯パトロール車両の整備など、地域住民が安心して防犯活動を実施できるような環境の整備を進めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	青色防犯パトロール実施回数				令和5年度目標値		600回
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	600	600	600	600	600	600	600
実績値	566	528	495	425	161	104	163
指標説明	各地区での青パト実施回数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	犯罪や事故対策がしっかりとなされていて、安全で安心なまちだと思える市民の割合				令和5年度目標値		67.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	62.5	63.1	63.7	64.3	64.9	65.5	66.1
実績値	66.1	59.0	61.6	59.7	67.4	67.0	66.7
指標説明	「瑞浪市は、犯罪や事故対策がしっかりとなされていて、安全で安心なまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①②瑞浪市防犯推進の会が開催する青色防犯パトロール講習会を支援し、防犯意識の向上を図りました。また、新型コロナウイルス感染防止の緩和により、瑞浪市防犯推進の会により、市内各地で青色防犯パトロールを再開したことで、令和4年度の実施回数が、163回と昨年度より増加となりました。
評価・課題	①②パトロール実施者の高齢化と、後継者の育成が、今後の継続課題となっています。講習会を定期的に行い、実施者の新規加入や更新を行い、実施者の人数確保が必要です。また、安全・安心にパトロールが行えるように、パトロール車両の点検や保険加入を継続する必要があります。
今後の取り組み方針	①②区長会やまちづくり推進協議会などの会合で、青色防犯パトロールや地域の見守り活動について周知を徹底し、市民の防犯意識を図ります。また、瑞浪市防犯推進の会の活動を積極的に支援し、地域による防犯活動の推進を図ります。パトロール実施者の安全確保のため、パトロール車両の点検や保険加入を継続して実施します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	生活安全課
	中区分	防犯・交通安全	作成者	工藤 雄一
	小区分	防犯設備の整備		
施策の内容	①地域からの要望に基づき、LED防犯灯の新規設置費用の補助を実施します。 ②絆メール等により、犯罪、不審者情報等の防犯情報を迅速に発信します。また、絆メール等の周知活動を実施し、登録拡大を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	LED防犯灯設置数				令和5年度目標値		100件
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	83.0	96.0	100	100	100	50	20
実績値	78.8	88.6	100	100	100	14	11
指標説明	防犯灯設置数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	絆メール登録者数				令和5年度目標値		7,000人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	4,900	5,000	5,000	5,200	5,400	5,600	5,800
実績値	6,031	6,724	7,598	7,118	8,428	8,261	8,573
指標説明	絆メール登録者数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	犯罪や事故対策がしっかりとなされていて、安全で安心なまちだと思う市民の割合				令和5年度目標値		67.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	62.5	63.1	63.7	64.3	64.9	65.5	66.1
実績値	66.1	59.0	61.6	59.7	67.4	67.0	66.7
指標説明	「瑞浪市は、犯罪や事故対策がしっかりとなされていて、安全で安心なまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①各地区の区長会において補助金制度の周知を図りました。令和4年度の補助申請実績は16件ありました。 ②若者世代への登録を促す目的で、チラシ配布や二次元コードを活用した登録方法を啓発しました。また、各地区区長会や、地域団体の防災訓練等での周知を行いました。
評価・課題	①LED防犯灯設置補助については、申請16件に対して、申請した電柱への設置不可等の理由による工事中止が5件あり、申請前の調査、確認を行っていただく必要があります。 ②「絆」メール全体の登録者数は増えていますが、内訳で見るとLINE登録者の増加に伴い、絆メール登録を解除する人もおり、絆メールの登録者数は減少しています。また、絆メールとLINEの重複登録者がいることも考えられることから、全体の登録者数を把握することが難しくなっています。
今後の取り組み方針	①自治会に足して、LED防犯灯の補助金制度の周知を継続しつつ、過去の事例も併せて丁寧な説明に努めます。 ②「絆」メールとLINEを合わせた全体の登録者数を目標数値とし、気軽に登録できるというLINEの長所を活かしたPRに努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	生活安全課
	中区分	防犯・交通安全	作成者	工藤 雄一
	小区分	地域の交通安全対策		
施策の内容	①危険箇所等の情報を市民と行政が共有し、カーブミラー、区画線、カラー舗装等の交通安全施設の整備を推進します。 ②幼児、児童、高齢者等を対象とした交通安全教室、高齢者の世帯訪問、運転免許証自主返納の促進などの交通安全啓発活動を推進します。 ③地域住民・交通安全協会と連携し、街頭指導を実施することにより、小中学生の登下校時の安全を確保します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	交通安全教室参加者の割合				令和5年度目標値		25.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0
実績値	22.0	24.9	23	23.4	9.8	13.4	14.8
指標説明	交通安全教室（幼児・小学生・高齢者向け・高齢者家庭訪問）に参加した人数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	犯罪や事故対策がしっかりとなされていて、安全で安心なまちだと思える市民の割合				令和5年度目標値		67.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	62.5	63.1	63.7	64.3	64.9	65.5	66.1
実績値	66.1	59.0	61.6	59.7	67.4	67.0	66.7
指標説明	「瑞浪市は、犯罪や事故対策がしっかりとなされていて、安全で安心なまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①自治会からの要望に基づき、カーブミラーの設置 10基、道路区画線を4,788m、カラー舗装工事や視線誘導標の整備などを実施しました。 ②交通指導員による幼児、児童、高齢者を対象とした交通安全教室を、計71回実施し、5,328人が参加しました。新型コロナウイルス感染防止の緩和により、昨年度より幼稚園や高齢者の教室の開催回数、参加人数が増えました。また、警察との連携による運転免許証自主返納の臨時窓口を2回開催しました。 ③警察、交通安全協会、地域住民と連携し、交通安全の街頭指導を実施することで、小中学生の登下校時の安全確保に努めました。
評価・課題	①効果的な交通安全対策を実施するためには、警察や交通安全協会等と連携し、交通安全施設の必要性を十分に検討したうえで、区画線の整備、カーブミラーの設置など安全対策を行う必要があります。 ②交通事故を減少させるためには、歩行者だけでなく、運転者の交通安全意識の向上を図る必要があります。特に高齢運転者の重大事故が増加している中、交通安全対策として運転免許証の自主返納を啓発する必要があります。 ③安全の確保、交通安全意識の普及において、通学路等の街頭指導は効果的なものであるため、各種団体と連携して今後も継続実施する必要があります。
今後の取り組み方針	①地区要望の現場確認をし、警察や各地区の交通安全協会からの助言を受け、危険性の高い箇所から順次、交通安全施設を整備します。また、要望どおりに施設を整備することが効果的でない判断する場合は、代替案を提示するなど積極的な対策を進めます。 ②交通指導員による幼児、児童を対象とした交通安全教育を行うとともに、高齢者の交通安全教室や世帯訪問も積極的に実施していきます。また、啓発チラシやグッズを配布して運転者等に対する交通安全啓発も実施するほか、運転免許証自主返納の啓発を行います。 ③警察、交通安全協会、地域住民と連携して、街頭指導等を継続して実施します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	生活安全課
	中区分	市民生活	作成者	工藤 雄一
	小区分	市民相談体制の充実		
施策の内容	①広報紙等を活用し各種相談事業に関する周知や悩んでいる人への声かけの必要性について啓発するとともに、市民が気軽に相談できる環境づくりを進めます。 ②人権擁護委員による人権こまりごと相談や行政相談委員による行政相談など、外部団体による相談の支援に努めます。 ③関係機関との連携を強化し、多様化、複雑化する問題に対応できる相談体制の構築を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	困りごとを相談できる人や場所がある人の割合				令和5年度目標値		77.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	75.0	75.0	75.0	76.0	77.0	77.0	77.0
実績値	70.9	71.8	73.1	70.9	72.0	69.4	70.7
指標説明	市民アンケート中「あなたは、困りごとを相談できる人や場所がありますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		77.0
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①市民相談業務については、生活安全課内に専用スペースを確保し、消費生活相談員による相談体制を取っており、相談対応及び他機関への取り次ぎ等を行っています。また、市の広報紙やホームページ、市役所ロビーの電光掲示板を活用し、各種相談窓口の周知を行いました。 ②③人権擁護委員、行政相談委員、司法書士会による相談業務について、市広報やホームページによる相談日の周知等の協力支援を行いました。また、弁護士による無料法律相談を実施しました。
評価・課題	①相談窓口の周知に努め、相談しやすい環境を作る必要があります。 ②研修受講等により、相談員のスキルアップを図り、住民からの多岐にわたる相談に対し、迅速かつ確に専門の相談機関を案内することが出来ました。 ③弁護士による法律相談の利用率が非常に高く、月に2回無料法律相談を実施しました。また、司法書士会や行政書士会等による相談業務の支援により、各種専門家や環状団体との相談体制の充実及び、連携強化を図ることが出来ました。
今後の取り組み方針	①②③今後も引き続き、各種相談窓口について、市広報及びホームページへの掲載のほか、ロビーや出先機関の窓口等にも掲示し、広く市民に周知する。また、相談員のスキルアップ、各種関係団体との連携を強化し、相談体制の充実を図ります。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	生活安全課
	中区分	市民生活	作成者	工藤 雄一
	小区分	消費者の保護		
施策の内容	①消費生活相談のより一層の充実を図るとともに、消費生活専門相談員の巡回相談の周知に努めます。 ②市の広報紙やホームページなどを活用し、消費生活に関する情報提供や消費者教育に努めます。 ③幅広い年齢層の市民を対象に消費生活講座を開催し、消費者トラブルに巻き込まれない知識をもった市民の育成に努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	消費生活講座の参加者数				令和5年度目標値		600人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	380	390	400	450	500	550	600
実績値	370	347	360	385	722	896	758
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	困りごとを相談できる人や場所がある人の割合				令和5年度目標値		77.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	75.0	75.0	75.0	76.0	77.0	77.0	77.0
実績値	70.9	71.8	73.1	70.9	72.0	69.4	70.7
指標説明	「あなたは、困りごとを相談できる人や場所がありますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①②③東濃西部広域行政事務組合による消費生活専門相談員による巡回相談事業（毎週火曜）を実施しました。また、消費生活トラブルを未然に防ぐため、市民（高齢者等）や市内高校生を対象に、消費生活講座を実施しました。特に市内高校生を対象にした講座については、成年年齢が20歳から18歳に引き下がったことに伴い、弁護士や司法書士による注意すべき内容を盛り込んだ講座を実施しました。年々増加する高齢者等の消費者被害を防ぐため、消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）を設置に向けて準備を行いました。
評価・課題	①②③高齢者を狙った巧妙かつ、複雑・多様化している消費トラブルを未然に防止するため、市広報や市ホームページ等による注意喚起が必要です。また、今後は、消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）を設置し、詐欺被害事例の共有等により、実効性の高い見守りに繋げる必要があります。
今後の取り組み方針	①②③消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）を設置し、実効性の高い見守りと、消費者被害の早期発見、未然防止に努めます。東濃西部広域行政事務組合による消費生活専門相談員の巡回相談を引き続き実施し、市広報や市ホームページ、市役所ロビーの電光掲示板などを活用して、啓発に努めます。市民の消費者トラブルを未然防止出来るように、特に高校生や高齢者等を対象に実施し、学習の機会を提供します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	生活環境	担当部局	商工課
	中区分	市民生活	作成者	豊崎 忍
	小区分	雇用対策の充実		
施策の内容	①市民の生活安定と福祉向上を図るため、事業者や求職者への情報提供を積極的に行います。 ②市内企業による合同企業説明会の開催・企業ガイドブックの作成など、市内企業と求職者のマッチングを行い、地元での就業促進及び職場定着を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	困りごとを相談できる人や場所がある市民の割合				令和5年度目標値		77.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	75.0	75.0	75.0	76.0	76.0	76.0	77.0
実績値	70.9	71.8	73.1	70.9	72.0	69.4	70.7
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①勤労者生活資金融資、勤労者受託資金融資については、平成29年度をもって制度を廃止しました。また、仕事と子育ての両立を希望する方の相談や職業紹介などの支援を行うマザーズコーナーの出張相談を行いました。 ②求職者支援として、9月と3月にハローワーク多治見管内の合同企業説明会（一般求職者対象）を開催し、地元での就職促進を図りました。また、高校生を対象とした対面式の合同企業説明会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、Webを活用した合同企業説明会を開催しました。市内企業を紹介するWebページを作成し、企業ガイドブックを作成し、東濃可見地域の高校、県内の専門学校、大学に配布しました。
評価・課題	①勤労者生活資金融資、勤労者受託資金融資については、平成29年度をもって制度を廃止しました。また、マザーズコーナー出張相談は市内で子育て中の方に特化した相談ができる機会となっています。 ②市内での就職促進及び職場定着を図るためには、市内企業と求職者のマッチングが重要となります。そのためには、企業の魅力、情報を伝えるための情報発信の強化が必要です。
今後の取り組み方針	①勤労者生活資金融資、勤労者受託資金融資については、制度を廃止しましたが、平成29年度までの融資に対して融資残高の1/10の額を金融機関に預託し対応しています。引き続きハローワーク多治見と連携し、マザーズコーナー出張相談を開催します。 ②引き続きWebでの合同企業説明会を実施します。企業ガイドブックを作成し、市内企業の魅力、情報を伝えるための情報発信の強化を図り、市内企業と求職者とのマッチングを促し、市内就職促進と職場定着を図ります。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	土木課
	中区分	道路・河川	作成者	中村 恵嗣
	小区分	幹線道路・生活道路の整備		
施策の内容	①国・県と協力体制を構築し、瑞浪恵那道路（国道19号）の事業の推進を図ります。 ②「道の駅」整備に向けて取り組みます。 ③市民の安全・安心の確保のための生活道路の維持・保身に努めるとともに、地域の関係者と連携し、道路網整備を推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	市道改良率				令和5年度目標値		59.1%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	58.72	58.76	58.80	58.86	58.93	59.00	59.06
実績値	58.59	58.85	58.88	58.91	58.92	58.91	58.97
指標説明	道路交通条例への適合改良率						
指標と目的の関連性							
成果指標名	必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができていると感じる市民の割合				令和5年度目標値		67.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	64.5	64.9	65.3	65.7	66.1	66.5	66.9
実績値	60.4	63.4	61.6	63.1	68.0	61.6	59.4
指標説明	「瑞浪市は、必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができているまらだと思えますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①地元住民との連絡調整について国に協力しました。 ②国と協議しながら計画の策定について進めました。 ③地域のニーズに合った道路整備を行うため、地区からの要望に対し事業効果の高いものから対応を行いました。
評価・課題	①地元住民との連絡調整を着実に進めることが求められています。 ②国との協議を進捗に合わせて行っていくことが必要です。 ③限られた予算の中での対応となるため、緊急度や必要性を加味して対応箇所を選定することが必要です。
今後の取り組み方針	①国の事業進捗を把握し地域住民との調整を継続して協力していきます。 ②整備に向けて継続的に対応します。 ③他事業と同調して工事を実施するなどコスト削減を図り、より多くの要望に対応できるよう努めます。



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	土木課
	中区分	道路・河川	作成者	中村 恵嗣
	小区分	防災や安全に配慮した道路整備		
施策の内容	①橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕を行い、通行の安全確保に取り組みます。 ②通学路の安全点検によって危険個所の解消などを行い、安全な歩行空間を整備します。 ③ユニバーサルデザインに配慮した高齢者や障がい者にやさしい道路環境を整備します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	長寿命化修繕が完了した橋梁の数				令和5年度目標値		26橋
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値			7	11	15	19	22
実績値		3	4	6	10	18	21
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができていると感じる市民の割合				令和5年度目標値		67.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	64.5	64.9	65.3	65.7	66.1	66.5	66.9
実績値	60.4	63.4	61.6	63.1	68.0	61.6	59.4
指標説明	「瑞浪市は、必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①耐震補強・補修が必要な橋梁3橋の補修工事を行いました。 ②通学路点検により要対策箇所とされた市道について、拡幅による安全対策工事を行いました。 ③段差解消に務め、継続して取り組みを行いました。
評価・課題	①膨大な数の橋梁を維持管理して行くうえで事業費の確保が必要です。 ②通学路対策として防護柵設置を行う必要がある路線は、乗り入れ等近隣住民との調整が重要であり、慎重に計画を行っていく必要があります。 ③計画段階から配慮が必要です。
今後の取り組み方針	①予防保全による橋梁の長寿命化を図り、維持管理費の縮減及び平準化を行います。 ②通学路の要対策箇所について、効果的かつ経済的な対策検討を行います。 ③継続して対応していきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	土木課
	中区分	道路・河川	作成者	中村 恵嗣
	小区分	地域との協働による道路の維持管理		
施策の内容	①地域だけでなく企業などの民間団体にも里親制度をPRし、参加団体数の増加に取り組むことで、市民と協力して道路の維持管理を行います。 ②区長会等の地域団体と行政が情報を共有することで、互いの役割を理解し、協力して道路の維持管理に取り組めます。 ③維持管理の軽減に向けた道路づくりを進めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	里親制度により環境維持されている路線数				令和5年度目標値		140路線
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	124	125	126	127	128	130	131
実績値	136	124	156	166	169	176	180
指標説明	里親制度にて道路等の環境維持をしていただける路線数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができていると感じる市民の割合				令和5年度目標値		67.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	64.5	64.9	65.3	65.7	66.1	66.5	66.9
実績値	60.4	63.4	61.6	63.1	68.0	61.6	59.4
指標説明	「瑞浪市は、必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができているまらだと思えますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①②里親について、ホームページ及び自治会へ制度を周知すると共に、消耗品の支給や備品の貸出を行いました。 ②原材料支給について、区からの申請により材料を支給し、整備していただきました。 ③道路改良の際に、防草対策としてコンクリート打設等を実施しました。
評価・課題	①②里親登録者の高齢化による辞退が懸念されるため、引き続き制度の周知を行う必要があります。 ③コスト面から、既存の道路について、維持管理しやすい道路への転換が出来ていません。
今後の取り組み方針	①②里親について、住民や団体へ制度の周知を図ります。 ③維持管理しやすい道路への改良に継続的に取り組めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	土木課
	中区分	道路・河川	作成者	中村 恵嗣
	小区分	安全な河川と豊かな水辺環境の保全		
施策の内容		<p>①集中豪雨などに伴う浸水被害を防ぐため、県との連携体制を強化し、河川改修工事の整備促進を図ります。</p> <p>②甚大な被害が発生または発生のおそれのある普通河川において対策を進めます。</p> <p>③自然豊かな水辺環境の維持に努めるとともに、ウォーキングコースの整備など、憩いの場、交流の場としての整備を図ります。</p>		

## 2. 成果指標

成果指標名	必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができていると感じる市民の割合				令和5年度目標値		67.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	64.5	64.9	65.3	65.7	66.1	66.5	66.9
実績値	60.4	63.4	61.6	63.1	68.0	61.6	59.4
指標説明	「瑞浪市は、必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができているまらだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①一級河川土岐川について、岐阜県多治見土木事務所と連携しながら、河川改修整備を進めました。</p> <p>②河川内に堆積した土砂、樹木を撤去し、河道断面の確保に努めました。</p> <p>③地域と連携して堤防除草を行い、水辺環境の維持に努めました。</p>
評価・課題	<p>①近年、局地的・短期集中的な豪雨が多発しており、急な河川の増水などで河川未改修区間はもとより、親水施設として整備された箇所であっても場合により危険を伴うため、河川を安全に利用できるような管理体制の確立が急務となっています。</p> <p>②住民の近隣に位置する普通河川の整備について計画的に対応していくことが必要です。</p> <p>③整備された水辺空間について、継続的に維持管理していくことが必要です。</p>
今後の取り組み方針	<p>①集中豪雨などに伴う浸水被害の水難事故を防ぐため、河川改修による流下能力の維持や水難事故防止広報活動など県と連携体制を強化し、きめ細かな対応に努めます。</p> <p>②浸水被害の要因を把握し、計画的に河川改修を行っていきます。</p> <p>③地域団体とも連携や里親制度などを活用して自然豊かな水辺環境の維持を行います。</p>

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	都市計画課
	中区分	まちなみ	作成者	安藤 洋一
	小区分	地域と連携した景観の向上		
施策の内容	①景観計画に指定した市全域について、良好な景観の形成と保全に努めます。 ②市を代表する景観を堅持したり、景観づくりに積極的に取り組みたい地区などを景観計画重点区域に指定し、住民全体による景観づくりに取り組みます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	誇りの持てる、魅力あるまちなみだと感じる市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	49.5	50.1	50.7	50	50	50	50
実績値	45.4	45.3	43.7	49.9	46.8	43.4	42.3
指標説明	「瑞浪市は、誇りの持てる、魅力あるまちなみだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①窓口等にて瑞浪市景観計画に基づく、景観基準や届出制度について事業者へ周知しました。 ②大湫地区の景観計画重点区域指定に向けて、岐阜工業高等専門学校と共同で大湫宿の景観を生み出す環境の研究を行いました。
評価・課題	①一定規模以上の開発や建築物、工作物に対しては、瑞浪市景観計画に基づく届出制度により、景観に馴染まない建築物等の抑制に一定の効果がありました。しかし、管理されていない空き家等の景観については今後の課題となります。 ②大湫町が区域内地権者全員から同意を得た上で市へ重点区域指定の提案がされますが、全員から同意を得られなかった場合、これまでの景観保全に向けた取り組みを踏まえつつ、対応を検討します。
今後の取り組み方針	①引き続き窓口等にて周知を行うほか、景観計画区域内行為（変更）届出書が提出された場合は、適正に審査し通知するとともに、景観基準に適合しない建築物等について指導等を行います。 ②大湫町から景観計画重点区域指定について提案があった場合、補助金制度の創設及び景観計画重点区域指定の検討を行います。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	都市計画課
	中区分	まちなみ	作成者	安藤 洋一
	小区分	屋外広告物の適正化		
施策の内容	①屋外広告物管理システムの運用により、違反広告物等の是正を行い景観の向上を図ります。 ②屋外広告物法に基づく岐阜県屋外広告物条例により、適正な屋外広告物の掲出を推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	屋外広告物管理件数				令和5年度目標値		370件
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	210	240	270	300	320	340	360
実績値	215	266	291	301	343	352	363
指標説明	年度毎の新規申請件数を加算し、除却件数を差し引く						
指標と目的の関連性							
成果指標名	誇りの持てる、魅力あるまちなみだと感じる市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	50	50	50	50	50	50	50
実績値	45.4	45.3	43.7	49.9	46.8	43.4	42.3
指標説明	「瑞浪市は、誇りの持てる、魅力あるまちなみだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①屋外広告物システムを活用し、許可申請や更新申請漏れ等の違反広告物の解消に努めました。 ②新規物件の許可に対し、屋外広告物条例による基準だけでなく、市の景観条例に掲げる良好な景観の保全に配慮しました。また、市街地北西部（土岐川より北、明世町戸狩より西）における屋外広告物未申請分の調査を行いました。
評価・課題	①違反広告物に対し、引き続き調査・指導を行う必要があります。 ②新規物件に対し、屋外広告物条例の適正な運用に努め、市の景観条例とも整合する必要があります。また、運用に必要な知識を習得するために、県主催の講習会の受講も必要と考えます。
今後の取り組み方針	①許可未申請の広告物については指導を行い、適切な管理に努めます。また、公平性を保つため、違反者に対して、指導マニュアルに従い厳格に対応します。 ②今後も講習会を受講するとともに、引き続き屋外広告物条例及び市の景観条例に適合する物件となるよう審査を行います。また、設置者や事業者への理解に努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	都市計画課
	中区分	まちなみ	作成者	安藤 洋一
	小区分	地域との協働による公園の維持管理		
施策の内容		①老朽化する遊具を点検・再整備することで事故を未然に防止し、安心して利用できる遊び場を提供します。 ②環境美化に努め、憩いの広場としての利用増加を図ります。 ③地域や企業に里親制度をPRし、参加団体の増加に取り組みます。		

## 2. 成果指標

成果指標名	公共施設維持管理里親数（都市公園）				令和5年度目標値		20団体
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	17	17	17	18	18	19	19
実績値	18	18	19	20	22	22	23
指標説明	各年度における登録団体数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	誇りの持てる、魅力あるまちなみだと感じる市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	49.5	50.1	50.7	51.3	51.9	52.5	53.1
実績値	45.4	45.3	43.7	49.9	46.8	43.4	42.3
指標説明	「瑞浪市は、誇りの持てる、魅力あるまちなみだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①専門業者による遊具の定期点検を行いました。 ②公園樹木等の点検、トイレ清掃やごみ拾い等の定期清掃を行いました。 ③都市公園の里親制度登録団体へ物品支給を行いました。
評価・課題	①遊具の定期点検を行うことで、安全に利用できる遊び場を提供できました。今後、老朽化する遊具の再整備等が検討課題となります。 ②さらに多くの方に利用いただけるよう公園の管理に取り組みます。 ③高齢化等により里親制度への登録を辞退する団体が出てきている状況であり、さらなるPR等により登録団体の増加に取り組みます。
今後の取り組み方針	①安全・安心な公園を維持していくため、定期的な遊具点検と修繕を行います。 ②定期的な見回りを行い、里親団体等と連携し環境美化に取り組みます。 ③里親制度についてホームページ等で周知するとともに、地域と行政の協働による公園の維持管理に取り組みます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	市民協働課
	中区分	住環境	作成者	加藤 博史
	小区分	移住定住の促進		
施策の内容	①空き家等対策計画に基づき、空き家等の利活用の促進や、安心して暮らせる生活環境の確保を図り、市内への移住・定住を促進するための取組みを進めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思ふ市民の割合				令和5年度目標値		60.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	54.9	55.5	56.1	56.7	57.3	57.9	58.5
実績値	57.9	54.9	55.7	55.9	52.8	55.9	51.7
指標説明	「瑞浪市は、防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①空き家・空き地バンク事業については、移住定住ポータルサイトや全国版空き家空き地バンクを活用し、物件を見やすく掲載することで、利用促進に繋がりました。（令和4年度成約件数：空き家5件 令和4年度登録件数：空き家5件） 空き家等改修補助事業については、空き家バンク事業を推進し、空き家の有効活用を促進するため、空き家バンクに登録された物件を成約し、改修したものについて工事費の一部補助を行いました。令和4年度には内容を一部見直し（耐震補強工事を必要要件から除外、市外事業者による工事も対象）、利用者によって活用しやすい制度としました。（令和4年度実績：1件） 空き家家財道具等処分費補助金については、家財道具等の処分費に対して一部補助を行い、空き家バンクへの登録に繋がりました。（令和4年度実績：1件） 移住支援金関連制度については、広報、市HP（移住定住ポータルサイト）、SNS等でのPRにより各種支援金制度のPRを行いました。令和4年度には県外からの移住を対象に50万円を交付する清流の国ぎふ移住支援金制度を開始しました。（令和4年度実績 移住促進奨励金：43件 東京圏からの移住支援金：2件）
評価・課題	①空き家・空き地バンクについては、物件登録は増加傾向にあるが、依然として登録件数が少ないことが課題です。空き家等改修補助金や家財道具等処分費補助金と併せて広く周知を行い、登録件数を増やしていく必要があります。 移住支援金関連制度については、引き続き広報、市ホームページ（移住定住ポータルサイト）、SNS等で継続的に情報発信していく必要があります。また、コロナ禍の影響もあり、移住フェア等への出展が思うようにできていません。
今後の取り組み方針	①空き家・空き地バンク制度については、空き家等改修補助金や家財道具等処分費補助金と併せて周知を行っていくほか、まちづくり推進組織等との情報共有を強化し、登録数、成約数の増加に繋がっていきます。 移住支援金関連制度については、従来の移住促進奨励金を見直し、新たに子育て世帯等を対象とした瑞浪市子育て世帯等移住促進奨励金制度を開始しました。各種支援金制度について広報、市ホームページ（移住定住ポータルサイト）、SNS等で情報発信していくとともに、移住フェアや住宅展示場でのイベントに参加し、PRを行っていきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	都市計画課
	中区分	住環境	作成者	安藤 洋一
	小区分	安全・安心で快適な住環境の整備		
施策の内容	<p>①適正な管理が行われていない空家等や木造住宅無料耐震診断や木造住宅耐震補強工事補助事業を推進し、地震等による建物での人的被害を減らします。</p> <p>②土砂災害を未然に防ぐため、緊急性などを調査しながら、急傾斜地崩壊対策に継続的に取り組みます。</p> <p>③都市の現状や時代に即した用途地域の考え方について整理を行い、瑞浪市都市計画マスタープランに基づく用途地域の見直しを進めます。</p>			

## 2. 成果指標

成果指標名	木造住宅無料耐震診断実施件数（累計）				令和5年度目標値		1,100件
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	827	927	1,027	1,000	770	880	990
実績値	634	645	671	693	735	744	754
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	防災対策等が整い、安心で快適な住環境が整ったまちだと思ふ市民の割合				令和5年度目標値		60.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	54.9	55.5	56.1	56.7	57.3	57.9	58.5
実績値	57.9	54.9	55.7	55.9	52.8	55.9	51.7
指標説明	「瑞浪市は、防災対策等が整い、安心で快適な住環境が整ったまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	木造住宅耐震補強工事補助件数（累計）				令和5年度目標値		70件
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	45	49	53	57	64	66	68
実績値	50	53	54	58	59	60	62
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①広報みずなみでの周知及び耐震ローラー作戦、消防・防災フェスタにおけるPR活動を実施しました。木造住宅の無料耐震診断を10件、耐震改修工事を2件実施しました。</p> <p>②岐阜県多治見土木事務所により、稲津町萩原小井戸地区、土岐町桜堂地区及び明世町戸狩地区において、急傾斜地崩壊対策事業が進められました。また、市の事業として、土岐町市原地内の急傾斜崩壊対策工事の設計を行いました。</p> <p>③用途地域見直しに向けた検討を行いました。</p>
評価・課題	<p>①改修工事に踏み込めない要因として、築40年を超える建築物の耐震性を高めるには、補助があっても相当な費用を要すること、改修後も長く住むことはできないと考える高齢者世帯が増加していることなどが考えられます。</p> <p>②市内全域には膨大な数の土砂災害特別警戒区域があることから、緊急性等を踏まえ事業を進めていく必要があります。</p> <p>③用途地域を変更する場合、岐阜県と協議を行う必要があります。</p>
今後の取り組み方針	<p>①ローラー作戦や地域防災訓練での直接的なPR活動を継続しながら、耐震化推進対策について広く情報収集に努めます。</p> <p>②現地状況を把握しながら、岐阜県多治見土木事務所と緊急性等を踏まえ対策箇所の選定を行い、事業推進を図っていきます。</p> <p>③土地利用等の動向を把握しながら、用途地域の見直しを検討します。</p>



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	都市計画課
	中区分	住環境	作成者	安藤 洋一
	小区分	計画的な市営住宅の維持管理		
施策の内容	①市営住宅長寿命化計画に基づき、良質な住宅ストックの改善や修繕を実施し、長期活用に向けた事業を推進します。 ②耐震基準を満たさない住宅等の入居者の住替えを誘導し、用途廃止及び解体撤去を推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思ふ市民の割合				令和5年度目標値		60.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	54.9	55.5	56.1	56.7	57.3	57.9	58.5
実績値	57.9	54.9	55.7	55.9	52.8	55.9	51.7
指標説明	「瑞浪市は、防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①長寿命化計画に基づき、下山田団地・小里団地・鶴城団地・竜吟団地の一部解体を行いました。 ②耐震基準を満たしていない市営住宅の入居者2名の住替えを行い、用途廃止及び解体撤去を進めました。
評価・課題	①これまでの進捗と成果を検証し、今後の市営住宅の適正な管理運営の在り方及び市営住宅ストックの有効活用と長寿命化に向けた効果的な取組みを明確にする必要があります。 ②高齢者の単身世帯が多く、体力面、金銭面等の理由から住替えが難航しています。
今後の取り組み方針	①第2期瑞浪市市営住宅長寿命化計画（令和5年度～令和14年度）に基づき、市営住宅ストックの効率的な更新やコスト縮減、長寿命化を図ります。 ②耐震基準を満たしていない住宅の住替えを入居者と調整しながら、計画的に用途廃止・解体撤去を実施します。定期的に入居者を訪問するとともに、保証人や親族の考えも聞き取って住替えを進めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	土木課
	中区分	住環境	作成者	中村 恵嗣
	小区分	地籍調査の推進		
施策の内容	①計画的に地籍調査を実施します。 ②精度の高い測量成果の活用を推進するため、国土調査法第19条5項申請を行う測量に対する補助事業を行います。			

## 2. 成果指標

成果指標名	地籍調査進捗率				令和5年度目標値			35.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
目標値	29.6	31.5	33.4	33.8	34.1	34.4	34.7	
実績値	26.2	26.4	26.6	26.6	26.7	26.7	26.8	
指標説明	実施済面積／要調査面積							
指標と目的の関連性								
成果指標名	防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思ふ市民の割合				令和5年度目標値			60.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
目標値	54.9	55.5	56.1	56.7	57.3	57.9	58.5	
実績値	57.9	54.9	55.7	55.9	52.8	55.9	51.7	
指標説明	「瑞浪市は、防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合							
指標と目的の関連性								
成果指標名					令和5年度目標値			
年度								
目標値								
実績値								
指標説明								
指標と目的の関連性								

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①新規箇所数2地区、継続調査は6地区を進め、登記箇所は4地区を完了しました。 ②補助事業を活用する取り組みはありませんでした。
評価・課題	①H工程まで終了しながら、認証請求ができていない地区について、解消していきます。 ②民間事業者が行う事業のため、申請されてから適切に対応できるようにします。
今後の取り組み方針	①国土調査事業10箇年計画に基づき、計画的に実施していきます。 ②民間事業者等が積極的に申請できるよう補助事業を継続していきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	都市計画課
	中区分	住環境	作成者	安藤 洋一
	小区分	瑞浪駅周辺の再開発		
施策の内容	①瑞浪駅周辺の権利関係者で構成する協議会に、協議・判断材料の提供等、意思決定に向けての支援を行います。 ②地域交流センターを活用した中心市街地及び周辺地域の市民相互の交流事業を実施します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思ふ市民の割合				令和5年度目標値		60.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	54.9	55.5	56.1	56.7	57.3	57.9	58.5
実績値	57.9	54.9	55.7	55.9	52.8	55.9	51.7
指標説明	「瑞浪市は、防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①今後の事業の指針とするため『瑞浪駅周辺まちづくり基本方針』を策定しました。駅南地区については、市街地再開発準備組合の組合員と、市街地再開発事業の検討や先進地視察等を行いました。また、事業協力者の探索としてディベロッパー等の事業者に向けて事業の説明等を行いました。駅北地区については、関係部署との協議や事業者へのヒアリングを行い、複合公共施設の機能や規模、整備手法について、より詳細に内容を検討しました。また、北口改札の新設についてJR東海と協議を行いました。 ②指定管理制度を導入し、民間のノウハウを活用しながら施設の利用と市民相互の交流を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者は減少していましたが、現在は徐々に増加しており、令和4年度は7割程度の利用者数となっている。
評価・課題	①駅南地区については保留床の処分方法と地権者の意識醸成が課題となっています。駅北地区については、複合公共施設の整備についてPPP/PFIを含めた整備手法や補助事業の検討が必要です。また、北口改札の新設については、他事例の調査や国土交通省とも連携しながらJR東海と折衝していく必要があります。 ②施設利用者の年齢や性別に偏りがあります。特に若年層や男性利用者の増加が課題となっています。
今後の取り組み方針	①駅南地区については、引き続き、ディベロッパー等の事業者へアプローチを行うとともに、Mビルや多びす屋等を拠点とした周辺の賑わい創出やまちの魅力向上を図ります。駅北地区における新たな施設の計画については、関係部署と連携するだけでなく、民間事業者へサウンディングを行い民間からのアイデアやノウハウを取り入れ、基本計画を策定します。 ②幅広い年代の方に利用されるよう、指定管理者と連携し、利用者ニーズの把握を行います。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	上下水道課
	中区分	上下水道	作成者	赤岩 晋
	小区分	水道水の安定供給		
施策の内容	①医療施設、指定避難所などの重要給水施設への水道管の耐震化を図り、震災時の飲料水確保に努めます。 ②安定供給を図るため、配水池を建設し、老朽化して耐震性のない加圧ポンプ施設を廃止します。 ③効率的な漏水調査を実施し、有収率の向上に努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	基幹上水道管路の耐震化率				令和5年度目標値		61.2%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	55.63	56.53	57.43	58.16	58.92	59.68	60.44
実績値	54.18	54.18	54.53	55.09	43.30	46.22	46.46
指標説明	送水管と口径200mm以上の配水管のうち、耐震性を持つ管の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①緊急時給水拠点確保事業は、日吉配水区の南垣外地区においてφ150の耐震管を布設しました。 ②予定された事業は完了しました。 ③衛星画像とAIを用いた漏水解析技術を活用し、漏水の疑いのあるエリアを絞り、効率的な漏水調査を実施しました。
評価・課題	①緊急時給水拠点確保事業について、県の生活基盤施設耐震化交付金事業補助金を活用して実施しました。 ②事業の完了に伴い、対象区域の安定供給が図られました。 ③今後も継続した漏水調査を実施し、効果的かつ計画的に老朽化管路を更新する必要があります。
今後の取り組み方針	①瑞浪市水道ビジョンに基づき、水道施設の更新（耐震化、老朽化更新）を進めます。 ②継続して安定供給を図るため、適切な維持管理に努めます。 ③引継ぎ新たな漏水調査の新技術を研究・採用し、有収率向上に努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	上下水道課
	中区分	上下水道	作成者	赤岩 晋
	小区分	下水道施設の計画的な更新		
施策の内容	①ストックマネジメント計画に基づき、管路施設の改築更新を進めます。 ②降雨時の不明水調査を実施し、不明水の低減対策を実施します。 ③中継ポンプ場の耐震診断とストックマネジメントを行い、耐震化と改築更新を併せて進めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	下水道長寿命化事業の進捗率				令和5年度目標値		42.9%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	19.37	21.87	24.36	28.01	31.77	35.48	39.18
実績値	19.12	22.24	24.02	24.17	24.68	25.56	25.56
指標説明	管更生などの工法により更新または改築の完了した管路の延長/昭和63年以前に布設された管路の延長						
指標と目的の関連性							
成果指標名	水洗化推進により、市内を流れる川、身近な水路がきれいになったと感じている市民の割合				令和5年度目標値		75.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	63.5	63.9	64.3	64.7	65.1	65.5	65.9
実績値	63.5	64.8	71.4	65.3	67.6	64.5	61.8
指標説明	「瑞浪市は、水洗化推進により、市内を流れる川、身近な水路がきれいになりましたか」との設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①管路及びマンホールポンプ施設の更新を行いました。 ②元農業集落排水である月吉地区にて、不明水調査を行いました。 ③小田汚水中継ポンプ場の改築更新工事が完了しました。
評価・課題	①管路及びマンホールポンプ施設の老朽化は、道路陥没や溢水事故の原因となることから、計画的に進める必要があります。 ②管更生工法による管路改築により長寿命化の進捗率は上がっていますが、浸入水の減少効果には結びついていません。 ③予定されていた事業が完了し、ポンプ場の長寿命化が図られました。
今後の取り組み方針	①経営戦略プランの投資、財政計画の範囲内で管路・マンホールポンプ施設の改築を進めます。 ②大雨時の浸入水による下水道管路内の汚水の急激な増加は、溢水の危険をはらんでおり、対策を進めます。令和3年度に接続した農業集落排水についても不明水が多いため、調査し修繕に努めます。 ③土岐汚水中継ポンプ場の改築更新を進めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	上下水道課
	中区分	上下水道	作成者	赤岩 晋
	小区分	水洗化の計画的な促進		
施策の内容	①公共下水道及び農業集落排水への接続とそれ以外の区域では合併処理浄化槽への転換を積極的にPRし、市内全域の水洗化を目指します。 ②国・県の補助基準額に上乗せして設置費を補助し、合併処理浄化槽への転換を推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	水洗化率				令和5年度目標値		90.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	82.12	83.71	85.25	86.36	87.48	88.68	90.64
実績値	81.24	82.17	82.67	82.97	83.07	83.23	83.34
指標説明	公共下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽による水洗化人口／行政人口						
指標と目的の関連性							
成果指標名	水洗化推進により、市内を流れる川、身近な水路がきれいになったと感じている市民の割合				令和5年度目標値		75.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	63.5	63.9	64.3	64.7	65.1	65.5	65.9
実績値	63.5	64.8	71.4	65.3	67.6	64.5	61.8
指標説明	「瑞浪市は、水洗化推進により、市内を流れる川、身近な水路がきれいになりましたか」との設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		90.0
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①水洗化について、ホームページ及び広報誌への掲載、水道検針時に広報チラシを配布するなどPRに努めました。 ②合併処理浄化槽について20基の設置に対する補助を行いました。
評価・課題	①令和4年度末時点で、市内には約千基の単独処理浄化槽と約千八百基のくみ取り便槽が利用されています。 ②補助事業により合併浄化槽への転換を進めることができました。
今後の取り組み方針	①水洗化向上のため積極的に公共下水道への接続と合併浄化槽のPRに努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	都市基盤	担当部局	上下水道課
	中区分	上下水道	作成者	赤岩 晋
	小区分	経営の健全化		
施策の内容	①アセットマネジメント（水道）、ストックマネジメント（下水道）の実施により精度の高い投資計画を作成し、経営戦略プランのフォローアップを行います。 ②農業集落排水の月吉地区及び日吉南部地区を公共下水道に統合することで、経営の効率化を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	上水道事業料金回収率				令和5年度目標値		98.5%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	89.18	89.55	89.93	90.07	90.21	90.35	90.50
実績値	95.61	98.55	95.65	95.32	94.39	97.65	98.57
指標説明	供給単価／給水原価						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①上下水道経営戦略プランに基づき経営の安定化を図りました。 ②令和3年4月に農業集落排水の月吉地区及び日吉南部地区を公共下水道に統合しました。
評価・課題	①今後、人口減少等による水需要の減少、及び資産更新需要の増大が見込まれるため引き続き経費削減に取り組む必要があります。
今後の取り組み方針	①引き続き、上下水道経営戦略プランに基づき、経営の安定化を目指します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	農林課
	中区分	農林業	作成者	工藤 嘉高
	小区分	農地の整備・管理		
施策の内容	①ほ場整備や農地集積を促進し、農業施設等を整備することで、生産性の効率化を推進します。 ②老朽化している排水路や農道及びため池等の整備を行い、農業施設等の長寿命化を推進します。 ③地域による農地等の管理を支援することにより、耕作放棄地の解消に努めます。 ④有害鳥獣から農作物等を守る取組みを支援します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	ほ場整備面積（累計）				令和5年度目標値			406.5ha
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
目標値	406.5	406.5	406.5	406.5	406.5	406.5	406.5	406.5
実績値	389.9	396.5	401.3	406.5	406.5	406.5	406.5	406.5
指標説明								
指標と目的の関連性								
成果指標名					令和5年度目標値			
年度								
目標値								
実績値								
指標説明								
指標と目的の関連性								
成果指標名					令和5年度目標値			
年度								
目標値								
実績値								
指標説明								
指標と目的の関連性								

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①基盤整備については、平成26年度より県事業により実施しています。令和4年度には工事完了し、換地処分を行いました。令和5年度は瑞浪中部土地改良区の解散予定です。 ②ため池の耐震化事業については、現在桜堂ため池と岩倉大ため池を実施しています。桜堂ため池は令和3年度に工事着手し、令和6年度完了予定。岩倉大ため池は令和4年度に実施計画を行いました。ため池の廃止については、岩谷口ため池、上益見下ため池、西洞ため池、稲荷裏ため池を実施します。令和4年度は、稲荷裏ため池を廃止しました。 ③14集落、5営農組織が中山間地域直接支払交付金事業を活用し、236.6haの農地を適正に管理しました。また、営農組織が耕作放棄地再生利用事業を活用して、0.15haの耕作放棄地の解消作業を実施しました。 ④市による有害捕獲と県による調査捕獲を実施しました。有害捕獲ではイノシシを202頭、調査捕獲では335頭捕獲しました。
評価・課題	①基盤整備を実施した地域では、50%以上の集積率があることから、農地集積の促進ができたと考えております。 ②耐震性能が不足するため池が膨大にあり、事業費の増加が見込まれます。廃止ため池については、受益者が廃止を躊躇してしまふこと、また廃止が促進された場合においても、市及び県の人員不足により廃止工事は加速しない恐れがあります。 ③今後は農業者の高齢化により個人で農地を管理していくことは困難となっていくと見込まれます。中山間地域直接支払交付金事業を活用した地域における農地管理、営農組織等への集積を促進していく必要があります。 ④市による有害捕獲や県による調査捕獲を進めていますが、農作物の被害減少へと繋がりません。
今後の取り組み方針	①今後も県と連携し県営等による事業を実施することで、農地集積を促進し農業用施設の長寿命化や改修を図ります。 ②ため池の耐震工事については、桜堂ため池と岩倉大ため池の他6池の計画があります。また、廃止については、県と市の事業合わせて14池の計画があります。ため池の使用状況など今後の状況を踏まえながら、耐震化及び廃止を進めていきます。 ③集落組織に対して中山間地域直接支払交付金事業を積極的に周知するとともに、事業の活用を希望する集落に対して手続き等を支援します。また、貸付希望の農地と担い手のマッチングを行い、農地の集積・集約化を促進していきます。 ④鳥獣被害対策については、電気柵と防護柵の補助を活用し、鳥獣被害対策実施隊による効率的な捕獲を図ること、被害の削減に努めます。



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	農林課
	中区分	農林業	作成者	工藤 嘉高
	小区分	農家の育成・支援		
施策の内容	①地域の担い手に農地を集積し、経営規模の拡大を支援するとともに、新規就農者の育成、集落営農組織の設立支援など、担い手の育成を推進します。 ②農業委員会と連携を図りながら、農地のもつ多面的機能を維持するため、耕作放棄地の解消や遊休農地の保全にかかる取組みを支援します。 ③農産物等直売所へ出荷する農家の育成を支援し、農業を活用した生きがいづくりや福祉活動など、農業の裾野を広げる取組みを含めた農業振興を推進します。 ④農産物の特産品化や食育を通して、農業基盤の強化と地産地消の推進を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	農産物直売所出荷者数（市内）				令和5年度目標値		100人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	95	95	95	95	95	95	98
実績値	85	95	90	98	101	103	102
指標説明	農産物等直売所へ野菜等を出荷した出荷者協議会員数（市内）						
指標と目的の関連性							
成果指標名	地元の農畜産物を食べるように心がけている市民の割合				令和5年度目標値		78.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	75.4	75.4	75.4	75.4	76.4	76.4	76.4
実績値	72.8	69.5	55.7	56.6	54.1	50.8	54.5
指標説明	「あなたは、地元の農作物を食べるように心がけていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①田の所有者を対象に貸付希望に係るアンケート調査を行い、担い手とのマッチング作業を実施しました。また、新たに農業者となる方の初期の経営を支援するため、経営開始資金を交付しました。 ②農業委員会と連携して耕作放棄地を調査するとともに、耕作放棄地の再生作業を実施した営農組織に補助金を交付しました。 ③JAとうとが開催した野菜づくり塾に対して補助金を交付しました。また、指定管理者に交付金を交付し、直売所の野菜等出荷量を増加させる取組みを実施しました。 ④農産物等直売所、市外量販店などで瑞浪ポーノボークの加工品をはじめとした地元農畜産物のPRを実施しました。また、地産地消の推進施設となるパーベキュー広場の整備を進めました。
評価・課題	①貸付希望農地は、狭小、不整形といった営農組織などの担い手の経営拡大に繋がらない農地が大半を占めています。 ②耕作放棄地となっている農地は、山際に位置するなど生産性の低い農地が多く、優良農地はごくわずかとなっています。 ③直売所の出荷者は、農業経営を行う大規模農業者、生きがい・コミュニティ形成を目的とした小規模農業者に区分され、それぞれの農業者に対して効果的な支援策を講じていく必要があります。 ④地元農畜産物の特産品化・販売量の拡大を図っていくためには、認知度の向上を図り、販路を確保していく必要があります。
今後の取り組み方針	①担い手の経営拡大に繋がるよう貸付希望農地とのマッチング作業を実施します。また、地域の担い手となる農業者の育成するとともに、集落営農の組織化の支援にも努めていきます。 ②圃場整備を実施したにも関わらず耕作放棄地となっている農地を調査し、担い手とのマッチングを実施します。また、解消作業に対して補助金を交付するなどの支援も行っていきます。 ③直売所の指定管理者、JAとうとが実施する出荷者育成、出荷野菜量の増大に係る取組みを支援していきます。 ④パーベキュー広場、直売所、ハム等加工施設、体験農園が連携したイベント等を開催することで、来場者数の増大を図っていきます。また、インターネットやSNSなどの各種媒体を活用して、地元農畜産物のPR活動も実施していきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	建設部
	中区分	農林業	作成者	市原 憲
	小区分	森林の整備・保全		
施策の内容	①森林整備に不可欠な林道などの施設の機能を維持します。 ②森林のもつ多面的な機能を維持するため、従来からの方法に加え、清流の国ぎふ森林・環境税を活用して森林環境を保全します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	間伐等を実施した森林の面積（累計）				令和5年度目標値		800.0ha
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	298.13	328.13	358.13	388.13	418.13	448.13	478.13
実績値	556.27	672.08	779.78	916.88	1,063.88	1,132.88	1,159.88
指標説明	毎年度の森林の間伐面積等（岐阜県森林・林業統計書より）						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①林道の維持管理として、竜吟林道の草刈り、竜吟林道と洞田林道の砕石舗装の修繕を実施しました。また、正馬橋、木ノ暮1号橋、木ノ暮2号橋については、長寿命化事業として補修を実施しました。 ②森林環境譲与税を活用した森林整備については、陶町大川地区では間伐実施設計（18.9ha）を実施しました。釜戸町平山・上切地区では森林所有者（257筆、56ha）へ市へ管理委託する意向の調査を実施し、そのうち132筆（29.7ha）と委託覚書を締結しました。また、清流の国ぎふ森林・環境税を活用して、大湫町の中仙道沿いの不用木を伐採しました。
評価・課題	①瑞浪市には、林道が27道あり、内9橋の林道橋が架かっています。林道橋については5年に1回の点検診断を実施しています。林道については、使用頻度の高い道は砕石舗装や草刈りを実施していますが、使用頻度の低い道に関しては、未補修箇所が多くあります。 ②森林環境譲与税については、令和2年度の国勢調査の結果で減額されてしまい、方針通り進めていくことが困難となってしまった。清流の国ぎふ森林・環境税を活用した事業については、地元及び県と調整を行いニーズに合った事業を実施することが重要となります。
今後の取り組み方針	①令和6年度には、林道橋の点検診断を実施予定です。林道については、1年に1度はパトロールを実施し状況を把握します。 ②森林環境譲与税を活用した森林整備については、令和5年度に稲津町萩原で意向調査、釜戸町平山・上切地区で間伐実施設計、陶町大川で間伐を実施します。清流の国ぎふ森林・環境税を活用した整備については、令和5年度に竜吟の森の散策道の改修を実施します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	家畜診療所
	中区分	畜産業	作成者	棚橋 武己
	小区分	畜産経営の安定		
施策の内容	①県、県畜産協会と連携し、畜産コンサルティング等を実施し、畜産農家の経営の安定を図ります。 ②「瑞浪ポーノポーク」のブランド化により養豚経営の安定を図ります。 ③家畜疾病の予防、診断、的確な治療により畜産農家の損害を防止するため、適切な診療行為の実施や技術の向上に努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値	
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値	
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値	
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①繁殖和牛飼育農家の畜産経営診断を実施しました。酪農においては性判別胚供給事業を実施しました。労働時間の減少、子牛の事故率低下、受胎率向上のため畜舎省力化施設整備事業にも取り組みました。また粗飼料価格の高騰化を踏まえ、粗飼料価格高騰対策支援事業を実施しました。 ②農産物等加工施設において瑞浪ポーノポークの加工品の商品開発が進み、瑞浪ポーノポークのブランド化を推進しました。 ③家畜診療事業者に対して畜産農家の負担軽減を図るため家畜診療経費助成金交付規則を制定し、畜産農家の負担軽減を図りました。
評価・課題	①粗飼料価格の高騰対策事業により、経営安定のための支援をしたものの、未だ高騰は収まらず経営を圧迫しています。また畜産農家の高齢化、後継者の不在による離農が課題となっています。 ②瑞浪ポーノポークの生産出荷頭数は回復しました。 ③家畜診療事業者と連携し畜産農家の損害防止に努めました。
今後の取り組み方針	①岐阜県及び関係機関と連携し経営の安定、継続に向けた事業に取り組みます。 ②国が定める飼養衛生管理基準及び農場マニュアルの遵守に努めます。 ③家畜診療事業者と連携し、疾病の予防に努めます。

## 2. 成果指標

1	成果指標名	繁殖和牛の飼養頭数				計画期間目標値			160頭
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	132	136	140	144	148	152	156	
	実績値	110	122	127	204	174	171	170	
	指標説明	繁殖和牛の飼養頭数							
	指標と目的の関連性	繁殖和牛の増頭により農家の経営安定を図る							
2	成果指標名	肉豚の飼養頭数				計画期間目標値			7,000頭
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	3,700	3,900	4,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
	実績値	4,936	5,036	4,516	4,143	4,345	5,414	5,573	
	指標説明	肉豚の飼養頭数							
	指標と目的の関連性	瑞浪ポーノポークの出荷増により経営安定を図る							
3	成果指標名	鶏の飼養羽数				計画期間目標値			2,000千羽
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
	実績値	1,927	2,039	2,050	1,894	1,879	2,005	1,902	
	指標説明	鶏の飼養羽数							
	指標と目的の関連性								
4	成果指標名	地元の農畜産物を食べるように心がけている市民の割合				計画期間目標値			78.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	74.0	75.0	75.4	75.4	75.9	76.4	76.9	
	実績値	72.8	69.5	55.7	56.6	51.4	50.8	54.5	
	指標説明	「あなたは、地元の農作物を食べるよう心がけていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合							
	指標と目的の関連性								

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	家畜診療所
	中区分	畜産業	作成者	棚橋 武己
	小区分	関係機関と連携した防疫対策		
施策の内容	①瑞浪市家畜衛生協会と連携し、消毒薬の配布や予防注射の実施など、伝染病の防疫に努めます。 ②県と連携し、高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫に対して迅速な初動防疫を実施できるように、危機管理体制の強化に努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値	
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値	
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値	
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①瑞浪市家畜衛生協会を主体とし家畜自衛防疫強化促進事業を実施しました。また、岐阜県と協力し各養鶏場に注意喚起を促すと共に、国が定める飼養衛生管理基準の遵守を指導し、特定家畜伝染病防疫に努めました。 ②毎年、岐阜県と家畜伝染病発生時における職員の初動マニュアル、消毒ポイント、集合場所、資材等の確認を実施しています。また市職員にむけて家畜伝染病についての説明、発生時の行動についての資料提供を行いました。
評価・課題	①高病原性鳥インフルエンザが、全国各地で発生していますが、現在市内養鶏場での発生は防ぐことができています。しかし今後も毎年渡り鳥のシーズンで発生すると予想されています。また、野生イノシシの野外ウイルスの感染拡大が市内でも相次いでいるため、岐阜県、瑞浪市家畜衛生協会との連携が重要です。 ②岐阜県と連携し農場の指導と県及び市のマニュアルの確認を随時行っています。高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、口蹄疫と各特定家畜伝染病に沿った行動マニュアルを作成します。
今後の取り組み方針	①瑞浪市家畜衛生協会と連携し、家畜自衛防疫強化促進事業により防疫の強化を図り、特定家畜伝染病の発生予防に努めます。 今シーズンの高病原性鳥インフルエンザの発生状況を踏まえ、更なる防疫措置に取り組むよう、岐阜県と協力し各養鶏場を指導します。 ②東濃・恵那地域家畜伝染病対策支部と連携し特定家畜伝染病防疫マニュアルの精度向上を目指し、防疫体制の強化に努めます。

2. 成果指標

1	成果指標名	繁殖和牛の飼養頭数				計画期間目標値			160頭
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	132	136	140	144	148	152	156	
	実績値	110	122	127	204	174	171	170	
	指標説明								
	指標と目的の関連性								
2	成果指標名	肉豚の飼養頭数				計画期間目標値			7,000頭
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	3,700	3,900	4,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
	実績値	4,936	5,036	4,516	4,143	4,345	5,414	5,573	
	指標説明								
	指標と目的の関連性								
3	成果指標名	鶏の飼養羽数				計画期間目標値			2,000千羽
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
	実績値	1,927	2,039	2,050	1,894	1,879	2,005	1,902	
	指標説明								
	指標と目的の関連性								
4	成果指標名	地元の農畜産物を食べるように心がけている市民の割合				計画期間目標値			78.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	74.0	75.0	75.4	75.4	75.9	76.4	76.9	
	実績値	72.8	69.5	55.7	56.6	51.4	50.8	54.5	
	指標説明	「あなたは、地元の農畜産物を食べるように心がけていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合							
	指標と目的の関連性								

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	家畜診療所
	中区分	畜産業	作成者	棚橋 武己
	小区分	市民生活と調和した畜産環境		
施策の内容	①県と連携し鶏糞の堆肥化处理で発生するアンモニア等の悪臭の原因物を定期測定し、地域住民の理解が得られる畜産環境を目指します。 ②瑞浪市家畜衛生協会と連携し、殺虫剤の散布等により地域環境との保全に努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値	
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値	
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値	
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①養鶏場における臭気対策として、岐阜県の支援を受け、隣地境界線上で臭気測定を実施しました。結果は悪臭防止法に定める基準値を下回っていました。 定期的に養鶏場の付近でアンモニアの簡易測定を行いました。 ②瑞浪市家畜衛生協会と連携した家畜自衛防疫強化促進事業の実施により衛生害虫の発生予防、駆除により地域環境の保全に努めました。
評価・課題	①課題のあった農場には、岐阜県と立入し、地域住民と相互理解に努めることが出来るよう指導しましたが、企業養鶏における糞処理方法については全国的な課題となっています。 ②家畜自衛防疫強化促進事業により衛生害虫の発生を未然に防ぎました。
今後の取り組み方針	①岐阜県と連携し臭気測定を毎年実施し、畜産環境の保全に努めます。 定期的にアンモニアの簡易測定を行い記録し住民に提供します。 ②瑞浪市家畜衛生協会と連携し地域環境の保全に努めます。

## 2. 成果指標

1	成果指標名	繁殖和牛の飼養頭数				計画期間目標値			160頭
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	132	136	140	144	148	152	156	
	実績値	110	122	127	204	174	171	170	
	指標説明	繁殖和牛の飼養頭数							
	指標と目的の関連性	繁殖和牛の増頭により農家の経営安定を図る							
2	成果指標名	肉豚の飼養頭数				計画期間目標値			7,000頭
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	3,700	3,900	4,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
	実績値	4,936	5,036	4,516	4,143	4,345	5,414	5,573	
	指標説明	肉豚の飼養頭数							
	指標と目的の関連性	瑞浪ポーノポークの出荷増により経営安定を図る							
3	成果指標名	鶏の飼養頭数				計画期間目標値			2,000千羽
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
	実績値	1,927	2,039	2,050	1,894	1,879	2,005	1,902	
	指標説明	鶏の飼養頭数							
	指標と目的の関連性								
4	成果指標名	地元の農畜産物を食べるように心がけている市民の割合				計画期間目標値			78.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	74.0	75.0	75.4	75.4	75.9	76.4	76.9	
	実績値	72.8	69.5	55.7	56.6	51.4	50.8	54.5	
	指標説明	「あなたは、地元の農畜産物を食べるように心がけていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合							
	指標と目的の関連性								



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	家畜診療所
	中区分	畜産業	作成者	棚橋 武己
	小区分	畜産を利用した地域活性化		
施策の内容	①「瑞浪ポーノパーク」を活用した新商品の開発・製造、6次産業化の取り組みを推進します。 ②市内で飼養されている家畜から生産した良質堆肥の供給及び市内での利用を推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	地元の農畜産物を食べるように心がけている市民の割合				令和5年度目標値		78.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	74	75	75.4	78	78	78	78
実績値	72.5	69.5	55.7	56.6	51.4	50.8	54.5
指標説明	「あなたは、地元の農作物を食べるよう心がけていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①ハム・ソーセージ等の加工品開発を進めるため、関係者の調整に努めました。 ②地域営農組合の粉碎穀と堆肥の交換による構築連携を進めました。農産物等直売施設の出荷者による堆肥利用を進めました。堆肥の品質向上のため、専門家による指導を仰ぎました。
評価・課題	①ハム・ソーセージ等の新商品開発のため、関係者の調整に努めました。 ②農産物等直売所出荷者の堆肥利用者が増加するよう努めていきます。
今後の取り組み方針	①販路拡大による販売額の増加のためECサイト等SNSの強化に努めます。 ②市内畜産農家の堆肥に関する情報提供に努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	商工課
	中区分	商業	作成者	豊崎 忍
	小区分	魅力ある商店づくり		
施策の内容	①魅力ある個店整備の推進やサービスの展開を支援し、空き店舗を減少させます。 ②ロードサイドや周辺地域での商業振興、高齢者等の買い物弱者対策を進めていきます。 ③大型店と小規模商店の連携による市内消費の拡大を支援します。 ④地場産品の特産品化と販売促進を地域の飲食店等とともに連携して進めていきます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	商店数（商業統計調査）				令和5年度目標値		450店
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	564	567	570	573	576	579	582
実績値	—	—	—	—	—	—	—
指標説明	※平成27年度～令和4年度は調査不実施のため、実績なし。						
指標と目的の関連性							
成果指標名	支援により新たに開店した商店数（累計）				令和5年度目標値		30件
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	9	12	15	18	21	24	27
実績値	3	12	17	25	28	31	36
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	市内の商店街（小規模商店）でよく買い物をしている市民の割合				令和5年度目標値		42.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	38.6	39.1	39.6	40.1	40.6	41.1	41.6
実績値	37.0	30.5	31.1	25.6	28.9	30.1	27.1
指標説明	「あなたは、市内の商店街（小規模商店）でよく買い物をしていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①空き店舗を有効的に活用するため、事業者へ空き店舗を貸し出す方を対象に奨励金を交付する制度を令和元年度に策定し、令和4年度に新たに対象地区に駅前再開発地区を加え、対象地区に対して制度への周知活動を行いました。 ②③市商店街連合会による「瑞浪元気市」に補助金を交付し、商店街の活性化を図りました。 ④瑞浪ポーノポークのグルメスタンプラリーを開催し、市内飲食店への集客とPRを実施しました。
評価・課題	①空き店舗等賃貸借促進奨励金制度の相談が少なく、認知度も低いため、継続して周知活動をしていく必要があります。 ②③令和5年度に実施する商店街事業の各種イベント、「瑞浪元気市」等の認知度を向上させることが課題です。 ④観光パンフレット、ホームページ、SNS等で市内外へ情報発信を行い、市内飲食店のPRをしていくことが課題です。
今後の取り組み方針	①商店街には多くの空き店舗が存在しているため、積極的なPR活動をし、空き店舗を減らす取り組みをしていきます。 ②③令和5年度は駅周辺でのイベントを継続して開催し、認知度向上、及び商店街の恒例行事として定着させ、集客数の増加につなげていきます。 ④ポーノポークを使用した店舗を紹介するパンフレット等を作成し、特産物のPRだけではなく市内飲食店のPRも併せて行います。情報発信を強化することで、ポーノポークの普及振興に努めていきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	商工課
	中区分	商業	作成者	豊崎 忍
	小区分	中心市街地活性化		
施策の内容	①地域交流センターを活用し、交通結節点である利点を活かした活動・イベントを実施します。 ②中心市街地を会場にした美濃源氏七夕まつり等各種イベントの開催を支援し、賑わいのあるまちづくりを進めます。 ③徒歩圏内にまちとしての機能が集約している中心市街地の利点を活かして、魅力的な拠点づくりのための事業を検討します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	中心市街地区域内人口				令和5年度目標値		2,513人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426	2,426
実績値	2,331	2,513	2,474	2,481	2,420	2,423	2,411
指標説明	住民基本台帳（自治会別人口）により中心市街地地区内人口を算出						
指標と目的の関連性							
成果指標名	支援により新たに開店した商店数（累計）				令和5年度目標値		30件
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	9	12	15	18	21	24	27
実績値	3	12	17	25	28	31	36
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	市内の商店街（小規模商店）でよく買い物をしている市民の割合				令和5年度目標値		42.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	38.6	39.1	39.6	40.1	40.6	41.1	41.6
実績値	37.0	30.5	31.1	25.6	28.9	30.1	27.1
指標説明	「あなたは、市内の商店街（小規模商店）でよく買い物をしていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①地域交流センターでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ前の7割程度の利用者数となっている。 ②令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により美濃源氏七夕まつりは中止となりましたが、バサラカーニバルについては実施されました。 ③Mビルやあびす屋、駅前広場でのキッチンカー出店を活用した社会実験を継続して実施し市民ニーズの検証をしました。意欲あるプレイヤーが協力してマルシェイベントを開催し、賑わいが創出されました。
評価・課題	①新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者は減少しましたが、現在は徐々に回復しています。今後は、若年層や男性利用者の増加を図る企画等を検討する必要があります。 ②コロナ禍が終わりを迎え、大勢の人が集まるイベントの開催及び再開の検討、さらには商店街活性化事業の企画及び実施が必要であると考えます。 ③駅周辺での社会実験は意欲あるプレイヤーにより認知度は高まっており、新たな賑わいが生まれつつあります。今後は商店街関係者とも連携した企画や空き店舗の活用に取り組み、魅力づくりを行っていく必要があります。
今後の取り組み方針	①指定管理者とさらなる連携と利用者のニーズを適切に把握するためアンケート等を実施し、市民ニーズに反映させた施設運営を行います。 ②中心市街地で行われるイベントでは、商店街と連携し、市民ニーズに対応した企画運営及び周知活動を行っていきます。また、空き店舗を貸し出す事業者に奨励金を交付する、空き店舗等賃貸促進奨励金の周知を引き続き行い、中心市街地の活性化に努めます。 ③引き続き、社会実験を通じて市民ニーズの把握と新たな賑わいづくりに努めます。また、出店希望の方と空き店舗所有者等とマッチングできるよう、商店街関係者やプレイヤーと情報交換し、空き店舗の活用に取り組み、魅力的な拠点づくりを行います。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	商工課
	中区分	商業	作成者	豊崎 忍
	小区分	商業の活性化を担う人材育成		
施策の内容	①商工会議所と連携した創業や経営改善に関する講座等の開催、小規模事業者の指導の支援をします。 ②融資制度の利用促進を行うとともに、創業や新たな事業展開に関する支援をします。 ③中心市街地のまちづくりに取り組む人材の育成について、支援をします。			

## 2. 成果指標

成果指標名	支援により新たに開店した商店数（累計）				令和5年度目標値		30件
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	9	12	15	18	21	24	27
実績値	3	12	17	25	28	31	36
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	市内の商店街(小規模商店)でよく買い物をしている市民の割合				令和5年度目標値		42.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	39.6	39.1	39.6	40.1	40.6	41.1	41.6
実績値	37.0	30.5	31.1	25.6	28.9	30.1	27.1
指標説明	「あなたは、市内の商店街（小規模商店）でよく買い物をしていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①③「創業支援事業計画」に基づき、商工会議所、市内金融機関と連携し、「創業支援セミナー」や「瑞浪市新たな事業チャレンジ支援補助金」にて创业者の支援を行いました。（補助金交付事業者5名） ②市内中小企業や個人事業主支援のため、市内金融機関や商工会議所と連携しながら、「瑞浪市中小企業小口融資制度」及び「瑞浪市小規模事業者経営改善資金融資等利子補給制度」（マル経融資）の利用促進を図りました。
評価・課題	①③創業支援事業計画に基づき、支援を行いました。当該計画が令和5年度末で終期を迎えますが、今後も継続的な支援を行うため、令和8年度までの計画の延長を検討しています。商工会議所や金融機関と連携して周知を行い、創業に向けて創業希望者は各機関を活用しています。 ②国や県の補助事業が影響していることもあり、融資実行件数は昨年度より減少しています。マル経融資に関しては、衛経融資制度を設けたものの、利用者や実行者が未だありません。
今後の取り組み方針	①③引き続き創業支援事業計画に基づく支援を商工会議所や金融機関と連携し行っていきます。チャレンジ支援補助金の制度の見直しを実施し、更なる地域経済の活性化と地域課題の解決を図っていきます。 ②日本政策金融公庫と連携して衛経融資制度のPRを図り、より多くの事業者を活用してもらえるよう制度の利用促進に努めていきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	商工課
	中区分	工業	作成者	豊崎 忍
	小区分	地場産業の活性化		
施策の内容	①みずなみ焼ブランドの販路拡大に向けた支援を継続するとともに、商工会議所とも連携し、市内で生産される様々な製品の開発・販路開拓を支援します。 ②産業振興センターをものづくりの拠点として活用し、地場産業の情報発信機能を確保します。 ③陶磁器に触れる機会を提供し、デザイン等の楽しさを広め、陶磁器産業の人材の裾野を広げます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照					令和5年度目標値	
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照					令和5年度目標値	
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照					令和5年度目標値	
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①見本市が本格的に再開されコロナ禍以前の対面式での開催が増えてきたことから、出展事業者への補助金を継続し、知名度向上に尽力しました。本事業として陶磁器産業だけではなく、他の産業においても出展補助を行い、販路開拓の支援をしました。 ②指定管理施設の陶磁器販売所「ちやわん屋みずなみ」を通じて、SNSでの情報発信や口コミ等により地場産業の認知度向上に努めました。 ③指定管理者による自主事業として、中高生を対象とした陶磁器に係る体験型学習が実施される等、地元若者が陶磁器に触れる機会を提供しました。
評価・課題	①コロナで離れてしまった顧客獲得のため見本市への出展活動は重要ですが、出展費用が負担となっており、参加事業者が減るまたは特定される可能性があります。 ②産業振興センターは陶磁器販売だけではなく、地場産業の継承等、ものづくりの拠点としての機能を強化する必要があります。 ③市内小中学校から食器デザイン画を募集し、皿に加飾してデザイン展を開催しました。
今後の取り組み方針	①出展継続による知名度の向上、最新トレンドの把握、同業者間の意見交換等、見本市出展ならではのメリットを発信していき、参加事業者の増加に努めます。また、国や県の補助事業の案内を行い、多くの事業者を見本市へ送り出していきます。 ②③多くの集客が見込める体験型のイベントや定期セールスのPRをし、施設への集客数の増加を図ります。また、季節ごとのイベントを行い、目新しさや特別感を出すことでリピーター獲得を目指します。コロナ禍以前の規模での、イベントの再開及び企画を後押しし、積極的に携わっていきます。体験型のイベントを恒例化し、若い世代が陶磁器に触れ、興味を持ってもらうキッカケをつくります。また、電気窯を活用し作陶できる機会を設け、ものづくりの拠点としての役割を担っていきます。

2. 成果指標

1	成果指標名	工業事業所数				計画期間目標値		150事業所
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	129	129	130	130	131	131	131
	実績値	140	127	116	120	121	—	—
	指標説明	工業統計による事業所数（従業員4人以上）（H27、R3、R4は工業統計を実施せず）						
	指標と目的の関連性							
2	成果指標名	製造品出荷額等				計画期間目標値		1,000億円
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	410	410	415	420	425	430	435
	実績値	621	485	497	574	1289	—	—
	指標説明	工業統計による製造品出荷額等（従業員4人以上）（H27、R3、R4は工業統計を実施せず）						
	指標と目的の関連性							
3	成果指標名	支援により新たに開業した工業事業所数（累計）				計画期間目標値		4件
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	1	1	2	2	4	5	6
	実績値	1	1	3	3	3	4	5
	指標説明							
	指標と目的の関連性							
4	成果指標名	働きやすいまちだと感じる市民の割合				計画期間目標値		45.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	37.9	38.3	38.7	39.1	45.0	45.0	45.0
	実績値	39.2	34.6	40.1	45.0	41.9	41.6	36.7
	指標説明	「瑞浪市は、働きやすいまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
	指標と目的の関連性							

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	商工課
	中区分	工業	作成者	豊崎 忍
	小区分	新たな産業の創出及び複合型産業への転換		
施策の内容	①新しい事業に取り組む事業者を支援し、育成します。 ②リニア中央新幹線の開通を見込み、企業誘致のための用地を確保し、様々な制度による企業誘致に取り組めます。 ③企業誘致のための情報発信や相談、制度案内などの支援を行い、企業が進出しやすい環境をつくりまします。			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①「創業支援事業計画」に基づき、商工会議所、市内各金融機関と連携し、「創業支援セミナー」及び「瑞浪市新たな事業チャレンジ支援補助金」にて創業者の支援を行いました。（補助金交付事業者5件） ②③企業誘致に係る企業の初期創業支援と新規設備投資を促し、雇用の拡大を図るため、5件の企業立地奨励金の交付を行いました。（交付額93,335千円） また、旧陶小学校施設の売却を行いました。
評価・課題	①新たな事業チャレンジ支援補助金により5件の新規創業がありましたが、創業事業が地域への波及効果等が少なく、単なる操業に留まっていることが課題です。（補助金交付累計額14,321千円） ②③市有地ですぐに企業誘致可能な工場用地等がないため、民間が所有する工場跡地や居抜き物件を活用した企業誘致を進めていく必要があります。
今後の取り組み方針	①創業支援事業計画に基づき、創業希望者の支援を行っていきます。チャレンジ支援補助金は、令和5年度から制度及び審査並びに選考方法を見直し、地域経済活性化と地域課題の解決に寄与する事業の選定を行います。 ②③企業誘致を進めるため、企業立地奨励金の交付事業を継続していきます。また、民間が所有する工場跡地等の情報収集に努めます。

## 2. 成果指標

1	成果指標名	工業事業所数				計画期間目標値		150事業所
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	129	129	130	130	131	131	131
	実績値	140	127	116	120	121	—	—
	指標説明	工業統計による事業所数（従業員4人以上）※H27、R3、R4年度は調査不実施のため、実績なし。						
	指標と目的の関連性							
2	成果指標名	製造品出荷額等				計画期間目標値		1,000億円
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	410	410	415	500	520	540	560
	実績値	621	485	497	574	1,289	—	—
	指標説明	工業統計による製造品出荷額等（従業員4人以上）※H27、R3、R4年度は調査不実施のため、実績なし。						
	指標と目的の関連性							
3	成果指標名	支援により新たに開業した工業事業所数（累計）				計画期間目標値		4件
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	1	1	2	2	4	5	6
	実績値	1	1	3	3	3	4	3
	指標説明							
	指標と目的の関連性							
4	成果指標名	働きやすいまちだと感じる市民の割合				計画期間目標値		45.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	37.9	38.3	38.7	39.1	45.0	45.0	45.0
	実績値	39.2	34.6	40.1	45.0	41.9	41.6	36.7
	指標説明	「瑞浪市は、働きやすいまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
	指標と目的の関連性							



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	商工課
	中区分	観光	作成者	豊崎 忍
	小区分	観光資源の魅力向上		
施策の内容	①自然・歴史・文化・地場産業など、市内の観光資源の魅力をさらに高めるための支援や整備を推進し、地域住民や事業者とともにエリア全体の観光資源づくりに取り組みます。 ②市内13のゴルフ場を活用した観光施策を推進します。また、ゴルフ客の市内観光施設（「ちやわん屋みずなみ」や「きなあつ瑞浪」など）への誘客を図ります。 ③観光ボランティアなどの活動を支援し、観光客を迎え入れる環境の充実を図ります。また、市観光協会の体制強化を促進します。 ④地域の魅力が反映された特産品の開発に取り組みます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	観光入込客数				令和5年度目標値		150万人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	1,360,000	1,380,000	1,400,000	1,420,000	1,440,000	1,460,000	1,480,000
実績値	1,453,201	1,473,335	1,412,451	1,408,854	1,115,013	1,130,132	1,144,209
指標説明	きなあつ瑞浪、美濃源氏七夕まつり、市内全ゴルフ場、市内施設						
指標と目的の関連性							
成果指標名	中山道ボランティアガイド案内人数				令和5年度目標値		4,500人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	3,800	3,900	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400
実績値	1,131	1,059	954	1,597	156	1089	250
指標説明	案内人数の合計						
指標と目的の関連性							
成果指標名	市内の観光資源の魅力が高まっていると感じている市民割合				令和5年度目標値		34.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	28.4	29.2	30.0	30.8	31.6	32.4	33.2
実績値	27.6	18.9	22.4	21.7	21.7	24.0	22.5
指標説明	「瑞浪市は、市内の観光資源の魅力が高まっているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①観光コンテンツ造成事業にて市内事業者と体験型コンテンツの開発・販売を実施しました。 ②ゴルフの町みずなみ実行委員会と連携して、市内13箇所のゴルフ場を会場にオープンゴルフ大会を実施しました。各ゴルフ場で実施した予選大会において、市内特産品のPRを実施しました。また、市内全小学校でのスナッグゴルフ体験会、およびスナッグゴルフ大会を実施しゴルフの普及に努めました。 ③新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが縮小されていたが、徐々に再開されてきたため、ボランティアガイドを実施する機会が増えました。 ④観光協会は産業振興センターに事務所を置き、新たに専任の事務局長を迎え新体制となりました。 ⑤観光協会と連携し御城印の販売を継続しました。
評価・課題	①市内事業者各々が開発したため、繋がりをつくり相乗効果を持たせることが重要と考えます。 ②各ゴルフ場で実施した予選大会において、市内特産品のPRを ③中山道のガイドだけでなく、市内の観光資源、文化財にも対応できる人材育成が課題です。また、ガイドの高齢化による人材不足も課題です。 ④市観光協会の自主運営に向けた事務局を含めた体制の強化が必要です。 ⑤観光協会と連携し「地域の魅力が反映された特産品」を考える必要があります。
今後の取り組み方針	①市内事業者と統一の観光コンセプトを創り上げ、それに基づいたコンテンツの開発およびプロモーション活動を実施していきます。 ②市内ゴルフ場と連携し、ゴルフの町みずなみのPRを強化します。またゴルフ客の市内観光施設への誘客を図ります。 ③中山道ボランティアガイドの会や関係団体と連携し人材の充実を図ります。 ④観光協会の自主運営に向けた支援を強化します。 ⑤観光協会と連携し御城印の販売を継続し、また、新たな特産品の開発に努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	商工課
	中区分	観光	作成者	豊崎 忍
	小区分	地域資源を活かした観光連携		
施策の内容	①農産物等直売所「きなあつ瑞浪」を中心とした市内観光ルートの設定など、競争力のある新たな観光ルートづくりを推進します。 ②リニア中央新幹線開通に向け、県や東美濃地域との広域連携による、魅力ある観光エリアづくりに取り組みます。 ③中山道ウォーキング事業など、中山道を活用した観光連携イベントなどを積極的に推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	観光入込客数				令和5年度目標値		150万人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	1,360,000	1,360,000	1,400,000	1,420,000	1,440,000	1,460,000	1,480,000
実績値	1,453,201	1,473,335	1,412,451	1,408,854	1,115,013	1,130,132	1,144,209
指標説明	きなあつ瑞浪、美濃源氏七夕まつり、市内全ゴルフ場、市内施設						
指標と目的の関連性							
成果指標名	市内の観光資源の魅力が高まっていると感じている市民割合				令和5年度目標値		34.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	28.4	29.2	30.0	30.8	31.6	32.4	33.2
実績値	27.6	18.9	22.4	21.7	21.7	24.0	22.5
指標説明	「瑞浪市は、市内の観光資源の魅力が高まっているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①市内周遊・消費額の拡大に繋げるため、観光コンテンツ造成事業にて市内事業者による体験型コンテンツの造成、販売を行いました。また、WEB広告やパンフレット等を活用し、市内観光資源のPRを行いました。 ②東濃5市と可児市、御嵩町で構成する「東美濃歴史街道協議会」では、東美濃観光パンフレットやホームページの作成、フォトキャンペーンの実施、東美濃周遊旅行商品の造成を行い、東美濃の認知度向上・誘客・周遊促進・消費拡大を図りました。 ③御嵩町と共催の中山道往来を3年ぶりに開催しました。
評価・課題	①民間事業者での調査を実施した結果、近隣県や県内でも瑞浪市の観光資源について認知度が低いことが大きな課題として判明しました。 ②東美濃の認知度が低いため、スケールメリットを活かせるような事業を検討していきます。 ③中山道を活用したイベントを行っていますが、イベント時だけでなく通年で楽しんでいただけるよう検討していきます。
今後の取り組み方針	①市内事業者単体の「点」ではなく、一体となった「面」で活動を広げていきます。また、認知度向上のためにプロモーション活動を強化していきます。 ②東美濃で共通している魅力ある資源を広域連携というスケールメリットを活かして事業の推進および情報発信をしていきます。 ③中山道往来だけでなく、来訪者に通年楽しんでいただけるように各宿場や周辺施設の連携を支援します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	産業経済	担当部局	商工課
	中区分	観光	作成者	豊崎 忍
	小区分	観光情報の発信		
施策の内容	①市内の観光施設をPRするため、魅力あるパンフレットを作成・配付し、また、ホームページをはじめ、メールマガジンの配信やSNSの活用研究等により観光情報の発信を積極的に推進します。 ②リニア中央新幹線開通に向けた観光情報の発信を県や東美濃地域との広域連携により積極的に推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	観光入込客数				令和5年度目標値		150万人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	1,360,000	1,380,000	1,400,000	1,420,000	1,440,000	1,460,000	1,480,000
実績値	1,453,201	1,473,335	1,412,451	1,408,854	1,115,013	1,130,132	1,144,209
指標説明	きなあつ瑞浪、美濃源氏七夕まつり、市内全ゴルフ場、市内施設						
指標と目的の関連性							
成果指標名	市内の観光資源の魅力が高まっていると感じている市民割合				令和5年度目標値		34.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	28.4	29.2	30.0	30.8	31.6	32.4	33.2
実績値	27.6	18.9	22.4	21.7	21.7	24.0	22.5
指標説明	「瑞浪市は、市内の観光資源の魅力が高まっているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①観光パンフレット「みずnavi」の改訂を行い情報の更新を行いました。また瑞浪市観光協会のホームページリニューアルを支援し、観光協会のSNSを立ち上げ、情報発信を開始しました。 ②東濃5市と可児市、御高町で構成する「東美濃歴史街道協議会」では、名古屋市の栄「オアシス21」や「久屋大通公園」などでパンフレット配布などを実施、東京にてフォトキャンペーンの特設展示会での情報発信を実施しました。
評価・課題	①令和5年度より観光協会へ業務を移管するが、継続して支援が必要である。 ②リニア開業に向け、首都圏のみならず中京圏での認知度がまだまだ低いため、それぞれに対し効果的な情報発信を行っていく必要があります。
今後の取り組み方針	①観光パンフレットの発行、ホームページでの情報掲載は観光協会へ移管し、情報のワンストップサービスを行っていきます。 ②東美濃歴史街道協議会において、広域連携のスケールメリットを活かした情報発信を行っていきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	教育委員会
	中区分	就学前教育・学校教育	作成者	滝川 直樹
	小区分	確かな学力の育成		
施策の内容	①児童生徒の学力分析を基に、「基礎的・基本的な内容」の確実な習得を図ります。 ②コミュニケーション能力の素地を養うために、外国語活動の充実に向けた援助を行います。 ③学力向上の基盤となる読書活動への援助を行います。 ④教職員の資質向上のための研修を行います。 ⑤規範意識の芽生えや基本的生活習慣を定着させるために、体験を通じた指導を充実させます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	授業で学んだことを他の学習や普段の生活に生かしている児童生徒の割合				令和5年度目標値		84.1%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値				84.1	84.1	84.1	84.1
実績値				83.5	84.1	81	80.7
指標説明	「授業で学んだことを他の学習や普段の生活に生かしていますか」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えていると思う市民の割合				令和5年度目標値		72.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	69.2	69.6	70.0	70.4	70.8	71.2	71.6
実績値	66.1	66.6	71.4	68.8	68.9	65.7	63.9
指標説明	「瑞浪市は、学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①小学校5年生と中学校2年生で学力テストを実施し結果分析を学力向上に向けた授業改善等の対策に活用しました。 ②幼稚園、小学校、中学校にALTを派遣しました。 ③図書支援員を2名配置し、市内全公立小中学校を巡回し、図書館教育を充実させました。 ④ICT活用研修を筆頭に、各種研修を実施しました。オンライン研修などを取り入れ受講しやすくなりました。 ⑤遊びを通じた活動の中で、あいさつや話す聞くなどの生活習慣を指導しました。
評価・課題	①統一的な学力テストの結果から、教務主任会を中心に指導改善の具体的方法を提案することが出来ました。 ②民間委託のALTは指導者として教育されているため、授業支援の効果が高いです。JETは目的が違うため、指導者としては活用しにくいです。 ③定期的に司書が巡回することで、図書室の環境が整い、読書活動が順調に行われています。 ④参集型とオンライン型を活用したハイブリット研修を実施することで多くの職員が学ぶ場を設けます。 ⑤継続した指導が必要です。
今後の取り組み方針	①学校規模により実態が異なることから、各学校における分析や指導改善の具体的方途を充実させていきます。 ②ALTをすべて民間委託します。 ③図書館協議会において先進市町の優れた事例などを学び市内に還元します。 ④今日的な教育課題と教職員のニーズに対応した研修会をオンラインを活用して行います。 ⑤園訪問で道徳教育の充実を図る指導・助言を進めていきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	教育委員会
	中区分	就学前教育・学校教育	作成者	滝川 直樹
	小区分	豊かな心の育成		
施策の内容	①子どもの内面の理解を深めるとともに、学級経営力の向上を目指した指導を進めます。 ②いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けた支援及び不登校児童生徒の学校復帰の支援を行います。 ③要援助児童生徒の心の安定と学力向上に向けた支援を行います。 ④健康な体づくりに向けた支援を行います。 ⑤園・学校・家庭・地域が連携して食育を推進します。 ⑥体験学習や地域住民との交流を通して、子どもの豊かな心を育てます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	いじめの解消率				令和5年度目標値		100%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	97.92	98.95	100	100	100	100	100
実績値	96.7	74.3	97.1	95.2	78.0	87.0	84.0
指標説明	問題行動調査(文科省)の結果から解消率(解消/認知*100)を算出する。(いじめに関するアンケートによる、いじめ解消率)						
指標と目的の関連性							
成果指標名	不登校児童生徒の出現率				令和5年度目標値		1.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	1.41	1.30	1.30	1.20	1.15	1.10	1.05
実績値	1.5	1.3	1.33	0.96	1.2	2.65	2.49
指標説明	長期欠席調べにより、不登校児童生徒の出現率を算出する。						
指標と目的の関連性							
成果指標名	学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えていると思う市民の割合				令和5年度目標値		72.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	69.2	69.6	70.0	70.4	70.8	71.2	71.6
実績値	66.1	66.6	71.4	68.8	68.9	65.7	63.9
指標説明	「瑞浪市は、学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えているまらだと思いませんか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①子どもの様子や言動、QUアンケート等に注意しながら、悩みや不安を迅速につかむとともに、自己肯定感をもつ児童生徒、凝集力の高い集団をつくる指導を進めています。 ②教育支援センター相談員と学校を巡回する教育相談員を任用し、きめ細かい指導を行っています。また、指導者の連携を図るよう会議を設けています。 ③学業支援員を配置することで不安や心配を取り除き、安心して学べる環境をつくっています。 ④体力テストを実施し、結果の分析を参考に、効果的な取り組みを行いました。 ⑤栄養教諭が各学校を訪問し、食に関する興味関心を引き出す取組みを進めています。また、給食の食材の説明を昼の放送を活用し食育を実施しました。 ⑥コロナ禍で、縮小して地域住民との交流を実施しました。
評価・課題	①担任などの教師が、個々の悩みに寄り添う時間が必要です。 ②長期欠席等児童生徒への関係づくりが大切です。 ③学業支援員の支援が必要な児童生徒が年々増加しています。 ④数年間のコロナ禍により体力の低下が懸念されます。 ⑤継続した食に関する指導が必要です。 ⑥地域との関係を大切にし、コミュニティ・スクールの推進が必要です。
今後の取り組み方針	①個々への的確な対応ができるよう、アンケート等を効果的に活用します。 ②スクールカウンセラーやスクール相談員、教育相談員、ソーシャルワーカー等と連携し、専門職の見立てを基に適切に個に合った援助を行います。 ③学業支援員の適切な配置により、児童生徒が安心して学べる環境を整えていきます。 ④冊子「みずなみの子ども」を活用し、体力向上、健康教育を推進していきます。 ⑤継続して、栄養教諭の巡回指導を行います。 ⑥令和6年度までに、市内全ての小中学校でコミュニティ・スクール化を推進します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	教育委員会
	中区分	就学前教育・学校教育	作成者	滝川 直樹
	小区分	教育環境及び施設等の整備・充実		
施策の内容	①安全・安心で質の高い学校施設の整備を行います。 ②新しい情報・知識・技術に対応できる児童生徒を育成します。 ③安全・安心な学校給食を提供します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	授業で学んだことを他の学習や普段の生活に生かしている児童生徒の割合				令和5年度目標値		84.1%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値				84.1	84.1	84.1	84.1
実績値				83.5	84.1	81.0	80.7
指標説明	「授業で学んだことを他の学習や普段の生活に生かしていますか」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えていると思う市民の割合				令和5年度目標値		72.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	69.2	69.6	70.0	70.4	70.8	71.2	71.6
実績値	66.1	66.6	71.4	68.8	68.9	65.7	63.9
指標説明	「瑞浪市は、学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①稲津小学校の改修工事が完了。各校の主要な特別教室への空調整備が完了した。 ②一人一台タブレットを活用し、ICT教育を推進しました。 ③安心安全な学校給食を提供しました。
評価・課題	①小学校は7校中6校の改修工事が完了しましたが、土岐小については外壁・防水の劣化が著しいため改修工事を予定しています。残りの瑞浪小・瑞浪中・瑞浪南中については老朽化改修のほか、バリアフリー化や省エネ対応についても検討していきます。 ②児童生徒の学びに良い影響を与え、学力の向上、やる気に繋がるような使用及び指導改善が必要です。 ③安心安全な給食を提供できる施設を整備していく必要があります。
今後の取り組み方針	①瑞浪小はR9年度、瑞浪中はR8年度、瑞浪南中はR10年度よりそれぞれ改修工事に着手予定です。土岐小についてはR7年度より外壁・防水改修工事に着手予定です。 ②ICT環境の整備と積極的に効果的な利活用に向けた研修を進めていきます。 ③施設を整備し安全な学校給食の提供かつ緊急時に対応できる体制を整えていきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	教育委員会
	中区分	就学前教育・学校教育	作成者	滝川 直樹
	小区分	安全確保と健全育成		
施策の内容	①防災・防犯訓練（命を守る訓練）や通学路の安全点検等を実施します。 ②地域住民や保護者と情報を共有し、連携して園・学校改善に努めます。 ③幼小中一貫教育及びキャリア教育の充実を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	授業で学んだことを他の学習や普段の生活に生かしている児童生徒の割合				令和5年度目標値		84.1%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値				84.1	84.1	84.1	84.1
実績値				83.5	84.1	81.0	80.7
指標説明	「授業で学んだことを他の学習や普段の生活に生かしていますか」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えていると思う市民の割合				令和5年度目標値		72.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	69.2	69.6	70.0	70.4	70.8	71.2	71.6
実績値	66.1	66.6	71.4	68.8	68.9	65.7	63.9
指標説明	「瑞浪市は、学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①他部署や関係機関等と協力して通学路点検を実施しました。 ②学校評議員会、PTA懇談会、役員会等を通して情報を発信するとともに、意見をいただき改善に努めました。 昨年度より学校と保護者の双方向の連絡が可能なライセンスを取得し、連絡を密にしています。 ③各学校で幼小中一貫教育を進めました。キャリア教育における職場体験学習を数年ぶりに実施することができました。
評価・課題	①土木課、生活安全課、警察、砂防国道事務所、多治見土木事務所、区長会長、まちづくり推進協議会、学校と多方面の方々と連携して、通学路点検ができているため、危険箇所へ迅速に対応できています。 ②学校だより、学校評価書や学校アンケート結果により保護者と情報を共有し、学校経営の改善ができました。 ③各中学校区で、幼小中一貫教育推進委員会を開催し、地域の実情を踏まえた課題を設定し取り組みました。
今後の取り組み方針	①関係機関等の意見を参考に、実効性のある災害時対応マニュアル等の改善を行います。 ②学校運営協議会、学校評議員会、PTA懇談会や役員会などで情報を共有・交流し、学校経営の改善を行います。 ③各中学校区で幼小中一貫教育を進めます。また、キャリア教育推進懇談会の協力を得ながら、職場体験学習先の維持・開拓によるキャリア教育の充実を図ります。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	社会教育課
	中区分	社会教育	作成者	奥谷 ひとみ
	小区分	ライフステージに対応した学びの場の充実		
施策の内容	<p>①多様な世代、多様な知的欲求に対応する学習機会の提供に努め、また、地域住民のニーズを反映した特色ある学習活動の進展・拡大を図ります。</p> <p>②市民の求める学習資料・情報を的確・適切に提供することを大切に、図書館サービスの一層の充実を図ります。</p> <p>③市民が生涯学習の成果を発表する機会と場所を積極的に提供し、学習意欲を高めるための支援を行います。</p> <p>④自主的な学習グループに対する支援を充実させ、生涯学習の裾野を広げる取組みを推進します。</p>			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値				
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						
成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値				
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						
成果指標名	別紙参照	令和5年度目標値				
年度						
目標値						
実績値						
指標説明						
指標と目的の関連性						

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①各公民館・市民図書館において各種講座・イベント等を実施しました。アンケート等の意見を取り入れて幅広い世代の多様なニーズを満たすよう企画するとともに、多様な情報発信ツールを用いた周知・参加促進に取り組みました。</p> <p>②多様なニーズを満たせるよう利用者の意見や貸出状況を考慮しながら効率的な選書と除籍を実施し、バランスのとれた蔵書構成に努めました。</p> <p>③④各公民館の文化祭等において、発表・作品展示を行いました。</p>
評価・課題	<p>①コロナ禍で減少した利用者数・参加者数が少しずつ増加しており、人の動きは回復傾向にあります。</p> <p>②駅北複合公共施設における蔵書のあり方についての市の方針を明確にするるとともに、ICTシステムの導入について検討する必要があります。</p> <p>③④コロナ禍での活動低下や会員の高齢化により活動の継続が困難な自主グループが多い状況です。減免制度はあるものの、会員数の減少により部屋の使用料・冷暖房費が大きな負担となっています。</p>
今後の取り組み方針	<p>①生涯学習・地域交流の拠点となりうる各施設において、幅広い年齢層にわたる多様なニーズに対応した学習機会の提供します。</p> <p>②蔵書構成の現状分析やICTシステムの検討、市民ニーズの把握等を行いながら、市として目指すべき図書館像を明確にし、駅北複合公共施設整備担当課との調整を図ります。</p> <p>③④生涯学習推進・文化芸術振興・地域交流促進に向け、自主グループの活動成果の発表の機会を確保するとともに、活発な活動が継続できるよう支援策を検討します。</p>



## 2. 成果指標

1	成果指標名	公民館の利用者数				計画期間目標値		215,000人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	208,000	209,000	210,000	211,000	212,000	213,000	214,000
	実績値	204,793	202,215	202,548	171,153	65,930	83,791	91,937
	指標説明	各公民館の1年間の利用者数の合計						
	指標と目的の関連性							
2	成果指標名	市民一人あたりの図書貸出冊数				計画期間目標値		5.8冊
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	220,000	220,000	220,000	5.8	5.8	5.8	5.8
	実績値	206,740	203,229	198,668	5.2	3.9	4.6	5.2
	指標説明							
	指標と目的の関連性							
3	成果指標名	公民館講座・教室等への参加者数				計画期間目標値		4,500人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	3,800	3,900	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400
	実績値	4,366	3,141	3,189	4,043	1,409	1,529	1,981
	指標説明	1年間に公民館を利用した継続した講座・教室等に参加した人数の合計						
	指標と目的の関連性							
4	成果指標名	公民館登録自主グループ数				計画期間目標値		115団体
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	103	104	105	107	109	111	113
	実績値	104	98	71	69	68	66	62
	指標説明							
	指標と目的の関連性							
5	成果指標名	生涯学習(趣味・スポーツを含む)に取り組んでいる市民の割合				計画期間目標値		47.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	目標値	43.3	43.3	43.3	44.0	44.8	45.5	46.3
	実績値	43.0	42.2	44.5	44.1	38.3	40.0	44.9
	指標説明	「あなたは、生涯学習(趣味・スポーツを含む)に取り組んでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
	指標と目的の関連性							

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	社会教育課
	中区分	社会教育	作成者	奥谷 ひとみ
	小区分	子どもたちの成長のための環境の充実		
施策の内容	①家庭教育学級等の内容充実を図り、若い親世代の学習機会への参加を促進します。 ②青少年育成活動の内容充実を図り、地域での子育てに係る学習環境の整備に努めます。 ③読み聞かせ活動や児童図書を紹介活動等を推進し、子どもの読書活動の充実を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	公民館の利用者数				令和5年度目標値		215,000人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	208,000	209,000	210,000	211,000	212,000	213,000	214,000
実績値	204,793	202,215	202,548	171,153	65,930	83,791	91,937
指標説明	各公民館の1年間の利用者数の合計						
指標と目的の関連性							
成果指標名	生涯学習(趣味・スポーツを含む)に取り組んでいる市民の割合				令和5年度目標値		47.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	43.3	43.3	43.3	44.0	44.8	45.0	46.3
実績値	43.0	42.2	44.5	44.1	38.3	40.0	44.9
指標説明	「あなたは、生涯学習(趣味・スポーツを含む)に取り組んでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①各公民館において家庭教育に関する講座等を開催し、のべ249人が参加しました。PTAを対象とした講演会では、「食育」をテーマに約80人が参加し、また動画配信も行い広く周知しました。7つの学校区で地域学校協働活動が始まり、地域ぐるみでの学校教育及び家庭教育が充実しつつあります。 ②瑞浪市PTA連合会と瑞浪市青少年育成市民会議と連携し、「瑞浪市ケータイ・ゲーム機・ネットに関する家庭のルール ～決めて、守ろう！我が家のルール～」と題した通信を発行しました。また、瑞浪市青少年育成市民会議では「子育てには、親育て」というテーマで講演会を実施し、地域の大人たちに地域での青少年育成の必要性を再認識してもらいました。 ③市民図書館・児童館等での読み聞かせ、4か月健診時のブックスタート、学校で本を紹介するブックトーク、子ども司書講座・図書館まつりのイベント等、読書活動推進につながる各種事業を実施しました。
評価・課題	①家庭教育と地域活動が結びつき、効果的な活動につながるよう支援していく必要があります。 ②情報モラルや青少年育成の講演を通して、地域や家庭での教育の必要性を周知することができました。家庭の日について、引き続き周知できる活動を考え、実施していく必要があります。 ③英語での読み聞かせや子ども司書講座等の新規事業にも積極的に取り組みました。子どもの読書活動のさらなる推進に向け、市民図書館と幼児園・学校図書館・家庭・地域・ボランティア等との連携の強化が必要です。
今後の取り組み方針	①保護者や地域のニーズを把握しながら魅力ある講座や研修会を企画し、保護者等の積極的な参加を促進します。また、各校区での地域学校協働活動をさらに充実させ、地域ぐるみで家庭教育も充実させていきます。 ②市や各学校のPTA、青少年育成市民会議との連携を強化し、家庭の日を取り入れた「語ろう、話そう、わが家の約束」の取組を充実させていきます。 ③子どもの読書活動のさらなる推進に向け、市民図書館で実施する各種事業の周知を強化するとともに、関係機関等との一層の連携の強化を図ります。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	社会教育課
	中区分	社会教育	作成者	奥谷 ひとみ
	小区分	シニア世代等による活力ある地域づくり		
施策の内容	①高齢者学級（寿大学）の内容の充実を図るとともに、シニア世代の公民館活動への参加促進に努めます。 ②地域の人材発掘に努め、長年培った技能の発揮の場や地域づくりに活かす機会等の提供及び支援に努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	公民館の利用者数				令和5年度目標値		215,000人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	220,000	220,000	220,000	221,000	221,000	222,000	222,000
実績値	204,793	202,215	202,548	171,153	65,930	83,791	91,937
指標説明	各公民館の1年間の利用者数の合計						
指標と目的の関連性							
成果指標名	公民館講座・教室等への参加者数				令和5年度目標値		4,500人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	3,800	3,900	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400
実績値	4,366	3,141	3,189	4,043	1,409	1,529	1,981
指標説明	1年間に公民館を利用した継続した講座・教室等に参加した人数の合計						
指標と目的の関連性							
成果指標名	生涯学習（趣味・スポーツを含む）に取り組んでいる市民の割合				令和5年度目標値		47.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	43.3	43.3	43.3	44.0	47.0	47.0	47.0
実績値	43.0	42.2	44.5	44.1	38.3	40.0	44.9
指標説明	「あなたは、生涯学習（趣味・スポーツを含む）に取り組んでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①各公民館において学習会やクラブ活動が円滑に実施されるよう支援し、延べ1,934名が各活動に参加しました。中部寿大学では2つの新規クラブを立ち上げ、日吉寿大学は「日吉アカデミー」に呼称を変更して参加しやすいきっかけづくりに取り組みました。 ②各公民館・まちづくり組織において、マレットゴルフ交流会、農園苗植え・収穫、新春書初め、和楽器の集い等、子どもとの交流事業・多世代交流事業を実施しました。
評価・課題	①学生数の減少、役員の担い手不足、移動手段の確保、参加者間の年齢差、定年延長の影響等が全公民館共通の課題です。 ②地域学校協働活動の推進に伴い、地域と学校との連携が強化され、活発な地域交流事業の展開が期待されます。
今後の取り組み方針	①即効性のある打開策は見いだせないものの、各公民館間で工夫等を共有しながら現状を維持できるよう支援しつつ、シニア世代が参加しやすい内容や環境づくりについて検討します。 ②まちづくり組織等との連携により地域人材を発掘に努めます。地域学校協働活動の推進とともに、保幼小中、PTA、子ども会等との一層の連携を図り、地域の多世代の交流を図る事業を実施します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	社会教育課
	中区分	社会教育	作成者	奥谷 ひとみ
	小区分	指導者の育成及びボランティア活動の充実		
施策の内容	①地域のサークルの活動紹介に努め、指導者の育成機会の提供を図ります。 ②市民のボランティアの活動紹介に努め、ボランティア活動・地域づくり活動への参加啓発に努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照				令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①②2023年版「生涯学習ガイドブック」は前年よりページ数を4ページ増やし、公民館で活動する登録自主グループや図書館ボランティアの活動状況に係る掲載内容を充実しました。
評価・課題	①②より多くの人の興味関心を得ることができるよう、情報発信の強化・工夫が必要です。
今後の取り組み方針	①②多様な情報発信ツールを用いて幅広い年代に対し生涯学習活動やボランティア活動の魅力を発信するとともに、登録自主グループの成果発表の機会やボランティア活動の場の確保に努めます。

## 2. 成果指標

1	成果指標名	公民館の利用者数				計画期間目標値			215,000人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	230,000	230,000	230,000	211,000	230,000	230,000	230,000	
	実績値	204,793	202,215	202,548	171,153	65,930	83,791	91,937	
	指標説明	各公民館の1年間の利用者数の合計							
	指標と目的の関連性								
2	成果指標名	公民館登録自主グループ数				計画期間目標値			115団体
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	130	130	130	130	130	130	130	
	実績値	104	98	71	69	68	66	62	
	指標説明								
	指標と目的の関連性								
3	成果指標名	公民館・図書館を拠点とするボランティア人数				計画期間目標値			170人
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	180	180	180	180	180	180	180	
	実績値	160	163	157	142	121	109	137	
	指標説明								
	指標と目的の関連性								
4	成果指標名	生涯学習(趣味・スポーツを含む)に取り組んでいる市民の割合				計画期間目標値			47.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	43.3	43.3	43.3	44.0	44.8	45.0	46.3	
	実績値	43.0	42.2	44.5	44.1	38.3	40.0	44.9	
	指標説明	「あなたは、生涯学習(趣味・スポーツを含む)に取り組んでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合							
	指標と目的の関連性								

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	スポーツ文化課
	中区分	生涯スポーツ	作成者	水野 義康
	小区分	スポーツ施設の充実		
施策の内容	①市民が利用しやすいスポーツ施設となるよう各施設を管理運営し、利用率の向上を図ります。 ②施設や器具を計画的に更新し、市民が安全・快適にスポーツを行う環境をつくります。 ③市内小中学校の屋内体育館の有効活用を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数				令和5年度目標値		8.5回
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
実績値	8.3	7.4	7.4	7.1	3.4	3.5	3.2
指標説明	スポーツ施設総利用回数÷市の人口						
指標と目的の関連性							
成果指標名	市スポーツ少年団の登録人数の割合(小学生)				令和5年度目標値		21.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0
実績値	20.0	20.5	21.5	23.3	18.2	16.0	15.8
指標説明	市スポーツ少年団の登録人数÷小学生数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	日頃からスポーツや運動に親しんでいる市民の割合				令和5年度目標値		39.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1
実績値	35.1	38.1	34.5	30.8	32.2	33.9	38.2
指標説明	「あなたは、日頃からスポーツや運動に親しんでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①コロナ禍においても感染対策を行いながら施設を利用できるよう、周知・案内を行いました。 ②瑞浪市民体育館改修工事に伴い特定財源の確認とバスケットゴールの整備を行いました。 ③全ての体育施設の学校開放事務について、スポーツ文化課にて受付を始めました。
評価・課題	①指定管理導入に向けた減免規程や規則などの整理が必要です。 ②令和5・6年度にて市民体育館改修工事を行うため、工事の進捗をしっかりと監理し、予定工期内に竣工させることが必要です。 ③学校と利用者との継続的な連絡調整が必要です。
今後の取り組み方針	①ねんりんピック修了後に指定管理導入できるように、準備を進めていきます。 ②市民体育館改修工事の進捗をしっかりと監理し、特定財源についても遺漏のないよう手続きを進めます。 ③学校施設の開放について、利用しやすい環境づくりと、学校と利用者の連絡調整を継続します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	スポーツ文化課
	中区分	生涯スポーツ	作成者	水野 義康
	小区分	スポーツ指導者の育成		
施策の内容	①スポーツ推進委員の資質を向上させ、スポーツの啓発と普及を推進します。 ②スポーツ指導者の資質向上のため、研修会や講習会の情報を提供します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数				令和5年度目標値		8.5回
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
実績値	8.3	7.4	7.4	7.1	3.4	3.5	3.2
指標説明	スポーツ施設総利用回数÷市の人口						
指標と目的の関連性							
成果指標名	市スポーツ少年団の登録人数の割合(小学生)				令和5年度目標値		21.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0
実績値	20.0	20.5	21.5	23.3	18.2	16.0	15.8
指標説明	市スポーツ少年団の登録人数÷小学生数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	日頃からスポーツや運動に親しんでいる市民の割合				令和5年度目標値		39.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1
実績値	35.1	38.1	34.5	30.8	32.2	33.9	38.2
指標説明	「あなたは、日頃からスポーツや運動に親しんでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①②スポーツ推進委員の資質向上を目的とした各種研修会の案内を行い、東濃地区、岐阜県及び東海四県で行われた研修会に参加しました。また、3年ぶりに野球交流会を開催し、スポーツによる市内交流ができました。
評価・課題	①研修会で得た知見などを、どのような方法で地域にフィードバックしていくかが課題です。 ②スポーツ推進委員の東濃地区研修会では、東濃5市により実技や講習など多種の研修会が開催されている。令和5年度は瑞浪市が研修開催担当にもなっているため、準備から開催を含め、段取りや指導力などが求められます。
今後の取り組み方針	①スポーツ交流会や、地域でのスポーツ大会の運営に携わり、研修で得たことを事業に活かしていけるよう取り組みます。 ②スポーツ推進委員の研修会では、開催市として運営に取り組みます。また、スポーツ少年団の指導者資格更新に関わる研修会など情報発信に努め、指導者確保に取り組みます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	スポーツ文化課
	中区分	生涯スポーツ	作成者	水野 義康
	小区分	生涯スポーツの推進		
施策の内容	①子どもたちにスポーツをする楽しさと技術を伝える機会を設けます。 ②市民がスポーツに接する機会を増やし、スポーツに対する市民の意識の向上を図ります。 ③スポーツの技術向上と競技人口の拡大を図ります。 ④市民が地域の中でスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数				令和5年度目標値		8.5回
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
実績値	8.3	7.4	7.4	7.1	3.4	3.5	3.2
指標説明	スポーツ施設総利用回数÷市の人口						
指標と目的の関連性							
成果指標名	市スポーツ少年団の登録人数の割合(小学生)				令和5年度目標値		21.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0
実績値	20.0	20.5	21.5	23.3	18.2	16.0	15.8
指標説明	市スポーツ少年団の登録人数÷小学生数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	日頃からスポーツや運動に親しんでいる市民の割合				令和5年度目標値		39.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1	34.1
実績値	35.1	38.1	34.5	30.8	32.2	33.9	38.2
指標説明	「あなたは、日頃からスポーツや運動に親しんでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①②バウンドテニス教室、スナッグゴルフ体験会や、スポーツ少年団を対象とした中京高校軟式野球部による野球教室などを開催しました。 ③④体育協会、レクリエーション協会やスポーツ少年団への活動を支援し、競技人口拡大や選手育成を図りました。
評価・課題	①②今後も競技や参加対象者を工夫・検討しながら開催し、スポーツに触れ合う機会を確保することが必要です。 ③市制70周年記念として行うトップアスリート事業により、技術力向上と競技人口の拡大につなげることが重要です。 ④市民大会や町民大会により、地域ぐるみでのスポーツに触れる機会を確保していくことが必要です。
今後の取り組み方針	①スナッグゴルフは、市内小学校で授業として取り入れられるようになったため、今後継続して競技できる体制づくりに取り組んでいきます。 ②ストレッチ教室やヨガ教室での反響があった「姿勢矯正」をテーマにした教室開催に取り組めます。 ③域学連携による中京高校とのスポーツ交流や、トップアスリート事業を活用した技術力向上とスポーツ人口増加に取り組めます。 ④体育協会やスポーツ少年団への活動助成を継続し、地域でのスポーツ事業が開催できるように支援していきます。



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	社会教育課
	中区分	文化・芸術・文化財	作成者	奥谷 ひとみ
	小区分	市民による文化芸術活動の振興		
施策の内容	①文化芸術活動への市民の参加啓発を図るとともに、文化芸術活動団体の発表機会が増えるよう支援に努めます。 ②市民の身近な芸術家や音楽家を広く紹介し、市民が気軽に芸術に触れることのできる機会を積極的に提供します。 ③気軽に芸術創造体験ができるよう、多様な参加型事業を実施します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	総合文化センター芸術振興事業の数				令和5年度目標値		10事業
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	13	14	14	14	10	10	10
実績値	9	10	13	6	6	6	7
指標説明	文化ホール事業・展示事業等市民への普及啓発に係る事業の数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	文化芸術団体の発表機会の参加団体数				令和5年度目標値		124団体
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	117	118	119	120	121	122	123
実績値	101	111	103	94	45	45	67
指標説明	文化祭、ぐる〜ぶ展・文化協会祭の参加団体数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	日頃から文化・芸術や郷土の歴史や文化に親しんでいる市民の割合				令和5年度目標値		32.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	28.2	28.2	28.2	28.2	32	32	32
実績値	28.8	26.2	23.0	29.6	21.5	22.9	23.1
指標説明	「あなたは、日頃から文化・芸術や郷土の歴史や文化に親しんでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①市民の文化芸術活動の発表の機会として、新型コロナウイルス感染症対策を講じて第69回瑞浪市美術展、第41回中央公民館文化祭を開催しました。 ②自主事業として、ホール耐震工事のため、講堂を会場として3事業を開催しました。 ③参加型事業として、ホワイエふれあいコンサート「朗読会」「IMC音楽会」「釜戸フォーク村」を開催しました。
評価・課題	①②③新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえでの事業継続に向けて、様々な事態を想定し、事前準備をしていく必要があります。
今後の取り組み方針	①②③市民が気軽に芸術に触れることのできる機会を積極的に提供します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	スポーツ文化課
	中区分	文化・芸術・文化財	作成者	水野 義康
	小区分	文化施設の充実		
施策の内容	①文化施設を快適な環境で使用できるよう、整備を進めます。 ②市民が郷土の自然や歴史、文化・芸術に親しむことができるよう普及活動を充実させます。 ③各館所蔵資料の充実を図るとともに、調査・研究を一層進めます。 ④市民公園内の文化施設を本市の文化・芸術の拠点としてさらに充実させるため、再編に向けた検討を進めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	市民公園内文化施設の総入館者数				令和5年度目標値		78,000人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	76,000	76,000	76,000	76,000	76,000	76,000	76,000
実績値	75,431	73,505	70,413	70,707	48,868	31,843	31,175
指標説明	化石博物館・陶磁資料館・地球回廊・市之瀬美術館4館の総入館者数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	市民公園内文化施設で開催する各種講座の参加者数				令和5年度目標値		800人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	950	950	950	950	950	950	950
実績値	1,333	1,008	1,212	1,483	161	613	901
指標説明	市民公園内文化施設の講座の総参加者数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	日頃から文化・芸術や郷土の歴史や文化に親しんでいる市民の割合				令和5年度目標値		32.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	28.2	28.2	28.2	28.2	28.2	28.2	28.2
実績値	28.8	26.2	23.0	29.6	21.5	22.9	23.1
指標説明	「あなたは、日頃から文化・芸術や郷土の歴史や文化に親しんでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①旧地球回廊の事務所の撤去等を行いました。 ②化石博物館・美術館・陶磁資料館にて計8回の展覧会するとともに、年間を通して各種体験講座を開催しました。 ③パレオパラドキシアの調査・研究に着手するとともに、化石博物館では研究報告第49号、陶磁資料館では歴史資料集第7集を刊行しました。 ④市民公園文化施設再整備について、方向性を庁議にて協議しました（継続協議）。
評価・課題	①老朽化により生じている事象（雨漏り等）に適宜対応する必要があります。 ②参加者増につながる工夫を行うとともに、広報にも努める必要があります。 ③パレオパラドキシア等の調査・研究を進めるとともに、成果等をわかりやすく市民等へ伝える必要があります。 ④再整備方針について、全庁的な方向性を決定する必要があります。
今後の取り組み方針	①来館者等の安全性・利便性等確保のため、また資料保存等のため適宜修繕等を行います。 ②積極的な情報発信に努めながら、展覧会や体験講座等の普及活動を継続します。 ③収蔵資料等の調査・研究を進めるとともに、成果の公開やデータベースの更新に努めます。 ④市民公園文化施設再編について全庁的な協議を継続します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	教育文化	担当部局	スポーツ文化課
	中区分	文化・芸術・文化財	作成者	水野 義康
	小区分	地域と連携した伝統文化や文化財の継承・活用		
施策の内容	①文化団体等と連携、協議しながら地域の伝統文化や伝統行事の継承に努めます。 ②文化財の調査、保存、保護に努めるとともに、文化財の維持管理と有効活用に努めます。 ③市内の文化財や歴史的財産に触れる機会を設け、市民の郷土史に対する理解と関心を高めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	文化施設・歴史案内等ボランティア数				令和5年度目標値		40人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	37	37	37	37	37	37	37
実績値	29	33	33	33	33	33	40
指標説明	歴史案内・文化財・文化施設のボランティアの総数						
指標と目的の関連性							
成果指標名	日頃から文化・芸術や郷土の歴史や文化に親しんでいる市民の割合				令和5年度目標値		32.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	28.2	28.2	28.2	28.2	28.2	28.2	28.2
実績値	28.8	26.2	23.0	29.6	21.5	22.9	23.1
指標説明	「あなたは、日頃から文化・芸術や郷土の歴史や文化に親しんでいますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①市指定民俗文化財（無形）伝承事業（1団体）に補助金を交付しました。 ②大湫・森川文書の調査を実施しました（調査は継続）。また日吉町の酒波神社出土の銅鏡を購入するとともに、奥之田一里塚の保護措置を講じました。 ③文化財説明看板（1基）を更新し、市民講座（3回）および市民参加講座（1回）を開催しました。
評価・課題	①民俗文化財継承等のための補助を継続する必要があります。 ②文化財の継続的な調査・研究やその成果の公表が必要です。また、中山道の保存と適切な整備を図るために整備基本計画を策定する必要があります。 ③市民講座等の開催を継続する必要があります。また、説明看板の適切な維持管理等を行う必要があります。
今後の取り組み方針	①伝承事業が継続的に実施できるように保存団体に補助金を交付します。 ②森川文書の調査を完了し、調査報告書を刊行します。また中山道整備基本計画を策定します。 ③市民講座等の開催を継続します。また、説明看板の更新等に努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	市民協働課
	中区分	協働のまちづくり	作成者	加藤 博史
	小区分	地域活動を担う人材・団体の育成		
施策の内容	①まちづくり活動の先進事例を学ぶ「まちづくり講演会」等を開催し、地域活動を担う人材の育成に努めます。 ②新たなNPO団体等を設立する際の相談や情報提供を行います。また、設立後の活動に対する支援も行います。			

## 2. 成果指標

成果指標名	地域活動やボランティア、NPO活動に参加している市民の割合				令和5年度目標値		30.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	26.0	26.5	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0
実績値	26.0	26.5	23.8	25.2	24.6	20.2	23.5
指標説明	「あなたは、地域活動やボランティア、NPO活動に参加していますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	地域での交流や活動が活発に行われていると考えている市民の割合				令和5年度目標値		63.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	60.8	60.8	60.8	63.8	63.8	63.0	63.0
実績値	60.8	56.4	55.5	60.1	55.1	51.7	45.5
指標説明	「瑞浪市は、地域での交流や活動が活発に行われているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①②まちづくり推進組織役員、自治会役員、市議会議員を対象に、持続可能なまちづくり、地域での計画立案の重要性をテーマとして、名古屋大学高野先生にご講演いただきました。本講演会がきっかけで各地区において将来像や地域課題の解消のための行動計画を記載した地域計画の策定の機運が高まり、各地区ごとにおいても高野先生の講演会&ワークショップが開催されました。 また、当該地域計画策定支援の一環として集落支援員、地区支援職員に、アイデアや企画を実現するため、短時間で効率的な話し合いを行うスキルを習得するためのファシリテーション研修を実施しました。 「夢づくり市民活動補助金制度」は、令和4年度（2022年度）は2団体から2事業の申請があり、審査会における審査の結果全てが採択・事業実施されました。 「市民活動補償制度」は、広報や市ホームページ掲載のほか、自治会ハンドブックへ掲載し、各地区区長会で制度周知に努めました。
評価・課題	①②各地区に共通の課題として、人口減少、高齢化の影響等も相まって、各地区での地域活動の担い手不足が挙げられます。今後、持続可能な地域活動のためにも、組織自体のあり方、NPO団体等の設立、事業内容、活動の方向性等について、議論、検討していく必要があります。 そこで、各地区において将来像や地域課題の解消のための行動計画を記載した地域計画の策定支援を行います。地域計画策定の過程で、新たな地域活動の担いを見出していきます。 地域限定の活動を行う自治会やまちづくり推進組織と、横断的、全市的なテーマ型の活動を行う市民活動団体のそれぞれの支援事業はありますが、これらの活動の縦糸横糸を有機的に結ぶ必要があります。
今後の取り組み方針	①②NPO団体等の設立を検討しているまちづくり推進組織に対して必要な情報の提供などの支援を行います。 令和5年度は、各地区において将来像や地域課題の解消のための行動計画を記載した地域計画の策定支援を行います。地域計画策定の過程で、新たな地域活動の担いを見出していきます。具体的には次世代を担う若者について、この地域計画策定への呼びかけを積極的に行うことで、まちづくり活動への参画の機会を設け、これらをきっかけとし、まちづくり活動への参加を促していきます。またこの取組を一過性のものとはせず、さらに令和6年度にも繋がるよう各地区での地域計画の実行及び継続性を担保できる仕組みを検討します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	市民協働課
	中区分	協働のまちづくり	作成者	加藤 博史
	小区分	市民参加と協働の推進		
施策の内容	①市民まちづくり会議において、条例に基づく取組み推進方針の運用状況検証や意見交換を行うことで、まちづくりへの意識向上及び情報の共有を図ります。 ②自治会に対する支援を継続し、地域の課題を解消できる組織として強化を図るとともに、自治会加入の推進に努めます。 ③まちづくりサポートセンター「夢サポ」において、まちづくり活動や市民活動の情報発信を行い、情報提供をしていきます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	自治会加入率				令和5年度目標値		75.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	77.00	77.00	78.00	78.00	78.50	75.0	75.0
実績値	70.10	69.11	68.59	66.19	66.86	65.95	65.78
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	地域活動やボランティア、NPO活動に参加している市民の割合				令和5年度目標値		30.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	30.0	30.0
実績値	26.0	26.5	23.8	25.2	24.6	20.2	23.5
指標説明	「あなたは、地域活動やボランティア、NPO活動に参加していますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名	地域での交流や活動が活発に行われていると考えている市民の割合				令和5年度目標値		63.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	60.8	60.8	60.8	60.8	60.8	63.0	63.0
実績値	60.8	56.4	55.5	60.1	55.1	51.7	45.5
指標説明	「瑞浪市は、地域での交流や活動が活発に行われているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①瑞浪市まちづくり基本条例の趣旨や精神がまちづくりの各種取組みに活かされているかを検証するため、市民まちづくり会議を開催し、各課の取組みを引き続き検証していただいています。 ②自治会加入促進のためのリーフレット、自治会長の日頃の業務についてまとめた自治会ハンドブックを作成しました。また、市民課のほか、都市計画課（建築確認申請部署）及び上下水道課（水道開始申込み）にも自治会加入案内を設置し、関係各課窓口でも自治会加入案内を行うよう体制を整えました。 ③西分庁舎「夢サポの広場」をまちづくり活動の拠点施設として各地区の情報発信をするとともに、域学連携校の掲示スペースを設けており、掲示物による情報発信を行いました。
評価・課題	①市民のまちづくりへの興味・関心を高めるため、引き続き「瑞浪市まちづくり基本条例」等の周知が必要です。 ②生活様式の多様化により、自治会加入率は低下し続けています。住みよい、安全・安心な暮らしを築くために、自治会加入率を維持するための取組みが必要です。 ③西分庁舎「夢サポの広場」の効果的な運用が必要です。
今後の取り組み方針	①瑞浪市まちづくり基本条例等の周知を強化（地域懇談会等での啓発）します。 ②自治会加入を促進するための地域の取組みを支援（加入希望者と自治会との取次）します。 ③まちづくり推進組織の活動状況等を広く知ってもらうために、夢サポの広場の効果的な運用を行います。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	市民協働課
	中区分	協働のまちづくり	作成者	加藤 博史
	小区分	まちづくり推進組織への支援		
施策の内容	①交付金制度を活用し、各地区まちづくり推進組織の自主的な活動を支援します。また、概ね3年を目途に交付金制度を見直し、より利用しやすい制度となるよう努めます。 ②夢づくり地域活動支援職員制度を継続するとともに、集落支援員を各地区に配置し、まちづくり活動への人的支援を行います。 ③まちづくり推進協議会連絡会の開催など、各まちづくり推進組織間の情報交換や連携の強化を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	夢づくり交付金事業への参加者数				令和5年度目標値		25,000人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	17,000	17,000	17,000	17,500	17,500	17,500	17,500
実績値	24,762	21,541	22,935	26,535	4,369	4,341	10,305
指標説明	各地区のまちづくり推進組織が行う活動への参加者数の総合計						
指標と目的の関連性							
成果指標名	地域での交流や活動が活発に行われていると考えている市民の割合				令和5年度目標値		63.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	60.8	60.8	60.8	60.8	60.8	63.0	63.0
実績値	60.8	56.4	55.5	60.1	55.1	51.7	45.5
指標説明	「瑞浪市は、地域での交流や活動が活発に行われているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①市内8地区で夢づくり地域交付金を活用したまちづくり関連事業が合計36事業（通常事業35、ステップアップ事業1）実施されました。 また、夢づくり交付金制度の見直しについて、まちづくり推進組織の長と市長との意見交換会を開催し、現在の制度が精度の高いものとなっていること、変更申請などで柔軟に対応することで上手く運用が出来ているため、見直しの必要はないとの結論に至りました。 ②夢づくり地域活動支援職員制度及び集落支援員制度(全8地区に1名ずつ配置)のもと、まちづくり活動への人的支援を行いました。またまちづくり推進組織の見直しを行っている地区について、市民協働課の職員を派遣し、ともに検討するとともに、有益な情報提供を行っています。 ③自治会とまちづくり推進組織、各地区のまちづくり推進組織間の情報共有を図るための連絡会を開催しました。
評価・課題	①現状の課題として、毎年事業が固定化され、新たな事業に着手しづらいことがあります。また、若者のまちづくりへの参加機会の確保についてさらに検討する必要があるため、地域での将来像や地域課題の解消のための取組みを記載した地域計画策定を行う必要があります。 ②各地区特有の課題については、「夢づくり地域活動支援室」における支援職員や各地区と市の架け橋である集落支援員に求められる職務内容が異なります。支援職員、集落支援員同士が情報交換を図ることで、課題解消に向けた取組みの一助となると考えます。集落支援員に対する期待値は高く、そのためのスキルアップを図る必要があります。 ③情報交換の場における効果的な情報交換の方法が課題となっています。
今後の取り組み方針	①夢づくり地域交付金制度については、各地域が自ら考え、課題解消及び地域活性化の事業を計画し、事業に取り組んでいます。また、審査会委員による事後評価を実施することで、より効果的な事業が実施されるように指導・助言をしていきます。また、地域での将来像や地域課題の解消のための取組みを記載した地域計画策定の支援を行うつつ、計画策定の過程での新たな担い手を見出すことも併せて行っていきます。 ②夢づくり地域活動支援室等によるサポートと、行政と地域の連携を強化するため、集落支援員の配置を継続します。集落支援員には、必要なスキル等を身に付けるための各種研修機会の場を提供するとともに、集落支援員同士の情報交換が行える場を設けます。 ③情報交換の場における効果的な情報交換の方法を検討し、実施します。また、各地区まちづくり推進組織が次年度の事業計画を検討する時期には、夢づくり地域交付金の説明会やまちづくり活動の参考例などの情報提供・交換会を開催します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	企画政策課
	中区分	情報共有	作成者	加藤 昇
	小区分	市政情報の発信		
施策の内容	①市の広報紙やホームページ、各種刊行物などの内容を充実させ、行政に関する情報や暮らしに関する情報等をわかりやすく提供します。 ②ホームページをはじめ、各種メールマガジンの配信やSNSの活用研究等により、サービス利用者に対応した情報発信の環境整備を進めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	まちの情報をわかりやすく知ることができると感じる市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	45.0	45.8	46.6	47.2	47.8	48.4	49.0
実績値	40.9	41.9	45.4	43.6	40.9	38.4	39.3
指標説明	「あなたは、まちの情報を、わかりやすく知ることができますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①広報紙は、行政情報の基幹媒体として市民の方にわかりやすく情報を伝えられるよう、ユニバーサルデザインの観点もふまえ作成しました。 ②SNS (Youtube、Instagram、X (旧Twitter) ) にて、公式アカウントの本格運用を開始しました。
評価・課題	①②広報紙の発行を月1回に変更したことから、広報紙の発行時期に掲載しきれないイベント等について、SNSやホームページなどで紹介しました。今後もSNSなどの発信力を活用し、幅広い地域、年代に向けて情報を発信していきます。
今後の取り組み方針	①②広報紙、ホームページ、SNSなどの各情報発信ツールを活用し、適切な時期に情報発信できるよう努めます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	企画政策課
	中区分	情報共有	作成者	加藤 昇
	小区分	I C Tの活用と人材育成		
施策の内容	① I C Tを活用し、防災や福祉、教育、観光など各分野において、安心して快適な暮らしを支援します。 ② 各種申請や届出などを電子化し、インターネットを利用して分かりやすく簡単に手続きが行える仕組みを整備します。 ③ まちづくりの様々な分野において、市民や団体による活動を、I C T活用の視点から人材育成も含めて積極的に支援します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	まちの情報をわかりやすく知ることができると感じる市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	45.0	45.8	46.6	47.2	47.8	48.4	49.0
実績値	40.9	41.9	45.4	43.6	40.9	38.4	39.3
指標説明	「あなたは、まちの情報を、わかりやすく知ることができますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	① メールマガジンに加え、SNS (Youtube、Instagram、X (旧Twitter)) にて、公式アカウントの運用を開始しました。 ② オンライン申請システム (LoGoフォーム) を使用し、市民課と税務課の証明書類のオンライン申請を令和5年度5月から開始するために、申請者の本人確認の方法やオンライン決済等の準備を行いました。 ③ まちづくり推進組織が運営するホームページや情報発信手法について、集落支援職員の方々に技術的な支援を行いました。
評価・課題	① 情報発信の手段を拡充し、安定して運用することができました。 ② オンライン申請システムを使用する業務について、引き続き拡大します。 ③ 集落支援職員の方々に技術的支援を行うことができました。
今後の取り組み方針	① メールやLINEの利用状況やSNSの閲覧者数を精査し、よりわかりやすく、タイムリーな情報発信を行います。 ② オンライン申請を拡充し、市民の利便性の拡大を図ります。 ③ まちづくりの情報を発信できるよう、集落支援員など関係者に技術的支援を行います。



# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	総務課
	中区分	情報共有	作成者	近藤 正史
	小区分	情報の公開と管理		
施策の内容	①情報公開条例に基づく情報公開制度を利用しやすいよう、市民に制度の内容を広報紙などで積極的にPRします。 ②市が保有する市民の個人情報厳正に管理し、適正な運用をするよう、職員、教員及び民生委員・児童委員対象の個人情報保護研修会を開催します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	まちの情報をわかりやすく知ることができると感じる市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	45.4	46.0	46.6	47.2	47.8	48.4	49.0
実績値	40.9	41.9	45.4	43.6	40.9	38.4	39.3
指標説明	「あなたは、まちの情報を、わかりやすく知ることができますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①広報紙、ホームページを活用し、市民に対して情報公開制度の案内や、情報公開件数等をお知らせしました。 ②令和4年度は、コロナ対策として、Webカメラを利用して2会場同時開催の研修を実施しました。職員及び教職員77名が受講し、過去4年に1度以上受講した職員の割合は60.5%となりました。
評価・課題	①市民が政治的意思決定に関与するという民主主義による地方自治を実現するため、市民が市政情報を積極的に知ることができるよう情報公開制度の周知を進めていきます。 ②継続的に実施する研修であり、職員だけでなく教職員や民生・児童委員の方も参加していただいているため、研修内容が毎年同じにならないよう、また、受講対象者にも配慮した内容となるように講師と打合せを行う必要があります。
今後の取り組み方針	①広報紙、ホームページを活用し、市民に対して情報公開制度の案内や情報公開件数等をお知らせしていきます。 ②継続的な研修の実施により情報公開制度、個人情報保護に関する職員の意識を高めるため、受講者アンケートを分析し、その内容を講師と共有しながら次の研修内容に活かしていきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	企画政策課
	中区分	情報共有	作成者	加藤 昇
	小区分	市政への市民意見の反映		
施策の内容	①地域懇談会等を継続的に開催し、市民と行政が情報を共有しながら、行政運営やまちづくりについて幅広く意見交換ができる機会を充実させます。 ②市民アンケートを継続的に実施し、市民のまちづくりに対する意見や要望、評価を常に把握することに努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	地域懇談会参加者数（3ヵ年平均）				令和5年度目標値		600人
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	660	680	700	600	600	600	600
実績値	504	503	609	632	445	350	363
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	まちの情報を、わかりやすく知ることができると感じる市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	45.0	45.8	46.6	47.2	47.8	48.4	49.0
実績値	40.9	41.9	45.4	43.6	40.9	38.4	39.3
指標説明	「あなたは、まちの情報を、わかりやすく知ることができますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①地域懇談会（10回451名）、その他市長と語る会（6回159名）では、計610名の方々に参加いただきました。市政全般についてのご意見、ご提案を分析し、総合計画策定に向けた基礎資料にするなど市政に反映しました。 ②回収率向上のため、Web回答と郵送回答を併用しました。市民アンケートの結果について、経年比較による分析を行い、総合計画策定に向けた基礎資料にするなど市政に反映できるよう努めました。
評価・課題	①地域懇談会の参加者増加に向けた取り組みを図るため、開催する時間、場所など市民ニーズの把握に努める必要があります。 ②総合計画成果指標以外の質問については、回答者の負担にならないよう、その必要性を精査する必要があります。
今後の取り組み方針	①広く市政全般についてご意見をいただくために、市民との対話の機会を増やし、周知の方法や開催内容の見直しなどを図り、幅広い世代の方の参加を促すように努めます。 ②総合計画期間中、毎年実施し、経年比較により施策効果を検証します。また、回収率向上のため、引き続きWeb回答と郵送回答を併用していきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	企画政策課
	中区分	行財政運営	作成者	加藤 昇
	小区分	行財政運営の効率化		
施策の内容	①指定管理者制度や業務の民間委託などを推進し、効率的で効果的な行政運営に努めるとともに、満足度の高いサービスの提供に努めます。 ②近隣自治体との連携を推進することで、効率的な行政運営を図り、住民サービスの向上と行政コストの削減に努めます。 ③行政評価制度の改善を進め、市民の視点に立った成果重視の行政運営に努めます。			

## 2. 成果指標

成果指標名	指定管理者制度導入施設数				令和5年度目標値		24施設
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	22	22	23	23	23	23	24
実績値	22	23	23	23	23	23	23
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	市民ニーズに合った事業が行われ、まちが良くなっていると感じる市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	47.5	48.0	48.5	49.0	49.3	49.6	49.9
実績値	42.3	38.7	43.4	44.5	37.9	37.8	36.3
指標説明	「瑞浪市は、市民ニーズに合った事業が行われ、まちが良くなっているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①指定管理者制度については、23施設について適切な制度運用を図るため第3四半期、年度末評価及び総合評価を行いました。令和2年11月に改正した運用方針に基づき、適切な管理を行いました。 ②東濃西部広域行政事務組合（多治見市、土岐市、瑞浪市）の運用により、近隣自治体との連携による行財政運営の効率化を進めています。消防通信指令業務については、東濃5市で共同運用することを決定し、準備を進めています。また、ごみ焼却施設について、老朽化が進んでいることから、広域化についての可能性調査を行うことを決定しました。 また、東濃厚生病院と土岐市立総合病院の一病院化については、東濃中部病院事務組合が主体となって開院に向けた準備を進めています。 ③総合戦略、行政改革の進捗を図るため、外部評価を実施しました。ご意見、ご提案について分析し、市政に反映しました。
評価・課題	①指定管理者制度導入施設の全体利用者数は、前年度と比較して102.3%と1万6千人増加しました。昨年度の課題に対する取り組みは、すべての施設で行われており、良好に管理され、適切な指定管理運営を図っています。市民体育館については、施設の改修やコスト面等の課題はありますが、最短で令和6年度から導入できるよう準備を進めます。また、近年の社会情勢の急激な変化により積算単価の妥当性が懸念されます。これらの変動に適切に対応するため、指定管理者制度の運用の見直しが求められています。 ②消防通信指令業務の東濃5市による広域化、東濃厚生病院と土岐市立総合病院の一病院化、令和15年度に耐用年数を迎えるごみ焼却施設の広域化の検討については、前進しています。 ③まちが良くなっていると感じる市民の割合は昨年度と比較して横ばい傾向にあります。広報紙やホームページ、SNSなどの活用に加え、市の情報を市民に伝える情報発信の効果を図る必要があります。
今後の取り組み方針	①指定管理者制度導入済みの施設については、定期的な評価を実施し、効率的・効果的な運営に努めます。引き続き、市民体育館及びスポーツ施設について、人員配置や委託できる業務、収入の確保等検討を続け、導入に向け準備を進めます。また、指定管理者制度の運用の見直しを検討します。 ②東濃西部広域行政事務組合の取組みをはじめ、広域連携の推進を図ります。ごみ焼却施設について、多治見市、土岐市との共同運用に向け、検討を進めます。 ③引き続き、行政評価制度の改善を進め、市民の視点に立った成果重視の行政運営に努めます。外部評価について、第7次瑞浪市総合計画の策定に合わせ、新たな評価手法を検討していきます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	総務課
	中区分	行財政運営	作成者	近藤 正史
	小区分	財政の健全化		
施策の内容	<p>①中長期的な視野で、将来にわたる財政運営の状況を把握し、財政の健全化に向けた計画的な取組みを推進します。</p> <p>②市税の適正かつ公平な課税と徴収及び収納率の向上を図るとともに、ふるさと納税制度や企業版ふるさと納税制度を推進し、自主財源の確保に努めます。</p> <p>③あらゆる分野において、常に事務事業の見直し・効率化に取り組み、経費の削減を図ります。</p> <p>④未利用地等の処分を推進します。また、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の機能の見直しや複合化等を行い、既存施設の有効活用を図るとともに、施設の長寿命化に努めます。</p>			

## 2. 成果指標

成果指標名	別紙参照					令和5年度目標値	
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照					令和5年度目標値	
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名	別紙参照					令和5年度目標値	
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	<p>①市債残高は借入額の縮小に努めた結果、昨年度より11億円減少し、200億円となり、将来世代の負担軽減に繋がっています。</p> <p>②適正な課税と現年度課税分の徴収強化によって高い収納率を維持し、99.8%（県内市1位）となりました。</p> <p>③エネルギー価格高騰の影響等により需要費が増加しましたが、行政DXを推進し、事務事業の見直しと業務の効率化に努めました。</p> <p>④適正な機能の確保及び効率的な管理運営を実現するため、個別施設計画の見直しを行い、公共施設等総合管理計画に基づいた長寿命化・集約化・複合化等の検討を継続的に行っています。</p>
評価・課題	<p>①電源立地地域対策交付金の収入が終了し、少子高齢化によって社会保障費が年々増加していくなか、一層の自主財源の確保と経常経費の削減が必要です。東濃中部病院建設、駅周辺再開発、道の駅整備のほか、老朽化した施設の大規模な改修も同時期に重なることが想定されます。</p> <p>②目標値を大幅に上回る収納率を達成しており、引き続き、現年度課税分の徴収を強化し、滞納額の削減に努めます。ふるさと納税制度による寄附金収入は伸び悩んでおり、返礼品事業者を巻き込んだ新たな取り組みも必要です。</p> <p>③RPAの活用等のデジタルトランスフォーメーションを進め、一層の業務の効率化を図る必要があります。</p> <p>④今後の社会情勢や脱炭素化を十分に加味し、維持管理経費の削減を念頭においた施設の長寿命化、集約化・複合化を図る必要があります。</p>
今後の取り組み方針	<p>①市税の急激な伸びは期待できず、人件費、光熱水費などの経常経費や社会保障経費の増加が見込まれます。事務のスリム化や建設事業の見直しを行う等、経費の圧縮を推し進め、引き続き健全な財政運営を行います。また、将来の過度な負担とならないよう、世代間の公平性も考慮し、計画的に市債の借入れを行います。</p> <p>②債権徴収計画に基づき、適正かつ効率的に債権徴収を進めていきます。ふるさと納税寄附金の増額に繋がる取組みを強化し、自主財源の確保に努めます。創業や事業継続、拡大の支援を強化し、市内経済の活性化と市税の増収に努めます。</p> <p>③デジタルトランスフォーメーションによる業務の効率化を促進し、あらゆる分野において費用対効果を意識し、経費の削減を図ります。さらなる経費の削減に向けて、真に必要と認められるものを除き、事業の縮小、廃止を検討します。</p> <p>④今後の情勢を推測し、無駄のない公共施設となるよう、公共施設総合管理計画に基づいた長寿命化、集約化・複合化を進めていきます。</p>

2. 成果指標

1	成果指標名	市税徴収率（現年分）				計画期間目標値			98.9%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	98.1	98.1	98.2	98.2	98.3	98.4	98.5	
	実績値	98.7	98.8	98.3	98.9	99.1	99.7	99.8	
	指標説明	第6次総合計画 後期基本計画（徴収額／調定額）							
	指標と目的の関連性								
2	成果指標名	経常収支比率				計画期間目標値			90.0%（目標値は未満）
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	90	90	90	90	90	90	90	
	実績値	87.6	88.8	87.9	87.3	82.4	87.4	89.0	
	指標説明	財政構造の弾力性を見る指標（経常経費充当一般財源/経常一般財源）							
	指標と目的の関連性								
3	成果指標名	市債残高				計画期間目標値			250億円（目標値は未満）
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	260	260	260	250	250	250	250	
	実績値	235	238	239	230	221	212	200	
	指標説明	特別会計等を含めた市全体の市債残高							
	指標と目的の関連性								
4	成果指標名	市民ニーズに合った事業が行われ、まちが良くなってきていると感じる市民の割合				計画期間目標値			50.0%
	年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
	目標値	47.3	47.9	48.5	49.1	49.7	50.3	50.9	
	実績値	42.3	38.7	43.4	44.5	37.9	37.8	36.3	
	指標説明	「瑞浪市は、市民ニーズに合った事業が行われ、まちが良くなってきているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合							
	指標と目的の関連性								

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	秘書課
	中区分	行財政運営	作成者	加納 宏樹
	小区分	人材の育成と活用		
施策の内容	①社会情勢の変化に柔軟に対応し、満足度の高い行政サービスを提供するため、職員に多様な研修の機会を与え、政策形成能力の向上を図ります。 ②職員の能力開発や人材育成を目的として職員の業績や能力、勤務態度等を正しく評価することにより、公務能率の向上を図ります。			

## 2. 成果指標

成果指標名	職員研修受講率				令和5年度目標値		55.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	46	46	46	55	55	55	55
実績値	57.4	41.6	48.4	61.7	51.5	76.4	72.4
指標説明	年間の研修受講者数（職域研修以外）/全職員数						
指標と目的の関連性	研修メニューを充実させ受講者数を増やすことで、政策形成能力の向上など職員の人材育成を図る。						
成果指標名	市民ニーズに合った事業が行われ、まちが良くなっていると感じる市民の割合				令和5年度目標値		50.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	47.3	47.9	48.5	49.1	49.7	50.3	50.9
実績値	42.3	38.7	43.4	44.5	37.9	37.8	36.3
指標説明	「瑞浪市は、市民ニーズに合った事業が行われ、まちが良くなっているまちだと思いますか」の設問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	職員研修計画に基づき各種研修の受講を実施しました。令和3年度に新たに取組んだ岐阜大学との連携による政策立案研修について、令和4年度も引き続き実施し、若手職員の政策立案能力の向上を図りました。
評価・課題	職員が積極的に研修を受講し、自己研鑽に取り組む職場風土づくりを推進する必要があります。一方で、指名研修が同一年度に重なり、職員の負担感につながらないよう配慮が必要です。
今後の取り組み方針	職員の自発的な研修参加を促すために各種研修の受講案内を積極的に行うとともに、受講者アンケート結果による研修情報を共有し、より効果的な研修の実施につなげます。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	生活安全課
	中区分	人権尊重社会	作成者	工藤 雄一
	小区分	人権施策の推進		
施策の内容	①人権啓発講演会や人権書道展等を実施することで、家庭、園・学校、地域、職場など、あらゆる場における人権教育・啓発を推進します。 ②人権問題に対する相談窓口と支援体制を充実させ、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人、性的マイノリティ(LGBT)など、人権課題についての幅広い取組みを推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	過去1年間に人権を侵害されたと感じたことがある市民の割合				令和5年度目標値		6.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	7.0	7.0	7.0	6.5	6.5	5.0	5.0
実績値	8.4	8.7	7.8	9.8	5.1	8.5	6.6
指標説明	「あなたは、過去1年間に人権を侵害されたと感じたことがありますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①人権擁護委員、法務局等関係団体と連携しながら、人権書道展（応募者数：1,657人）、「ちょっといい話12」募集・冊子作成事業（応募者数：1,309人）等を実施しました。 藤田敬一氏を招いて市職員を対象とした人権講演会と、深尾雅人氏を招いて瑞浪北中学校の生徒・教員を対象とした人権講演会を実施しました。 小学5年生を対象に人権啓発冊子の配布、各小中学校の教員向けの啓発冊子を配布しました。 ②人権擁護委員による人権こまりごと相談をや市民相談による各種相談業務を実施しました。
評価・課題	①②市が行っている人権に関する取り組みについて、人権書道展やちょっといい話の募集・作成事業など、市広報やホームページを活用して継続的に周知を図る必要があります。 ①SNSやインターネットによる人権侵害など、人権問題が多様化する中、小中学校の児童・生徒や市民に人権を理解してもらうため、「第2次瑞浪人権施策推進指針」に基づいた事業の周知が必要です。
今後の取り組み方針	①②人権に関する問題は女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人、感染症患者、性的マイノリティ等多様多様であり、今後も継続的に市広報やホームページ等による周知活動や人権啓発講演会等を実施して、より多くの人に啓発を図ります。 ②人権擁護委員による人権こまりごと相談窓口において、人権に関する相談に対応するとともに、様々な人権問題について幅広い取組みを推進します。

# 施策評価調書

## 1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	新たなまちづくり	担当部局	生活安全課
	中区分	人権尊重社会	作成者	工藤 雄一
	小区分	男女共同参画の推進		
施策の内容	①人権を尊重した男女共同参画を進めるため、配偶者等からの暴力(ドメスティック・バイオレンスやデートDV)の防止と被害者に対する相談・支援機能の充実に努めます。 ②家庭・地域・職場など、あらゆる分野における男女共同参画社会の実現に向けた教育や啓発活動を推進します。			

## 2. 成果指標

成果指標名	附属機関等委員への女性の登用の拡大				令和5年度目標値		35.0%
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
目標値	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0	35.0	35.0
実績値	28.6	29.2	30.8	31.7	33.4	34.5	35.1
指標説明	女性委員数/全委員数 「市町村における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査」による。						
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							
成果指標名					令和5年度目標値		
年度							
目標値							
実績値							
指標説明							
指標と目的の関連性							

## 3. 投入コスト

年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	単位：千円
事業費						
概算人件費						
合計						

## 4. 施策に対する評価及び今後の方針

昨年度の取り組み状況	①家庭児童相談員を中心に、県女性相談センターやその他の関係機関と連携し、DV被害者への相談対応や支援に努めました。啓発活動として、相談窓口等も掲載した若年層のデートDV防止のリーフレットを作成し、市内高校生、大学生、20歳を祝う会の出席者に配布しました。 ②連合自治会における女性登用に関する啓発活動や、コロナで中止となりましたが、瑞浪地区まちづくり推進協議会役員による学習会の開催支援を行いました。また、男女共同参画市民講演会については、推進会議参加者と準備・運営し、会議参加者が地域や家族、友人等への参加呼びかけを行い、周知に努めました。 ③第3次みずなみ男女共同参画プラン策定のため、男女共同参画に関する市民意識調査を実施しました。
評価・課題	①②関係機関と連携し、DV被害者に対する支援を行いました。複雑かつ多様化する相談に対応できる体制強化を進めています。また、令和4年8月に実施した、男女共同参画に関する市民意識調査の結果からも、依然として、男女ともに男性優遇の意識が強いことがうかがえます。今後も継続的な啓発活動を行い、男女共同参画意識の醸成に向けて取り組む必要があります。 ①②男女共同参画に関する市民意識調査の結果や、審議会、庁内メンバーで構成するプラン推進会議等での意見により、実効性の高い施策を第3次プランに盛り込む必要があります。
今後の取り組み方針	①DVに関する適切な助言や支援が提供できる体制の整備と、相談窓口の周知に努めます。また、新たな加害者や被害者を生み出さないために、啓発リーフレット配布や市広報への記事掲載等により啓発に努めます。 ②自治会等における啓発活動や学習会については、今後も関係団体と連携しながら、継続的な実施に努めます。また、男女共同参画社会推進会議の学習会や講演会を開催し、男女の固定的な役割分担意識の解消に努めます。 ③第3次プランをよりよいものとするため、国や県の情報も収集しつつ審議を行い、実効性の高い施策を盛り込むよう努めます。